法的情報

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。 このマニュアルに記載されている式、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。 このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。 添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB（University of California, Berkeley）のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。 All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。 シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

★定型★このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。 ★定型★マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。 説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

すべての印刷版および重複ソフトコピーは非規制コピーとみなされ、最新版については元のオンライン版を参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。 住所、電話番号、ファックス番号は Cisco ウェブサイト Cisco.com に掲載されています。

変更点

この文書は、リリースのためのレポートガイドの更新内容を概説しています。 各セクションにわたる詳細な変更ログも含まれています。

項	変更説明	変更理由	日付	バージョン
様々な	更新されたコールバックコンテンツ	機能追加	02/13/2026	4.2.1.2507_Up 日付 6
リアルタイムレポートタイプ>レポート	以下に関連する削除されたコンテンツ: • キャンペーン別に連絡を取るか、エージェントを使えるか • キャンペーン別でコンタクト成功率 • キャンペーン目標達成 • 配達された連絡先 • エージェントの状態	廃止されたウィジェット	08/11/2025	4.2.1.2507
報告書>歴史報告書	歴史報告書用の新しいセクションを追加しました。 これが新たに導入された歴史報告書の理由です。 かつての歴史的レポート機能は「Historical Reports(遺産)」と改名されました。	新しい歴史報告書の導入。		
報告書>歴史報告書(遺産)	「歴史報告」の見出しを「歴史報告(レガシー)」に変更	新しい歴史報告書の導入。	08/11/2025	4.2.1.2507
レポート>スケジュールレポート(レガシー)	スケジュールレポートの見出しをスケジュールレポートに変更(レガシー)	New Historical Reports には異なるスケジューリング機能があ	08/11/2025	4.2.1.2507

		ります。		
報告書>キャンペーン概要報告書	新しいフィールド「Last Contact Processed (min)」が追加されます。最後の連絡が選択されてテーブルに配達予定のテーブルに置かれてから経過した分数を表示します。	最近の接触活動の可視化を提供すること。	6/05/2025	4.2.1.2504

レポート>データ抽出>スケジュール設定	新しいオプションとアラートが追加されました: • 記録なしアラート – 抽出時に記録がゼロになったときにトリガーされます。 • Alert on Failure(失敗時のアラート)– エラーで抽出が失敗した際にトリガーされます。 • 最初のジョブ開始時間 – 繰り返し報告書の実行開始の最初の時刻を定義します。	スケジュールされたレポート構成における制御と可視性の向上。	6/05/2025	4.2.1.2504
データ抽出ページ>レポート	データ抽出ページには以下の表示が現状で表示されます: • 名前、説明、ファイル名、アクティベート状態 • ジョブ履歴のポップアップには、開始・終了・予定時刻、状況、レコード数、ダウンロードボタンなどが記載されています。 • レポートのタイムゾーンが表示されます。 • 検索とアクションオプションが追加されました。	データ抽出の設定やジョブ履歴の可視性と制御を向上させること。	6/05/2025	4.2.1.2504
	大規模なデータセットのパフォーマンスやタイムアウトの問題に対処するため、レポートのエクスポートとスケジュールは即時の運用ではなくタスクとして導入されました。 • エクスポートリクエストは非同期処理され、固有の ExportID が割り当てられます。 最大最大対応数の上限は 50 万件です。 これは表象化可能です。			

報告書>スケジュール報告書	• ファイルは Amazon S3 上で生成・保存されるため、ユーザはステータスを監視し、エクスポート履歴ページからファイルをダウンロードできます。 • エクスポート操作の詳細を保存するために、新しいデータベーステーブル AE_ReportExportList が導入されました。 • スケジュールされたレポートには同様の機能が追加され、パスワード保護されたファイル検索がメールで提供されています。 ユーザはレポートのスケジュール作成時にパスワードを設定しなければならず、メールで送信されたレポートにアクセスするためにパスワードが必要です。 • エクスポートリンクはバックエンドの設定によって期限切れになります。 カスタムフィーチャーテーブルに ReportFilesRetentionDays という新しい構成が追加され、デフォルト値は 30 日です。	輸出およびスケジュール報告の改善点	07/02/2025	4.2.1.2501

報告書>スケジュール報告書	Amazon S3 バケットからのファイル削除 • エクスポートファイルは AWS の設定を使って S3 から削除されます。 • エクスポートファイルは、カスタムフィーチュアテーブル (ReportFilesRetentionDays、デフォルト:30 日)から設定された保持期間終了後に削除されます。	レポートファイルが Amazon S3 バケットから削除される	07/02/2025	4.2.1.2501
レポート	報告書のその他の変更点: • 詳細報告書:最大フィルター日数は 180 日(6 ヶ月)に設定されています。 • 概要報告書:最大飛行日数は 1865 日(5 年)に設定されました。 • 他の報告では 90 日(3 ヶ月)のフィルター制限が維持されています。	フィルターの変更を報告する	07/02/2025	4.2.1.2501
スムマリー報告書>報告書	要約報告のオプションとして SMS とメールの chan-nels を追加しました。 注:SMS およびメールチャネルは現在 WxCC では使用されていません。	概要報告書の強化	07/02/2025	4.2.1.2501
パーフォーミュ>メトリクス報告書	キャンペーン概要レポートは、追加の欄でより包括的な情報を提供しています。	パフォーマンスメトリクスの強化	07/02/2025	4.2.1.2501

報告書>報告書	Historical Reports セクションには SMS および Email チャネルのサポートが加わり、マルチチャネルレポートのより広範な機能性が提供されました。 - **詳細**:個々の通話試行に関する詳細な洞察を提供し、タイミング、エージェント ID、結果、ダイヤラー参照 ID、その他関連詳細を含みます。 - **エージェント生産性**:プレビュー期間、通話時間、コール後勤務(ACW)期間、各種通話回数などの指標を強調表示します。	歴史報告書の強化	07/02/2025	4.2.1.2501

	- **エージェント状態**:報告期間中のエージェントの状態の変化を追跡・表示します。 - **コールバック**:コールバック連絡先を小学校・中学校形式で提供し、試行結果の理解と分析を容易にします。 **注**:エージェントの生産性、エージェントの状態、コールバックは現在 WxCC で利用できません。 **注:** メール、SMS、コールバックは現在 WxCC でサポートされていません。			

TOC

変更点 2
レポート 9
リアルタイム 10
自動リフレッシュ 11
異なるタブに複数のレポートを追加する 12
レポートのフィルター基準 12
レポートウィジェット機能 13
報告書の種類 13
リアルタイムレポートタイプ 14
履歴レポート 16
概要報告書 19
フィルターを適用 19
要素 20
レポートの保存と表示 20
詳細報告書 36
フィルターを適用 37
要素 38
レポートの保存と表示 38
コールバックレポート 44
フィルターを適用 45
要素 45
レポートの保存と表示 45
歴史報告書(レガシー) 46
レポートのフィルター基準 47
コール結果 48
作戦概要 51
DNC が阻止された 52
接触試み 54
放棄率 56
エージェントの配置(キャンペーン別) 57
コンタクト・アトラクション・バケット 58
エージェント・アティブト 59
エージェント・アウトカム 60
コールバック 61
グローバルリストのステータス 62
右派コネクション(RPC) 62

コールバックトレース 64
メール結果 65
パスダイヤリング 66
スケジュールレポート(レガシー) 68
スケジュールレポートを追加する 68
スケジュールを編集 68
スケジュールを削除する 69
フィールド 69
データ抽出 70
保管先 72
データ抽出 74
データ抽出を削除 74
フィールド 74
トランザクションフィールドの詳細 76
マスターフィールドの詳細 112
パフォーマンス指標 169
作戦概要 170
レポートフィルター基準 173
タイムゾーン 173
グローバルリスト 173
キャンペーングループ 173
キャンペーン 174
リスト 174
[AARグループ(CSS Group)] 174
CSS グループ条件 174

レポート

レポートには、コンタクトセンターでのアウトバウンド通話に関する要約および詳細な情報が提供されています。 キャンペーン、グループ、エージェントのパフォーマンスをカバーしています。 これらのレポートは、詳細な個別試行データや、RPC、接続率などの要約された傾向をキャンペーンごとに提供できます。

ユーザはレポートをテンプレートとして設計・保存するオプションがあります。 フィルター基準は、特定の接触、コール、または結果にフィルターを下ろしてマイクロビューを可能にします。 レポートは、コンタクトセンター内の活動を 360 度全方位で把握しています。

さらに、レポートは事前に設定された間隔でスケジューリングでき、固定データやトランザクションデータに対してデータ抽出も設定可能です。

キャンペーンマネージャーは以下の種類のレポートを提供します:

- **リアルタイムレポート**:リアルタイムレポートは、現在進行中のキャンペーン、特にその日のグラフィックデータを提供します。 これらのレポートは間隔データで埋められ、デフォルトで 5 分ごとに更新されます。 包括的なフィルター基準により、ユーザは上から下までデータを閲覧でき、リアルタイムで詳細な洞察を提供します。
- **過去のレポート**:これらのレポートは前日からの過去データを活用し、コンタクトセンターのパフォーマンスに関する洞察を提供します。 これらは、連絡先、通話、成果、エージェントなど、コンタクトセンターのあらゆる側面をほぼ網羅したセットを形成しています。 レポートはユーザが選択したフィルター基準に基づいて入力されます。
- **パフォーマンスダッシュボード**:リアルタイムコンソールは進行中のキャンペーンに対して 15 秒のリフレッシュレートで継続的に更新されたデータを提供します。 試行率、RPC(Right Party Connect)パーセンテージ率、包括的なキャンペーンの連絡統計などの重要な指標が含まれています。
- **スクリプトデザイナーレポート**:スクリプトデザイナーを使って設定された 2 ウェイ SMS およびコールガイドアプリケーションモジュールに関するすべてのレポートが詳細に議論されます。 詳細については、スクリプトデザイナーをご覧ください。
- **データ抽出**:報告データベースから生のトランザクションデータおよび固定データのエクスポートを設定する。 ユーザは、指定された時間帯や特定のキャンペーングループやキャンペーンの通話試行など、標準的な情報源からデータを抽出できます。

注意:ファイル名に/、:、*、?、<、<、|などの特殊文字は使用しないでください。

注:以下の項目は Webex Contact Center アプリケーションでサポートされていません:
- メールキャンペーンと SMS キャンペーン
- AEM(Agent-Executive Mapped)コールです。

リアルタイム

リアルタイムレポートは、現在進行中のキャンペーン、特に現在のキャンペーンに関するグラフィカルなデータを提供します。 これらのレポートは間隔データで埋められ、デフォルトで 5 分ごとに更新されます。 包括的なフィルター基準により、ユーザは上から下までデータを閲覧でき、リアルタイムで詳細な洞察を提供します。 リアルタイムレポートの設定も可能です。

レポート > リアルタイムに移動します。 デフォルトレポートには以下のデータが表示されます。

フィールド	説明
総カム・ペイン数	システム内で利用可能なキャンペーンの数を表示します。 また、アクティブ、非アクティブ、終了キャンペーンの数も表示されます。
アクティブ	現在進行中のキャンペーンの数。 キャンペーンの状況は以下の通りです *実行中*。
非アクティブ	現在実行されていないキャンペーンの数。 キャンペーンの状況は *時間停止* または *停止*です。
終了（Terminated）	終了日と時刻を経過したキャンペーン数。 キャンペーン状況は *時間未定です* がキャンペーン日の時間は現在より短くなければなりません。
合計コンタクト数（Total Contacts）	すべてのキャンペーンでアプリにアップロードされた連絡先の総数。 また、オープン、フレッシュ(まだダイヤル未定)、スケジューデッド、クローズド、その他のコンタクトの分割も示されています。
Open	この時点で、与えられたフィルター基準で開通した接点の数。 連絡先ステータスは *オープンです* そして *届けられた*。
新鮮	与えられたフィルター基準で一度も試みられた接触数はなかった。 連絡先の状態は以下の通りです *開* and *Delivered*。
再スケジュール	現在、連絡先の数が再スケジュールされ、開かれています。 連絡先ステータスは *オープンです* そして *届けられた*。
終了（Closed）	与えられたフィルター基準で閉じた接点数。 連絡先の状態は *閉鎖*です。
その他（Others）	連絡先の数が届かなくなりました。 接触状態は *洗浄済みまたは洗浄済み*です。
連絡先がアップロードされました	すべてのキャンペーンでアップロードされた連絡先の総数と、成功したアップロード、失敗したアップロード、重複の分割。

成功（Success）	連絡先テーブルに正常にアップロードされた連絡先の数。
失敗	複数の失敗により、連絡先テーブルにアップロードできなかった連絡先の数が原因でした。 モード故障は含まれていません。
重複	連絡先テーブルに重複したレコードがあるため、連絡先数のアップロードに失敗しました。 ファイル内に重複があるのか、コンタクトテーブルで重複があるのかは考慮しません。
パフォーマンス	本日ダイヤルした合計連絡先数と接続比率。 ユニークの数

	通話アクティビティテーブルの連絡先。 接続比率 - ダイヤル済みの総連絡先のうち接続された割合。 ダイヤルされた合計連絡先数は、今日ダイヤルされたユニークな連絡先の数です。
ビジネス・パーフォーマンス	成功とマークされたアウトカムのあるコンタクトの総数と、成功インタクトとコンタクトの比率。 通話活動テーブル内のユニークコンタクトの数。 成功率 - 総ビジネス成功コンタクトに占める総コンタクト数の割合。
試行回数	エージェントが複数のコンタクト間で成功裏に接続した試行回数(単一のコンタクトで複数回成功した接続を含む)を表示します。 これには、ビジネスや電話の理由による再スケジュール通話での接続も含まれます。 試行数 - ダイヤルした通話回数とダイヤルされた連絡先数の比率。 試行数比率指標は、各接触での平均試行回数を示します。
接続済み	すべてのキャンペーンでエージェントと顧客間で接続された通話の総数と、それらの番号の接続比率を表示します 試行接続率 - 通話数に比べて、ダイヤル数から通話数に占める割合。 接続された通話数はライブ通話結果を持つ接続された連絡先の数であり、ライブ通話の結果はライブ通話結果として有効化された結果です。
アバン・ドーンドと呼ぶ	接触者間で放棄された試み数の結果を示します。 ACR が無効の場合、放棄率は放棄通話とライブ通話の合計割合となります。
AHT(平均取り扱い時間)	通話の平均処理時間(HH:MM:SS 形式)。 これは成功通話時間と接続された通話数の比率です。

リアルタイムレポートでは以下のことができます:

自動リフレッシュ

リアルタイムデータは一定の間隔で自動的に更新可能です。 デフォルトの間隔は 5 分に設定されています。 この間隔を変更するには、Cisco サポートにご連絡ください。

自動リフレッシュは設定済みの Tab のみで動作し、すべてのタブで機能するわけではありません。さらに、管理者がアプリケーションの他の Tab や他のページに移動し、元の Tab(自動リフレッシュ間隔が設定されている)に戻ると、レポート Tab が更新されタイマーが再起動されます。

異なるタブに複数のレポートを追加する

複数のレポートを追加し、異なるタブで同時に複数開くことができます。 これにより、ユーザはコンタクトセンター全体のパフォーマンスをリアルタイムで監視するだけでなく、選択したフィルタリング基準で定義された特定のコンタクトセンターのエリアも監視しやすくなります。 リアルタイムレポートを初めて開くと、デフォルトの Tab が表示されます。 アプリケーション内で最大 10 個のタブ(デフォルトに 9 つの追加タブ)しか読み込みできません。 デフォルトの Tab は、ユーザがフィルター条件を変更しない限り、コンタクトセンター全体のリアルタイムデータとして残ります。

1. 複数のレポートにクリック **追加** アイコンをクリックします。 レポート Tab はデフォルト Tab の横に開きます。
2. 必要なフィルター条件を選択してください。
3. クリック **Add Widget** レポートに追加するウィジェットを選択します。

レポートのフィルター基準

レポートフィルターは、コンタクトセンターのマクロビューを確認でき、連絡先、通話、またはエージェントのミクロレベルまで確認できます。

レポート タイムゾーンフィルター

特定のタイムゾーンごとにリアルタイムレポートを生成することができます。 他のフィルタリング条件を選択する前に、タイムゾーンドロップダウンからタイムゾーンを選択してください。 選択したタイムゾーンの現在日のレポートが表示されます。

これはオプションの設定です。 この設定を有効にするために Cisco サポートに連絡し、タイムゾーンごとのレポートを受け取ってください。

報告 その他のフィルター基準

フィルター基準機能では以下のことができます:

フィルター	説明
グローバルリスト	すべてのグローバルリストが選択用に表示されます。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのグローバルリストを選択するには、「すべて選択」チェックボックスを選択してください。
キャンペーングループ	選択したグローバルリストの連絡先を含むすべてのキャンペーングループが入力されています。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのキャンペーングループを選択するには、「すべて選択」チェックボックスを選択してください。

キャンペーン	選択したキャンペーングループの連絡先を含むすべてのキャンペーンは入力されています。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのキャンペーンを選択するには、「すべて選択」チェックボックスを選択してください。 単一のキャンペーン選択で次のレベルへのフィルターが可能です。 複数のキャンペーンを選択すると、次のレベルへのフィルタリングは無効になります。 このレベルでレポートをご覧いただけます。

リスト	このキャンペーンにアップロードされたすべての連絡先リストは入力済みです。単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのリストを選択するには、「すべて選択」のチェックボックスを選択してください。 • 特定のリストを選択しない場合、チェインリスト(List ID -1)を含むすべてのリストのデータがレポートに入力されます。 • 特定のリストを選択すると、選択したリストのデータだけが入力されます。その場合は、リスト ID-1(チェーンリスト)に関するデータをレポートに入れたい場合は、「Include Chaining List」のチェックボックスを選択してください。 リストは日付パネルのデフォルト日付、つまり現在の日付で入力されます。 さらにリストを選択するには、日付パネルから日付を選択し、OK をクリックしてください。 入力済みリストからレポートに必要なリストを選択します。
CSS グループ	選ばれたリストに適用されるすべてのコンタクト選択戦略(CSS)が選択可能です。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべての CSS グループを選択するには、「すべて選択」チェックボックスを選択してください。
CSSGroup 状態	上記の CSS グループの条件は入力されており、選択可能です。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべての CSS グループ条件を選択するには、「すべて選択」チェックボックスを選択してください。

該当するフィルターを選択し、 **記録を表示** をクリックすると、その選別レベルまでの記録をレポートに入力します。

レポートウィジェット機能

レポートウィジェットには共通のオプションがあります:

1. クリック **Unpin** でレポートウィジェットを画面中央に浮かせ、ウィジェットサイズを最大化できます。 これはトグルボタンで、もう一度クリックするとウィジェットが元の位置に固定されます。 また、削除されたウィジェットもページに戻されます。
2. レポートの全画面を見るにはクリック **Maximize** をクリックしてください。
3. クリック **Minimize** でレポートウィジェットを全画面ビューからアンカーされた場所に戻します。
4. **Chart コンテキストメニュー** をクリックして、PNG、JPEG、SVG ベクター、PDF 形式でレポートをダウンロードしてください。

個々の報告書の見解は様々で、報告書とともに説明されています。 すべてのレポートは、マウスをデータのグラフィカル表現に合わせると、テキストでグラフィカルデータを表示します。

報告書の種類

キャンペーンマネージャーはリアルタイムでさまざまな種類のレポートを提供します。 詳細については、次のページの「リアルタイムレポートタイプ」をご覧ください。

リアルタイムレポートタイプ

以下はリアルタイムのレポートです:

電話結果

電話結果ウィジェットは、各電話結果ごとにダイヤルされた連絡先数を表示します。 チャートにマウスを合わせると、特定の電話結果に関する通話数が確認できます。 コンテキストメニューを使って、どのオプションでもチャートをダウンロードしてください。 最小化された視点では、最小パーセンテージの結果が隠されることがあります。 すべての結果を見るには、ズームして全画面に切り替えてください。

事業成果

ビジネスアウトカムウィジェットは、各ビジネスアウトカムごとにダイヤルされた連絡先数を表示します。 チャートにマウスを合わせると、特定のビジネス成果に関する通話数が確認できます。 コンテキストメニューを使って、どのオプションでもチャートをダウンロードできます。

連絡先ステータス

Contact Status ウィジェットは、選択したフィルター条件の連絡先の状況をリアルタイムで表示します。 このウィジェットは各状態の連絡先数をリアルタイムで表示します。 キャンペーンは X 軸に、Contact の回数は Y 軸に記載されています。 チャートにマウスを合わせると、特定の接触状況のカウントが表示されます。 ウィジェット右下の任意のステータスをクリックすると、その状態に関連付けられた連絡先を wid-get から削除できます。 データを復元するために切り替えてください。 コンテキストメニューを使って、どのオプションでもチャートをダウンロードしてください。

コンタクト戦略

コンタクト戦略は、フィルター基準に従って使用されたビジネスおよび電話戦略の結果の詳細を示します。

このウィジェットは、電話およびビジネス成果の両方の連絡先数を表示します。 チャートに示されたデータはさらに詳しく解析できます。

例: **Telephony Outcome** をクリックすると、各 Telephony Outcome の連絡先数が表示

されます。 元の報告に戻すには **結果に戻る**をクリックしてください。

結果チャートから任意の結果をクリックすると、その結果を出す各コンタクト戦略の連絡先数が表

示されます。

前の画面に戻すには **電話結果に戻る**をクリックしてください。 **Contact Strategy** chart から、任意の Contact Strategy をクリックすると、この結果に寄与する Modes にドリルダウンできます。

連絡先選択戦略

コンタクト選択戦略は、ビジネスおよび電話の両方でコンタクト選択の結果の詳細を表示します フィルター基準に基づく戦略。

このウィジェットは、電話およびビジネス成果の両方の連絡先数を表示します。 チャートに示されたデータはさらに掘り下げて、より詳細な詳細を見ることができます。

結果チャートから任意の結果をクリックすると、その結果を出す各コンタクト選択戦略の連絡先数が表示されます。

前の画面に戻すには **電話結果に戻る**をクリックしてください。

Contact Selection Strategy chart から、任意の **Contact Selection Strategy** をクリックすると、この結果に寄与する **Contact Selection Strategies** にドリルダウンできます。

特定のモードにダイヤルされた通話

特定のモードにダイヤルされた通話は、選択した期間ごとに各モードで発信された通話数を示します。 ウィジェットはデータをスパイダーグラフで表示します。 特定のモードにダイヤルされた通話件数を見るために、チャートにマウスを合わせてください。 コンテキストメニューを使って、どのオプションでもチャートをダウンロードしてください。

キャンペーン別:Delivered Contacts

キャンペーン別に「Delivered Contacts」は各キャンペーンに配信されたコンタクト数を示します。このウィジェットは、各キャンペーンごとにダイヤラーに届いた連絡先数を表示します。 チャートにマウスを合わせると、特定のキャンペーンで配信されたコンタクト数が表示されます。 X 軸は接触数を示し、Y 軸はキャンペーン数を示しています。 コンテキストメニューを使って、どのオプションでもチャートをダウンロードしてください。 アプリケーション内で表示されるデータはエクスポートされます。 アプリケーション内でデータがマスクされている場合、エクスポートされたシートでもマスクされます。

エージェントの状態

このウィジェットはエージェントの活動状態の詳細を表示します。

リアルタイム統計

このウィジェットには、アプリケーションのライブで高レベルかつ 360 度のビューを提供するスナップショットが含まれています。

アプリケーション全体でアクティブなキャンペーン数を表示します。 また、合計、非アクティブ、経過カテゴリーのキャンペーン数も示しています。

すべてのキャンペーンでアプリにアップロードされた連絡先の総数。 また、オープン、フレッシュ(まだダイヤル未定)、スケジュール、クローズド、その他の連絡先の内訳も示されています。

アップロードされた連絡先の総数、成功、失敗、重複連絡先の数が含まれます。

InCall、Idle、Not Ready、ACW、Preview など、異なる状態のエージェントおよびエージェントの総数です。

接続率、成功率、試行率、接続試行率、放棄率、平均処理時間を表示します。

履歴レポート

これらのレポートは前日からのデータを提供し、コンタクトセンターのパフォーマンスに関する洞察を提供します。 これらはコンタクトセンターのあらゆる側面、連絡先、通話、エージェントなどをほぼ網羅したセットを形成しています。 レポートはユーザが選択したフィルター基準に基づいて入力されます。 これらのレポートは、カンマ区切り値(CSV)形式で閲覧または保存できます。

報告書にアクセスするには **Reports > Historical Reports** をご覧ください。 レポートには以下のフィールドが表示されます:

- 名前:報告書の名前を表示します。

- タイプ:報告の種類を指定します。
- 説明:報告書の目的を簡単に説明します。
- スケジュール:レポートのスケジューリングを有効または無効にできます。

- スケジュール時間:レポートのスケジュール時間を設定します。
- スケジュール頻度:レポートのスケジュール頻度(例えば日次)を定義します。
- 履歴:報告書の歴史の詳細を表示します。
- アクション:レポート管理のための以下のオプションを提供します:
    - フィルター:指定された基準に基づいてレポートデータをフィルタリングします。
    - エクスポート:レポートデータを処理し、「エクスポート」オプションでダウンロード可能にします。
    - スケジュール:レポートのスケジューリングを設定または変更できます。
    - コピー:レポートの複製を作成します。
    - 共有:レポートを他のユーザと共有しましょう。
    - 削除:レポートを削除します。
- エクスポートオプション:エクスポートボタンはエクスポート作業の状況情報を提供し、以下の詳細を含みます:
    - リクエスト時間:報告依頼が開始された時間。
    - テンプレート名:レポートを生成するために使用されたテンプレートの名前。
    - タイプ:生成されるレポートの種類を識別します。
    - ステータス:エクスポート操作の現在の状態(進行中、完了、失敗など)を示します。
    - 完了時間:レポート生成プロセスが完了した時刻を示します。
    - アクション:このオプションを使って生成されたレポートをダウンロードしてください。 レポートは CSV 形式で生成されます。

レポートのスケジュール設定

レポートを日単位、週単位、月単位、年単位で同僚や他のユーザに自動配信するスケジュールオプションがあります。 レポートスケジューラーを設定すると、指定されたレポートがメールで送信され、選択したスケジュールに従って XLS 形式で送信されます。

1. レポートを選択し、アクションメニューに移動します。
2. スケジュールを選択します。
3. スケジュールレポートのポップアップで、月次、週次、日次から頻度を選択します。

4. レポートを送信する必要がある場合は「レポートタイム」を入力してください。

5. 報告書を送る先の受取人の住所を入力してください。 複数のメールアドレスを追加できます コンマ(,)で区切っています。
    a. 注記 – レポートは毎月最終日の設定時間に送信されます。
    b. 報告書はセキュリティ確保と不正アクセス防止のためにパスワード保護されています。
    c. 報告書はメールで圧縮フォルダーに送られます。
6. それぞれの欄にパスワードとパスワード確認を入力して、報告を安全にし不正アクセスを防ぎましょう。 レポートを開いて閲覧するには、同じパスワードが必要です。
7. [保存（Save）]をクリックします。
8. TURN スケジュールをオンにして、指定された時間にレポートを送信します。

レポートをコピーする

報告書をコピーするには:

1. 報告を選択。 アクションメニューに進みましょう。
2. 「コピー」をクリックします。
3. レポートテンプレートのコピーポップアップで、レポートの新しいテンプレート名と説明を入力します。

レポートを共有する

他のユーザとレポートを共有するには:

1. レポートを選択します。 アクションメニューに進みましょう。
2. 「シェア」をクリックしてください。
3. 共有レポートテンプレートでは、テンプレート名とレポートタイプが読み取り専用のフィールドとして表示され、ユーザは編集できません。
4. ドロップダウンリストからユーザを選択します。
    a. 注記:レポートを共有するために、同時に最大 5 人のユーザを選択できます。 同じ名前のレポートを持っているユーザの場合、そのユーザは「ユーザズ」ドロップダウンリストに表示されません。
    b. 「ユーザ」ドロップダウンにはレポート閲覧権限を持つユーザのみが表示されます。
5. プロセス完了には「シェア」をクリックしてください。 報告を共有すると、共有ユーザの Home ページに表示されます。

    注:レポートテンプレートは選ばれたすべてのユーザに複製されており、共有ユーザは元のバージョンに影響を与えずにコピーを変更してもらえます。 報告フィルターは各ユーザのアクセス権に基づいて表示されます。

報告書を削除する

報告書をコピーするには:

1. 報告を選択。 アクションメニューに進みましょう。
2. 削除をクリックします。

3. 「レポート削除テンプレート」のポップアップで「OK」をクリックしてレポートを削除してください。

概要報告書

サマリーレポートは、コンタクトセンターの運営の概要を簡単に紹介します。 選択したフィルターに基づくデータを表示し、通話、連絡先、キャンペーンなどの数字や詳細を分かりやすい形式で把握するのに役立ちます。

レポートを作成するには:

1. 「履歴レポート作成」アイコンをクリックしてください。
2. 「要約レポート」を選択し、「作成」をクリックします。
3. ドロップダウンリストから適切なタイムゾーンを選択して、特定のタイムゾーンのレポートを生成してください。 デフォルトのタイムゾーンはブラウザで設定されています。

   注:サマリーレポートのタイムゾーンオプションはシステムのタイムゾーンのみを表示します。
4. ドロップダウンリストからレポートビューを選択してレコードをグループ化してください。 要素は選択したレポートタイプに基づいて表示されます。
   a. キャンペーン
   b. グローバルリスト ID
   c. リスト
   d. キャンペーングループ
   e. 日付
   f. エージェント（Agent）
5. ドロップダウンリストから期間を選択して、特定の期間のレポートを閲覧してください。 デフォルト値は「今日」に設定されています。
   a. 今日
   b. 前日
   c. 今週
   d. 前週
   e. 今月
   f. 前月
   g. 直近 N 日間 — このオプションを選択した場合、レポートが閲覧できる日数を入力してください。
   h. カスタム日付範囲 — このオプションを選択した場合、指定された期間のレポートを表示するには日付範囲期間を入力します。

   注:最適な性能と効率を維持するために、最大 1865 日(5 年)の期間のみを許可しています。

フィルターを適用

1. フィルターのセクションに行ってデータをフィルタリングしてください。 フィルターで単一または複数のフィールドを選択できます。
2. グローバルリスト Tab で、適切なグローバルリスト ID を選択してデータをフィルタリングします。

3. キャンペーングループ Tab で、適切なキャンペーングループを選択してデータをフィルタリングします。
4. キャンペーン Tab で、適切なキャンペーンを選択してデータをフィルタリングします。
5. リスト Tab で適切なリスト ID を選択してデータをフィルタリングします。 これらは選択したキャンペーンでのみ表示されます。
6. エージェント Tab で、適切なエージェントを選択してデータをフィルタリングします。

要素

1. 選択した要素に基づいてレポートを生成するには、要素セクションに行ってください。 単一要素または複数要素を選択できます。
2. 連絡先 Tab で、報告を生成するための関連するフィールドを選択してください。 フィールドについて詳しく知りたい方は、Contact Fields をご覧ください。
3. 「試み Tab」では、報告を生成するための関連するフィールドを選択します。 フィールドについて詳しく知りたい方は、「試み」を参照してください。
4. 計算済み Tab で、適切なフィールドを選択してレポートを生成します。 場について詳しく知りたい方は「計算済み」を参照してください。
5. RPC / Consent / Manual Tab で、適切なフィールドを選択してレポートを生成します。 フィールドの詳細については、RPC(RPC)または同意(Consent Consent)、または手動フィールド詳細をご覧ください。
6. ドロップダウンリストからチャンネルを選択して、選択したチャンネルに基づいて要素を表示できます。 次のオプションを使用できます。
    a. ボイス:ボイスインタラクションに特有の要素を表示します。
    b. SMS:SMS コミュニケーションに関連する要素を表示します。
    c. メール:メールのやり取りに特化したパラメータを表示します。
    d. 全員:すべてのチャンネルの要素を閲覧できます。

レポートの保存と表示

1. レポートを表示するには「見る」をクリックしてください。
2. レポートを Excel ファイルにエクスポートするには「エクスポート」をクリックしてください。
3. [保存（Save）]をクリックします。 フィルターページからレポートを保存することもできます。
4. 報告書の名前と説明を入力します。
5. [保存（Save）]をクリックします。

接触フィールド

フィールド	説明	該当なし	モード（Mode）
オープンスタート	これは、新しい日の前日から開いていた連絡先の数です 一日が始まる。	エージェント、キャンペーン グループ	声、SMS、電子メール
フィールド	説明	該当なし	モード（Mode）
チェインド・アダクト	これはチェーンによって追加される接点の数です。	エージェント、キャンペーン グループ	声、SMS、電子メール
アップロード	これは、ファイルや API を通じて 1 日にアップロードされた連絡先の数です。	エージェント、キャンペーングループ	声、SMS、電子メール
管理	管理で開いた、ブロック解除された、移動した、コピーされた連絡先の数です コンタクト。	エージェント、キャンペーン グループ	声、SMS、電子メール
連絡先	接触数は毎日計算されています。 接点数の合計は次のものの合計です: • 連絡先は毎日の始まりにオープンします。 • 連絡先は一日中手動、自動、または API でアップロードされます。 • チェインによって追加された接点。 • 開かれた連絡先、連絡先管理でブロック解除、移動、またはコピー。	キャンペーングループ エージェント	声、SMS、電子メール
新鮮	少なくとも一度も試みられていないオープンコンタクトのことです。 これはそうではありません アカウントエグゼクティブマッピング(AEM)やコールバック連絡先が含まれます。	キャンペーングループ エージェント	声、SMS、電子メール
スケジュール	試みられるのはオープンコンタクトです 少なくとも 1 回は、アカウントエグゼクティブマッピング(AEM)やコールバッ	エージェント、キャンペーングループ	声、SMS、

	クを除いて。		電子メール
PCB	これはパーソナルコールバック(PCB)とマークされた連絡先です。	エージェント、キャンペーングループ	声、SMS、電子メール
NCB	これは通常コールバック(NCB)とマークされた連絡先です。	エージェント、キャンペーングループ	声、SMS、電子メール
コールバック	これはコールバック(パーソナルとノーマル)の合計です。	エージェント、キャンペーングループ	声、SMS、電子メール
AEM フレッシュ	これは、まだアカウントエグゼクティブマッピング(AEM)に連絡が取れていない連絡先の数です 一度でも試みたことがある。	エージェント、キャンペーングループ	声、SMS、電子メール
AEM 予定	これは、これまでに取得されたアカウントエグゼクティブマッピング(AEM)連絡先の数です 少なくとも一度は試みた。	エージェント、キャンペーングループ	声、SMS、電子メール
フィールド	**説明**	**該当なし**	**モード（Mode）**
AEM	これは AEM Fresh と AEM Scheduled Contact の合計です。	エージェント、キャンペーングループ	声、SMS、電子メール
オープンカウント	オープンコンタクトの総数は、フレッシュ、スジューデッド、コールバック、AEM コンタクトの合計です。 送信された接触もオープンに含まれますコンタクト。		声、SMS、電子メール
クローズドテレが失敗しました	閉じた接点の数です 電話失敗の結果。 成功やコールバックの結果は含まれていません。		音声
クローズ SMS 失敗	成功結果を除く SMS で終了した接触数コミュニケーション。		SMS

メールのクローズドが失敗しました	結果とともに閉じた接触数 メールでの成功結果は除外します。		電子メール
クローズドコンプライアンス	これは、電話禁止(DNC)、全国電話禁止命令(NDNC)、DNC スクラブ、訴訟との非公開連絡の総数です 結果。		声、SMS、電子メール
閉鎖された CCB	これは、コンプライアンスエンジンがルールの失敗により閉じた接触数です。	エージェント（Agent）	声、SMS、電子メール
クローズドテレでの成功	閉じた接点の数です Callback や Success の結果など、Success Telephony の成果も含まれます。		音声
クローズド SMS 成功	SMS コミュニケーションで連絡が完了した件数。		SMS
クローズドメール成功	メールで成功裏に閉鎖された連絡先の数。		電子メール
閉鎖された事業の失敗	これは、失敗したビジネス結果で契約が終了した連絡先の数です。		声、SMS、電子メール
クローズドビジネスでの成功	これは、成功ビジネスの結果として締結された連絡先の数です。		声、SMS、電子メール
クローズド・スククラブド	これは、スクラブされた接触点の数です。	エージェント（Agent）	声、SMS、電子メール
終了済み 期限切れ	期限切れの連絡先の数です。	エージェント（Agent）	声、SMS、電子メール
フィールド	**説明**	**該当なし**	**モード（Mode）**
閉鎖されたその他	これは、上書きや連絡先リストなど他の理由で閉じられた連絡先の数です 止まった、フラッシュされた、その他。	エージェント（Agent）	声、SMS、電子メール

クローズド・プレコール	これはプレコールスクリプトで閉じた接触数です。	エージェント（Agent）	声、SMS、電子メール
終了（Closed）	すべてのクローズドコンタクトの合計です。		声、SMS、電子メール
完了率	これは、閉じた接触数と接点数の比率です。 公式 = 閉じた接触数 / 総数 contacts		声、SMS、電子メール
クローズド成功率	これは、成功した電話結果で閉じられた接触数と、総接触数の比率です。 公式 = クローズド・サクセスコンタクト / 合計 接触数		声、SMS、電子メール
クローズドビジネス成功率	これは、成功したビジネス成果を得た契約数と総契約数の比率です。 公式 = 閉鎖成功接触数 / 接触数の総数		声、SMS、電子メール
クローズド RPC パーセンテージ	これは、成功およびビジネス成功の結果を合わせた Right Party Connect(RPC)コンタクトを、コンタクト総数に比べた比率です。 公式 = (成功した RPC の非公開接触 電話結果 + RPC の成功した事業結果) / 合計 接触数		音声
コンタクト・ユニーク	これは少なくとも 1 回の試みが行われた開接または閉鎖された接触の数です。		声、SMS、電子メール
コンタクト・コンテクト・パーセンテージ	これは、エージェントが接続した一意なコンタクトの数とコンタクト総数の比率です。 式 = 一意接触数 / 総数 連絡先について		音声
連絡先 RPC パーセンテー	これは、RPC 試行回数と交信数の一意交接の比率です。 式 = RPC 試行数を含む一意接触数 / 総接触数		音声

ジ			
接触試み	これは、一意接触数と総接触数の比率です。		声、SMS、
フィールド	**説明**	**該当なし**	**モード（Mode）**
割合（Percentage）			電子メール
その他（Others）	一時的にブロックされた接触の数です。	エージェント（Agent）	声、SMS、電子メール
偽名化	偽名化された接触件数。	エージェント（Agent）	声、SMS、電子メール
新鮮な割合	これは新鮮度を CONTACT で割って計算され、新鮮度の割合を表します コンタクト。		
スケジュールパーセンテージ	これはスケジュールを CONTACT で割ったものとして計算され、予定された接触。		
AEM パーセンテージ	AEM を CONTACT で割って計算されます。これは AEM 連絡先の割合を表しています。		
コールバック率	コールバック数を CONTACT で割って計算され、その割合を表します。コールバック連絡先。		
オープンパーセンテージ	オープンを CONTACT で割って計算し、オープンの割合を表します コンタクト。		
クローズド CPaaS の成功	CPaaS チャネルを通じて成功裏にクローズされた接触件数。		
アクティブリスト	これはその日のアクティブな状態にある連絡先リストの数です。	エージェント、リスト ID	声、SMS、電子メール
ストップリスト	その日の停止状態にある連絡先リストの数です。	エージェント、リスト ID	声、SMS、

			電子メール
停止リストとクローズリスト	その日の連絡先リストが停止・閉鎖された数です。	エージェント、リスト ID	声、SMS、電子メール
恒久的停止リスト	これは、その日の恒久的な停止状態にある連絡先リストの数です。	エージェント、リスト ID	声、SMS、電子メール
期限切れリスト	それはその日の期限切れ状態にある連絡先リストの数です。	エージェント、リスト ID	声、SMS、電子メール
試み 1	これは、1 回の試みで開かれた接触の数です。		声、SMS、電子メール
フィールド	**説明**	**該当なし**	**モード（Mode）**
試み 2	これは 2 回の試みで開かれた接触の数です。		声、SMS、電子メール
試み 3	3 回の試みで開いた接触の数です。		声、SMS、電子メール
試み 4	4 回の試みで開いた接触の数です。		声、SMS、電子メール
試み 5	5 回の試みで開いた接触数のことです。		声、SMS、電子メール
試み 6	これは 6 回試みされた接触の開通数です。		声、SMS、電子メール
試み 7	7 回の試みで開いた接触の数です。		声、SMS

			、 電子メール
第 8 回挑戦	8 回の試みで開いた接触数を示します。		声、 SMS 、 電子メール
試み 9	これは 9 回の試みで開いた接触数です。		声、 SMS 、 電子メール
試み>9	10 回以上の試みが行われたコンタクトの開通数です。		声、 SMS 、 電子メール
閉鎖 1	これは 1 回の試みで閉じられた接触の数です。		声、 SMS 、 電子メール
閉鎖された 2	2 回の試み後に開かれた接触の数です。		声、 SMS 、 電子メール
閉鎖 3	3 回の試み後に開かれた接触の数です。		声、 SMS 、 電子メール
閉鎖された 4	4 回の試み後に開かれた接触の数です。		声、 SMS 、 電子メール
閉鎖された 5	5 回の試み後に開かれた接触の数です。		声、 SMS 、 電子メール
閉鎖された 6	6 回の試み後に開かれた接触の数です。		声、 SMS 、 電子メール
フィールド	説明	該当なし	モード（**Mode**）
閉鎖された 7	7 回の試み後に開かれた接触の数です。		声、 SMS 、 電子メール

閉鎖された 8	8 回の試み後に開かれた接触の数です。		声、SMS、電子メール
閉鎖 9	9 回の試み後に開かれた接触の数です。		声、SMS、電子メール
閉鎖>9	10 回以上の試み後に開かれた接触の数です。		声、SMS、電子メール
パス 1	これは、一度の試みで開いた接触と閉じた接触の数です。		声、SMS、電子メール
パス 2	これは 2 回の試みで開いた接触と閉じた接触の数です。		声、SMS、電子メール
パス 3	これは 3 回の試みで開いた接触と閉じた接触の数です。		声、SMS、電子メール
パス 4	4 回の試みで開いた接触と閉じた接触の数です。		声、SMS、電子メール
パス 5	5 回の試みで開いた接触と閉じた接触の数です。		声、SMS、電子メール
パス 6	これは 6 回の試みで開いた接触と閉じた接触の数です。		声、SMS、電子メール
パス 7	これは 7 回の試みで開いた接触と閉じた接触の数です。		声、SMS、電子メール
パス 8	これは 8 回の試みで開いた接触と閉じた接触の数です。		声、SMS、電子メール

パス 9 とパス > 9	これは 9 回以上で開いた接触と閉じた接触の数です。		声、SMS、電子メール
パス 1 パーセント	開接点と閉鎖接点の割合総接触数に対して 1 回の試みで完了しました。		声、SMS、電子メール
パス 2 パーセント	開接点と閉鎖接点の割合総接触数に対して 2 回の試みで完了しました。		声、SMS、電子メール
フィールド	**説明**	**該当なし**	**モード（Mode）**
パス 3 パーセンテージ	3 回の試みで完了したオープンおよびクローズドコンタクトの割合は、接触数の総数。		声、SMS、電子メール
パス 4 パーセント	開接点と閉鎖接点の割合総接触数に対して 4 回の試みで完了しました。		声、SMS、電子メール
パス 5 パーセント	5 回の試みで完了したオープンおよびクローズドコンタクトの割合は、接触数の総数。		声、SMS、電子メール
パス 6 パーセント	6 回の試みで完了したオープンおよびクローズドコンタクトの割合は、接触数の総数。		声、SMS、電子メール
パス 7 パーセント	開接点と閉鎖接点の割合総接触数に対して 7 回の試みで完了しました。		声、SMS、電子メール
パス 8 パーセント	8 回の試みで完了したオープンおよびクローズドコンタクトの割合は、接触数の総数。		声、SMS、電子メール
パス 9 パーセントとパス>9 パーセント	9 回の試みまたは 9 回以上の試みで完了したオープンおよびクローズドコンタクトの割合を、総コンタクト数に対して割合。		声、SMS、電子メール

試み

フィールド	説明	該当なし	モード（Mode）
ボイス・アトラブル	これは試みた総回数です。	-	声、SMS、電子メール
エージェント・ボイス・アトラブル	これは、プレビューなどのエージェントのペーシングモードのダイヤラーの音声試行回数です。 進行中、予測的。		音声
IVR ボイス・イチャリング	これは IVR ペーシングモードのダイヤラーの音声試行回数です。	エージェント（Agent）	音声
SMS 試み	SMS チャンネルを通じた試み回数。これは接触レベルでカウントされ、一度の試みで複数の双方向メッセージを送ることは含めてはいけません。 それは 1 方向 SMS 試行と 2 方向 SMS 試行の合計。	エージェント（Agent）	SMS
2 ウェイ SMS 試み	SMS チャネルを通じて 2 方向のみの試み回数 SMS	エージェント（Agent）	SMS
フィールド	説明	該当なし	モード（Mode）
	交流。		
双方向メッセージ送信	2 ウェイ SMS 試行の一部として受信された 2 方向メッセージの総数。	エージェント（Agent）	SMS
2 ウェイ SMS タイムアウト	2 方向 SMS の試みの数 指定された時間内に返答が来ず、タイムアウトが発生します。	エージェント（Agent）	SMS
SMS 配達領収書	配達領収書が取得された SMS 試行回数。 2 方向 SMS の場合、これはやり取りの最後の送信メッセージです。	エージェント（Agent）	SMS

SMS 配達受領率	配達受領書付きの SMS 試行率を計算します。	エージェント（Agent）	SMS
メールの試み	メールチャネルを通じて行われた試み回数。	エージェント（Agent）	電子メール
トータル・アブライド	全チャネルでの総試行回数は、音声試行 + SMS 試行 + メール試行 + その他試み		声、SMS、電子メール
非挑戦	これは、未試行の結果がマークされたコールの数、および API で無理やり非試みとラベル付けされたやり取り。		声、SMS、電子メール
郵便ブロック	ブロックされたメールの数	エージェント（Agent）	電子メール
郵便バウンス	返事が返ってきたメールの数。	エージェント（Agent）	電子メール
配達済み郵便物	受信者の受信トレイに正常に届いたメールの数	エージェント（Agent）	電子メール
郵便開封	独自に使われたメールの数受取人によって開封(すべての開封の合計ではありません)。	エージェント（Agent）	電子メール
メールクリック	ユニークな URL を持つメールの数受信者によってクリックされました(すべてのクリック数の合計ではありません)。	エージェント（Agent）	電子メール
メール転送	受信者によって転送されたメールの数。	エージェント（Agent）	電子メール
メールスパム	受信者によってスパムとマークされたメールの数。	エージェント（Agent）	電子メール
メール配信停止	受取人が今後の連絡を解約したメールの数。	エージェント（Agent）	電子メール
フィールド	**説明**	**該当なし**	**モード（Mode）**
メールブロック率	ブロックされたメールの割合は、メールブロック/メール試行数として計算されます	エージェント（Agent）	電子メール

郵便物の不渡り率	不渡りメールの割合は、メールのバウンス/メール試行数で計算されます。	エージェント（Agent）	電子メール
郵便配達率	メールの割合は 成功配達、計算は:郵便配達/メール試行	エージェント（Agent）	電子メール
メール開封率	配信済みメールのうち開封された割合は、メール開封数 / 配達済み郵便物	エージェント（Agent）	電子メール
郵便のクリック音 パーセンテージを通じて	一意の URL がクリックされた配達メールの割合は、Mail クリック/MailDelivered として計算されます	エージェント（Agent）	電子メール
メールクリック・トゥ・オープン率	開封メールのうち、ユニークな URL がクリックされた割合は、次のように計算されます:Mail クリック/メール開封	エージェント（Agent）	電子メール
転送率	メールの割合は 転送(転送)は、転送/メール試行として計算されます。	エージェント（Agent）	電子メール
メールスパムの割合	スパムとマークされたメールの割合は、メールスパム/メール試行件数として計算されます。	エージェント（Agent）	電子メール
メールの解約率	受信者にメールが届く割合 購読停止、計算方法は:メール解約/メール試行	エージェント（Agent）	電子メール
顧客による応答	これは顧客が応答した通話回数です	エージェント（Agent）	音声
接続	これは、エージェントまたは IVR に関連する顧客応答の電話数です。		音声
エージェント・コネクト	これは、エージェントのペース調整モード(プレビュー、進行中)からダイヤラーに接続された顧客通話数です。 予測的です。		音声
IVR つながり	これは IVR ペーシングモードを使用するダイヤラーの顧客接続通話数です。	エージェント（Agent）	音声
試投成功率	これは接続された通話数と試み回数の比率です。 公式 = 接続コール数 / 総試行回数	エージェント（Agent）	音声

接続率	これは接続された通話数と試み回数の比率です。 公式 = 接続コール数 / 総試行回数	エージェント（Agent）	音声
フィールド	**説明**	**該当なし**	**モード（Mode）**
試行数	これは、試行総回数と少なくとも 1 回以上試みた一意連絡先の数の比率です。 公式 = 総試行回数 / 一意接触数	エージェント（Agent）	音声
試み回数	これは、接続された通話数と少なくとも 1 回試みられたユニークな接続件数の比率です。 式 = 連結コール / 一意 連絡先	エージェント（Agent）	音声
平均試行回数	これは、その日のキャンペーン実行時間(分)と、試み総回数の比率です。 公式 = 1 日のキャンペーン実行時間分 / 総試行回数/60	エージェント（Agent）	音声
平均接続数	これは、その日のキャンペーンランタイム(分)と接続された通話総数の比率です。 公式 = 1 日のキャンペーン実行時間分 / トータルコネクト/60	エージェント（Agent）	音声
顧客放棄	これは顧客が放棄した通話回数のことです。	エージェント（Agent）	音声
システム放棄	ダイヤラーシステムが放棄した通話回数です。	エージェント（Agent）	音声
放棄（Abandoned）	これは、顧客が放棄した通話を含む放棄通話の総数です。 system	エージェント（Agent）	音声
放棄率	切断通話数の総数と、エージェント接続数および放棄通話数の合計に対する比率です。 公式 = 総放棄通話数 / (エージェント接続 + 放棄された通話)	エージェント（Agent）	音声
放棄期間	通話が終了してからの時間のことです。	エージェント（Agent）	音声

平均放棄期間	これは放棄された通話時間と放棄通話数の比率です。 公式 = 放棄期間 / 放棄コール（Calls）	エージェント（Agent）	音声
CPA 期間(ms)	これは通話進行分析(CPA)にかかる時間(ミリ秒単位)です。	エージェント（Agent）	音声
平均 CPA 期間(ms)	これは CPA 時間と試み回数の比率です。	エージェント（Agent）	音声
フィールド	**説明**	**該当なし**	**モード（Mode）**
AMD Connect	これは、エージェントに接続された留守番電話の通話回数です。		音声
AMD	これは接続された留守番電話の通話回数です。		音声
AMD パーセンテージ	これは、留守番電話の通話回数の総試行回数に対する割合です 作られた。		音声
PCB の試み	個人的なコールバックは、試みた回数です		音声
NCB の試み	通常のコールバックである試み回数です	エージェント（Agent）	音声
コールバックの試み	試み回数が 個人的なコールバックと通常のコールバック。 フォーミュラ = PCB 試行回数 + NCB 試行回数		音声
PCB 接続	これはエージェントに接続された個人的な折り返しコールの回数です。		音声
NCB コネクト	これはエージェントに接続された通常のコールバック回数です。		音声
コールバックがつながる	これはコールバックの総数であり、以下が含まれます 個人的なコールバックも通常のコールバックも含め、エージェントと連携しています。		音声
コールバック接続率	エージェントに接続されたコールバック数と合計コールバック試行数の比率。 ここでのコールバックには、個人的なコールバックと通常のコールバッ		音声

	クの両方が含まれます。 公式 = (PCB Connect + NCB Connect) / (PCB 試行+NCB 試行)		
PCB 登録済み	これは今日登録された個人コールバックの数です。		音声
NCB 登録済み	これは今日登録された通常のコールバック数です。		音声
コールバック登録済み	これは、個人用および通常の回帰回を含む、今日登録されたコールバック数のことです。 公式 = PCB 登録 + NCB 登録		音声
PCB クローズド・サクチャー	これは、成功した結果でクローズされた個人的なコールバックの数です。		音声
PCB 閉鎖故障	これは、失敗で閉鎖された個人的なコールバックの数です。		音声
NCB クローズド・サクチャー	これは、成功した結果でクローズされた通常のコールバックの数です。		音声
フィールド	**説明**	**該当なし**	**モード（Mode）**
NCB クローズド・プロブレイン	これは、失敗結果で終了した通常のコールバックの数です。		音声
コールバックのクローズ・ヒット	これは、個人的なコールバックも通常のコールバックも含めて、成功して締結された回数を指します。 フォーミュラ = PCB クローズド成功 + NCB クローズド 成功（Success）		音声
コールバックのクローズド・失敗	これは、個人コールバックも通常のコールバックも含めて、失敗結果で終了したコールバックの数です。 式 = PCB 閉鎖破壊 + NCB 閉鎖破壊		音声

コールバック終了	これは、個人的なコールバックと通常のコールバックの両方を含め、成功結果と失敗結果の両方でクローズされたコールバックの総数です。 フォーミュラ = PCB クローズド成功 + NCB クローズド 成功 + PCB 閉鎖故障 + NCB 閉鎖故障		音声
AEM の試み	これはアカウントエグゼクティブマッピング(AEM)への連絡試行回数です。		音声
AEM Connect	これはエージェントに接続された AEM 通話の回数です。		音声
AEM Connect パーセンテージ	これは、AEM 通話の合計試行数と接続された比率です。		音声
その他の接続	これは、ダイヤラーを使わない顧客接続通話数です。	キャンペーングループ、エージェント、リスト ID	声、SMS、電子メール
その他の試み	これは、非 MCD API を通じたダイヤラー通話など。	キャンペーングループ、エージェント、リスト ID	声、SMS、電子メール
CPaaS の試み	これは CPaaS チャネルの試行回数です。	キャンペーングループ、エージェント、リスト ID	声、SMS、電子メール

計算

フィールド	説明	該当なし	モード（Mode）
エージェント（Agent）	それは 1 日に一度システムにログインするエージェントの数です。		音声
フィールド	説明	該当なし	モード（Mode）
エージェント接続率	接続された通話数とエージェント数の比率です。		音声

リングの持続時間	電話が鳴ってから応答されるまでの時間のことです	エージェント（Agent）	音声
平均リング持続時間	これはリング時間と接続された通話総数の比率です。	エージェント（Agent）	音声
トーク時間	それは実際の会話時間の時間帯です。		音声
IVR 時間	発信者が IVR システムとやり取りする合計時間。	エージェント（Agent）	音声
2 ウェイ SMS 持続時間	2 方向 SMS の試み開始までの合計時間。	エージェント（Agent）	SMS
ACW 時間	この期間はアフターコールワーク(ACW)活動が実施されます。		音声
ハンドル持続時間	実際の会話時間と ACW 活動に費やした時間を示します。 公式 = トーク持続時間 + ACW 持続時間		音声
プレビュー期間	エージェントがプレビュー通話を視聴する期間を示します。		音声
AHT	これは総通話処理時間と接続された通話総数の比率です。 公式 = ハンド持続時間 ÷ 総接続		音声
AHT IVR	IVR コールの平均処理時間。 これは合計 IVR 通話時間を接続された IVR 通話数で割って算出されます。 公式:AHT IVR = IVR 持続時間 / IVR 接続		音声
AHT の 2 方向 SMS	2 方向 SMS インタラクションの平均処理時間。 これは 2 ウェイ SMS 試行の総持続時間を 2 ウェイ SMS 回の試行総数で割って算出されます。 式:AHT 2 ウェイ SMS = 2 ウェイ SMS 持続時間 / 2 ウェイ SMS 試み	エージェント（Agent）	SMS
平均ファーストレスポンス 2 ウェイ SMS	2 ウェイ SMS のやり取りにおける最初のメッセージの平均応答時間。 これは、すべての 2 ウェイ SMS 試行で最初に送信されたメッセージと受信されたメッセージの間の持続時間を合計して計算されます そして受信した 2 方向メッセージの総数で	エージェント（Agent）	SMS

	割ります。		
フィールド	説明	該当なし	モード（Mode）
	2 ウェイ SMS は最初のメッセージでタイムアウトを試みますが、その後のメッセージでタイムアウトされたものも含みます。 式:平均最初の応答 2 方向 SMS = (すべての最初のメッセージ応答の合計) 持続時間)/受信した双方向メッセージ		
平均応答 2 方向 SMS	2 方向 SMS インタラクションにおけるすべてのメッセージの平均応答時間。これは、2 方向 SMS 試行で送受信されたすべてのメッセージ間の持続時間を合計し、受信した 2 方向メッセージの総数で割って計算されます。 タイムアウトのメッセージの長さは除外されます。 式:平均応答 2 方向 SMS = (すべてのメッセージ応答の合計) 持続時間)/受信した双方向メッセージ	エージェント（Agent）	SMS
AHT RPC	これは RPC 通話の総通話処理時間と接続された通話総時間の比率です。 公式 = RPC コールの総処理時間 / トータルコネクト	エージェント（Agent）	音声
AHT ノン RPC	これは、非 RPC 通話の総通話処理時間と接続された通話総時間の比率です。 式 = 非 RPC の総処理時間 通話数 / 総接続数		音声
AHT 同意	同意申請の平均処理時間。		音声
AHT の同意なし	同意なしの試みの平均処理時間。 PEWC が無効化された場合、この値は 0 になるはずです。		音声

AHT マニュアル	これは、手動通話の総通話処理時間と接続された通話総数の比率です。 公式 = 手動の総処理時間 通話数 / 総接続数		音声
ACW RPC 期間	この期間は RPC タイプの ACW 活動が実施されます。		音声
ACW 非 RPC 期間	この期間は、非 RPC タイプの ACW 活動が実施されます		音声
トーク RPC 持続時間	これは RPC 通話のトークタイムです。		音声
非 RPC 期間について話す	これは RPC 以外の通話のトークタイムです。		音声

RPC または同意、またはマニュアルフィールド詳細

フィールド	説明	該当なし	モード（Mode）
RPC	これは、Right Party Connect(RPC)の結果が出た試み回数です。		音声
非 RPC	これは、非右派党の連携結果を得た試みの数です。		音声
RPC パーセンテージ	これは RPC での試み回数の比率です合計の試み結果に比べて。 公式 = RPC / 総試行回数		音声
非 RPC パーセンテージ	これは、非 RPC 結果での試み数と合計試行数の比率です。 公式 = 非 RPC / 総試行回数		音声
RPC Connect	これは RPC の結果に関連する通話の総数です。		音声
RPC 接続率	これは RPC 接続数と接続された通話総数の比率です。 公式 = RPC Connect / Total Connect		音声
同意	同意試行の回数。 PEWC(事前明示書面同意)が無効化された場合、この値は 0.		声、SMS、電子メール
nConsent	非同意の試みの回数。 PEWC(事前明示書面同意)が無効化された場合、この値は 0 になるはずです。		声、SMS、電子メール
RPC 同意率	同意試行のうち、RPC(右当事者接触)または同意のタイプに至った割合。 PEWC が無効化されている場合、この値は 0 であるはずです。 公式:RPC 同意率% = (RPC / 同意)×100		音声
RPC n 同意率	RPC または nConsent タイプの結果に至った非同意の試みの割合。 PEWC が無効化されている場合、この値は 0 であるはずです。 公式:RPC nConsent % = (RPC / nConsent)×100		音声

コンセント・コネクト	エージェントに繋がった同意試行の回数。 もし PEWC が 無効化された場合、この値は 0 であるはずです。		音声
同意接続率	同意の試み回数 エージェントと繋がっている。 PEWC が無効化されている場合、この値は 0 であるはずです。		音声
フィールド	**説明**	**該当なし**	**モード（Mode）**
nConsent Connect	代理人に関連する非同意の試みの数。 もし PEWC が 無効化された場合、この値は 0 であるはずです。		音声
nConsent Connect 割合	エージェントに繋がった非同意の試みの割合。 公式:nConsent Connect % = (nConsent Connect / nConsent)×100		音声
手動	手動キャンペーンを使った試み回数です。		声、SMS、電子メール
マニュアルテレ失敗	手動キャンペーンで電話が失敗した回数のことです 結果。		声、SMS、電子メール
マニュアルテレサクセス	これは、使用された試み回数です。 手動キャンペーンで電話成功の結果を得ています。		声、SMS、電子メール
手作業の失敗	手動キャンペーンで試みた回数で、 ビジネスが失敗した結果です。		声、SMS、電子メール
手作業でのビジネス成功	これは、手動キャンペーンを使った試み回数でビジネスの成功を収めた数です 結果。		声、SMS、電子メール
手動 RPC	手動キャンペーンで RPC の結果を出す試み回数です。		音声

手動 RPC パーセンテージ	手動キャンペーンでの試みと RPC の結果の比率です。 手動キャンペーンで行われた総試行回数。		ボイス

詳細報告書

レポートを作成するには:

1. +履歴レポート作成アイコンをクリックしてください。
2. 詳細レポートを選択し、「作成」をクリックします。
3. ドロップダウンリストから適切なタイムゾーンを選択して、特定のタイムゾーンのレポートを生成してください。 デフォルトのタイムゾーンはブラウザで設定されています。
4. ドロップダウンリストから期間を選択して、特定の期間のレポートを閲覧してください。デフォルト値は「今日」に設定されています。
    a. 今日

b. 前日

c. 今週

d. 前週

e. 今月

f. 前月

g. 直近 N 日 - このオプションを選択した場合、レポートを表示する日数を入力します。

h. カスタム日付範囲 - このオプションを選択した場合、日付範囲を入力すると、指定された期間のレポートが表示されます。

注:最適なパフォーマンスと効率を維持するため、最大 180 日の期間のみを許可しています。

フィルターを適用

1. フィルターのセクションに行ってください。
2. チャンネル Tab では、以下のオプションからチャンネルタイプを選択します:
   a. SMS:SMS 通信で処理された連絡先のデータを含む。
   b. 音声:音声通話で処理された連絡先のレポートデータが含まれます。
   c. メール:メールで処理された連絡先のレポートデータが含まれています。
   d. 管理業務(非チャネル):アクティブなチャネルを経由せず、手動で更新された連絡先のレポートデータが含まれています。
3. グローバルリスト Tab で、適切なグローバルリスト ID を選択します。
4. キャンペーングループ Tab で、適切なキャンペーングループを選択します。
5. キャンペーン Tab では、適切なキャンペーンを選択してください。
6. リスト Tab で適切なリスト ID を選択してください。 リスト ID は選択されたキャンペーンのみが表示されます。
7. CSS グループ Tab で、適切な CSS グループを選択します。 CSS グループは選択したキャンペーンのみで表示されます。
8. CSS Tab で、適切な CSS を選択してください。 CSS は選択したキャンペーンのみで表示されます。
9. エージェント Tab で、適切なエージェントを選択します。
10. 結果 Tab で、適切な結果を選択します。
11. ステータス Tab で、連絡先の適切なステータスを選択します。
12. 試み Tab では、以下のオプションから接触試みタイプを選択します。

a. RPC の試み

b. 非 RPC の試み

c. 未遂

d. 未遂

13. 条件 Tab では、該当する場合は条件を作成します。 条件機能によりカスタムビルドが可能です条件。 「{」キーを押すと、システムフィールドやビジネスフィールドを提案するポップアップにアクセスできます。

要素

1. エレメントのセクションに行ってください。
2. 属性 Tab で、レポートを生成するための関連するフィールドを選択します。 フィールドの詳細については、属性を参照してください。
3. Delivery Tab で、レポートを生成するための関連するフィールドを選択してください。 フィールドの詳細については、「デリバリー」を参照してください。
4. 処理中 Tab で、レポートを生成するための関連フィールドを選択してください。 フィールドの詳細については、「処理」を参照してください。
5. 結果 Tab で、レポートを生成するための関連するフィールドを選択してください。 フィールドの詳細については、Result をご覧ください。
6. 計算された Tab で、レポートを生成するための関連するフィールドを選択します。 フィールドの詳細については「計算済み」を参照してください。
7. ビジネスパラメータ Tab で、レポートを生成するための関連するフィールドを選択してください。 ビジネスパラメータを見るには、少なくとも 1 つのキャンペーンを選択する必要があります。 これらのパラメータは選択したキャンペーンから取得されます。
8. ドロップダウンリストからチャンネルを選択して、選択したチャンネルに基づいて要素を表示できます。 次のオプションを使用できます。
    a. ボイス:ボイスインタラクションに特有の要素を表示します。
    b. SMS:SMS コミュニケーションに関連する要素を表示します。
    c. メール:メールのやり取りに特化したパラメータを表示します。
    d. 全員:チャンネルに関係なくすべての要素を閲覧できます。

レポートの保存と表示

1. レポートを表示するには「見る」をクリックしてください。
2. レポートを Excel ファイルにエクスポートするには「エクスポート」をクリックしてください。
3. [保存（Save）]をクリックします。 フィルターページからレポートを保存することもできます。
4. 報告書の名前と説明を入力します。
5. [保存（Save）]をクリックします。

属性（**Attribute**）

フィールド	説明	モード（**Mode**）

キャンペーングループ	これは、接触者が所属するキャンペーングループの名称です。	声、SMS、電子メール
テンポ	接触試行のペース表示が表示されます。 例:プレビュー、プログレッシブ、予測。	音声
フィールド	**説明**	**モード（Mode）**
キャンペーン	これは、その連絡先が所属するキャンペーンの名称です。	声、SMS、電子メール
グローバルリスト ID	これは、グローバルアップロードのために割り当てられた各リストごとにアプリケーションが生成する ID です。 この ID はシステム内でも唯一無二の存在です。	声、SMS、電子メール
リスト ID	これはこのリストのアプリケーションによって生成される List ID です。 この ID はキャンペーンの中でも唯一無二の存在です。	声、SMS、電子メール
コンタクト ID（Contact ID）	キャンペーン内の連絡先に使われるユニークな ID です。	声、SMS、電子メール
アップロードされた時間	連絡先がアップロードされた時刻が表示されます。	声、SMS、電子メール
[LCM キー（WEP Key）]	これは試みにおいて唯一の ID システムです。	声、SMS、電子メール
ダイヤラー参照番号 ID	該当するダイヤラーシステムでは一意の ID です。	声、SMS、電子メール
モードから	メール ID は SMS、つまりメールを開始するために使われていました。 または、通話を開始するために使われた発信者 ID。	声、SMS、電子メール

情報源キャンペーン ID	データが転送される元のキャンペーンの ID(最初のソースキャンペーンは空)。	声、SMS、電子メール
情報源連絡先 ID	連絡先 ID は発信元のキャンペーンから転送されました(最初のソースキャンペーンは空)。	声、SMS、電子メール
鎖につながれて	キャンペーン間で連絡先やデータが移動またはコピーされているかどうかを示します。	声、SMS、電子メール
デスティネーションキャンペーン ID	キャンペーンが情報源から連絡やデータを受け取った ID。	声、SMS、電子メール
目的地連絡先 ID	連絡先 ID は、元のキャンペーンから転送された後に宛先キャンペーンに割り当てられます。	声、SMS、電子メール

配達

フィールド	説明	モード（Mode）
フィールド	説明	モード（Mode）
接触試み	これは試み回数、例えば初回、二回目などです。	声、SMS、電子メール
モード値	それは顧客の電話番号かメールアドレス ID です。	声、SMS、電子メール
モード（Mode）	電話の種類、メール、またはモードの SMS です。	声、SMS、電子メール
Channel	顧客とのやり取りに用いられるコミュニケーション方法を示すチャネル名を表示します。	声、SMS、

		電子メール
予定された納車時間	連絡先の配達予定日時が表示されます。 これは連絡先との通話時間、折り返しの予約、あるいは新しい連絡の日時を決めた。	声、SMS、電子メール
実際の納品時間	実際に連絡が届く日時が表示されます。	声、SMS、電子メール
コンタクト・ネイチャー	Fresh、再スケジュール、通常コールバック、パーソナルコールバック、AEM-フレッシュ、AEM-再スケジュール、フレッシュモーメント、AEM-フレッシュモーメントなどの連絡先の種類を表示します コンタクト。	声、SMS、電子メール
同意	連絡先が同意しているか非同意かを示します。	声、SMS、電子メール
手動	連絡先が手動でダイヤルされているかどうかを示します。	音声
CSS 条件	この条件は、特定のコンタクト選択戦略(CSS)条件を選択してコンタクトを選択します。	声、SMS、電子メール
デジタルテンプレート名	スクリプトデザイナーを使用する際には必ず提供が必要です。 SMS のために、SMS テンプレート名を指定します。メールの場合は、メールテンプレート名を指定します。	声、SMS、電子メール

処理

フィールド	説明	モード（Mode）
プレビュータイム	この時間は、担当者にプレビューペーシングモードのために提示された時刻を表示します。	音声
プレビュー・アクション・タイム	エージェントがプレビューコールに応答した時刻が表示されます。	音声
フィールド	説明	モード

		（Mode）
オペレータタイム	オペレータが接触を受信した時刻が表示されます。	声、SMS
オペレータアクションタイム	オペレータが連絡先をクリックした時刻が表示されます。	声、SMS
挑戦開始時間	連絡が開始された日付と時刻が表示されます。	声、SMS、電子メール
呼び出し時間	顧客側で呼び出しが鳴り始めた日時が表示されます。	音声
カスタマー応答時間	顧客が電話に出た時刻を表示します。	音声
CPA 時間	通話進行分析(CPA)が完了した日時が表示されます。	音声
エージェントに接続	通話がエージェントに接続されているかどうかを表示します。	音声
エージェント・コネクテッド・タイム	顧客からの電話がエージェントにつながった日時が表示されます。	音声
ACW 開始時間	顧客とエージェントの会話が終了した日付と時刻、そしてエージェント本人が表示されます その連絡先に対してアフターコールワーク(ACW)活動を開始します。	音声
終末の試み	試みが終了した日付と時刻が表示されます。 メールには適用されません。	声、SMS
メッセージが送信されました	これは、受信者に成功裏に送信された SMS メッセージの総数を指します。	SMS
メッセージ受信	これは、正常に受信された SMS メッセージの総数を指します。	SMS
メッセージの詳細	メッセージの種類(発信または着信)、メッセージの内容、メッセージの時間が表示されます。	SMS
メッセージイベント	イベントタイプやイベント時間などのメッセージイベントを表示するクリック可能なポップアップが表示されます。	SMS
メール件名	メールの件名が表示されます。 SendGrid テンプレートを使用する場合、テンプレートのメール件名が表示されます 実際の対象が最終顧客に送られるのではなく、	電子メール

メールテンプレート名	SendGrid テンプレートを使用する場合、メールテンプレート名の代わりに SendGrid テンプレート名が表示されます。メールまたは SMS テンプレートはデジタル欄に表示されます テンプレート名。	電子メール
郵便イベント	クリック可能なポップアップが表示され、メールイベントなどが表示されます イベントタイプ、イベント時間、ユーザエージェント、IP、URL、URL オフセット、マシンオープンなどの項目です。	電子メール
ガイド応答	通話ガイドの回答(質問、回答、アクティビティを含む)が表示されるクリック可能なポップアップが表示されます	電子メール
フィールド	**説明**	**モード（Mode）**
	時間。	

結果

フィールド	**説明**	**モード（Mode）**
メッセージ配達領収書	メッセージ(SMS)が受信者に正常に届けられた確認。	SMS
アウトカム処理時間	システムがその試みの結果を処理した日付と時刻を表示します。	声、SMS、電子メール
結果	その挑戦の結果名が表示されます。	声、SMS、電子メール
親結果	親会社の成果名が表示されます。	声、SMS、電子メール
送信済み	送信者のシステムからメールが正常に送信された動作。	電子メール
郵便ブロック	受信者のサーバによってメールがブロックされ、配信が妨げられる場合。	電子メール
郵便バウンス	メールアドレスの無効などの問題により、メールが配達不可と返送された場合	電子メール

配達済み郵便物	メールが受信者の受信箱に正常に届いたことを確認する。	電子メール
郵便開封	受信者がメールを開いたことを示すステータス。	電子メール
メールクリック	受信者がメール内のリンクをクリックした記録。	電子メール
メールスパム	受信者によってスパムとマークされたり、自動的にスパムとしてフィルタリングされたりしました。	電子メール
メール配信停止	受信者はメール内の購読解除リンクをクリックして今後の連絡を拒否しました。	電子メール
再スケジュール	次の挑戦の日時が再設定されています。	声、SMS、電子メール
連絡先ステータス	連絡先の状態を、何らかの時刻に表示します通話試行や事前呼び出しスクリプトブロックなどの活動が行われます。	声、SMS、電子メール
目標値	この場合は、エージェントがその試みに対して更新したターゲット値を表示します。	声、SMS、
フィールド	**説明**	**モード（Mode）**
		電子メール
リードスコア	エージェントがその試みに対して更新したリードスコアを表示します。	声、SMS、電子メール
切断された	通話が顧客、エージェント、システムのいずれかによって切断されているかを示します。 放棄された通話の場合は、カスタマーまたはシステム通話のどちらかです。 接続通話の場合、次のようになります顧客か代理店か。	音声
RPC	メッセージや通話が意図された受信者や当事者に届いたことを示します。	声、SMS、電子メール
非 RPC	メッセージや通話が意図された受信者や正しい相手に届かなかったことを示します。	声、SMS、電子メール

試み	コミュニケーションを開始するための行動。	声、SMS、電子メール
非未遂	コミュニケーションを試みるものが一切なかったという条件。	声、SMS、電子メール
二重結果	エージェントや API ユーザがビジネス結果とのコールバックのようなデュアルアウトカムを設定すると、詳細にはそれぞれの結果ごとに 2 つのエントリーが表示され、フラグが表示されます はい、デュアルアウトカムの下でです。	声、SMS、電子メール
エージェント名（Agent Name）	通話を担当したエージェントの名前が表示されます。	音声
エージェント ID（Agent ID）	エージェントに割り当てられた一意の識別子。	音声
エージェントコメント	顧客との通話後に担当者が付け加えたコメントを表示します。	声、SMS、電子メール
オペレータユーザ名	これが制御オペレータの名前です。	声、SMS、電子メール

計算

フィールド	説明	モード（Mode）
試み時間(秒)	これは試みの合計時間(秒単位)です。	声、SMS、電子メール
フィールド	説明	モード（Mode）
リング持続時間(秒)	これは、鳴り響く現象の全時間(秒単位)です。	音声
CPA 期間(ms)	これは CPA の総期間をミリ秒単位で示します。	音声

顧客通話時間(秒)	これは顧客が接続した時間の合計時間(秒単位)です。	音声
エージェントトーク持続時間(秒)	これはエージェントの総持続時間を秒単位で示します。	音声
ACW 持続時間(秒)	これは(ACW)活動の総持続時間を秒単位で示します。	音声
プレビュー・ディレクション(秒)	これは、エージェントが顧客情報をプレビューするまでの総時間で、プレビュー通話の場合は数秒単位です。	音声
放棄期間(sec)	顧客からの通話が数秒単位で切断される総時間を指します。	音声

コールバックレポート

レポートを作成するには:

1. +履歴レポート作成アイコンをクリックしてください。
2. コールバックレポートを選択し、「作成」をクリックします。
3. ドロップダウンリストから適切なタイムゾーンを選択して、特定のタイムゾーンのレポートを生成してください。 デフォルトのタイムゾーンはブラウザで設定されています。
4. ドロップダウンリストから期間を選択して、特定の期間のレポートを閲覧してください。デフォルト値は「今日」に設定されています。
    a. 今日
    b. 前日
    c. 今週
    d. 前週
    e. 今月
    f. 前月
    g. 直近 N 日 - このオプションを選択した場合、レポートを表示する日数を入力します。
    h. カスタム日付範囲 - このオプションを選択した場合、レポートを見るために日付範囲期間を入力します

定められた期間。

注:最適なパフォーマンスと効率を維持するため、最大 90 日間の期間のみを許可しています。

フィルターを適用

1. フィルターのセクションに行ってください。 フィルターで単一または複数のフィールドを選択できます。
2. グローバルリスト Tab で、適切なグローバルリスト ID を選択します。
3. キャンペーングループ Tab で、適切なキャンペーングループを選択します。
4. キャンペーン Tab では、適切なキャンペーンを選択してください。
5. リスト Tab で適切なリスト ID を選択します。 リスト ID は選択されたキャンペーンのみが表示されます。
6. エージェント Tab で、適切なエージェントを選択します。
7. 条件 Tab で、該当する場合は条件を作成します。 コンディション機能によりカスタムコンディションを作成できます。 「{」キーを押すと、システムフィールドやビジネスフィールドを提案するポップアップにアクセスできます。

要素

1. エレメントのセクションに行ってください。
2. コールバック詳細 Tab で、レポートを生成するための該当フィールドを選択してください。 フィールドの詳細については、コールバック詳細をご覧ください。
3. ビジネスパラメータ Tab で、レポートを生成するための関連するフィールドを選択してください。 フィールドの詳細については、ビジネスパラメータを参照してください。 この Tab は作成されたビジネスパラメータを表示します。

レポートの保存と表示

1. レポートを表示するには「見る」をクリックしてください。
2. レポートを Excel ファイルにエクスポートするには「エクスポート」をクリックしてください。
3. [保存（Save）]をクリックします。 フィルターページからレポートを保存することもできます。
4. 報告書の名前と説明を入力します。
5. [保存（Save）]をクリックします。

コールバックの詳細

コールバック関連要素は選択用に表示されます。 レポートは選ばれた要素に基づいて生成されます。

1. 検索を使い、単一または複数要素を選択します。

2. すべての要素を選択するには、「すべて選択」をクリックしてください。

注:一部の要素はすでに事前に選定され凍結されており、これらは報告書に必須の要素です。

フィールド	説明
キャンペーングループ	接触者が所属するキャンペーングループの名前です。
フィールド	**説明**
キャンペーン	連絡先が所属する特定のキャンペーンの名前。
リスト ID	リスト ID このリストのアプリケーションによって生成されます。 この ID はキャンペーンの中でも唯一無二の存在です。
コンタクト ID（Contact ID）	登録されたコールバックに関連する連絡先の具体的な ID。
エージェント名（Agent Name）	通話を処理したエージェントの名前。
コールバックモード	コールバックをリクエストするモード(例えば電話番号)です。
連絡先番号	折り返し電話が求められる電話番号。
Status（ステータス）	レポート生成時の開封、クローズ、または配達などのコンタクトステータス。
コールバックの試み	
試み	接触を試みた回数。
コールバック試行タイプ	パーソナルコールバック(PCB)やノーマルコールバック(NCB)などのコールバック試みの種類です。
予定された納車時間	連絡が配達予定の日時と日付。
実際の納品時間	実際に連絡が届く日時。
接続エージェント名	通話がつながっているエージェントの名前。
配信モード	通信が配信される接触のモード。
結果	連絡のコールバック結果設定。

次の挑戦時間	次の試みの連絡日時と日時。

歴史報告書(レガシー)

これらのレポートは前日からの過去データを活用し、コンタクトセンターのパフォーマンスに関する洞察を提供します。 これらは、連絡先、通話、成果、エージェントなど、コンタクトセンターのあらゆる側面をほぼ網羅したセットを形成しています。 レポートはユーザが選択したフィルター基準に基づいて入力されます。 これらのレポートは、カンマ区切られた値(CSV)形式で閲覧または保存できます。

Reports > Historical Reports (Legacy)へナビゲートしてください。

レポートのフィルター基準

レポートフィルターは、コンタクトセンターのマクロビューを確認でき、連絡先、通話、またはエージェントのミクロレベルまで確認できます。

レポート タイムゾーンフィルター

特定のタイムゾーンごとにリアルタイムレポートを生成することができます。 他のフィルタリング条件を選択する前に、タイムゾーンドロップダウンからタイムゾーンを選択してください。選択したタイムゾーンの現在日のレポートが表示されます。

この設定を有効にするために Cisco サポートに連絡し、タイムゾーンごとのレポートを受け取ってください。

報告 その他のフィルター基準

注:現在は Voice チャンネルのみが利用可能です。 SMS と Email は将来的にリリース予定です。ユーザは文書内の SMS やメールチャネルへの言及を無視しても構いません。

フィルター条件機能では以下のことができます:

フィルター	説明
グローバルリスト	すべてのグローバルリストが選択用に表示されます。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのグローバルリストを選択するには、「すべて選択」チェックボックスを選択してください。
キャンペーングループ	選択したグローバルリストの連絡先を含むすべてのキャンペーングループが入力されています。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのキャンペーングループを選択するには、「全て選択」チェックボックスを選択してください。
キャンペーン	選択したキャンペーングループの連絡先を含むすべてのキャンペーンは入力されています。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのキャンペーンを選択するには、「すべて選択」チェックボックスを選択してください。 単一のキャンペーン選択で次のレベルへのフィルターが可能です。 複数のカメラを選んだ場合、次のレベルへのフィルタリングは無効になります。 このレベルでレポートをご覧いただけます。
リスト	このキャンペーンにアップロードされたすべての連絡先リストは入力済みです。単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのリストを選択するには、「すべて選択」のチェックボックスを選択してください。 • 特定のリストを選択しない場合、チェインリスト(List ID -1)を含むすべてのリストのデータがレポートに入力されます。 • 特定のリストを選択すると、選択したリストのデータだけが入力されます。その場合、リスト ID-1(チェーンリスト)に関するデータをレポートに含みたい場合は、「Include Chaining List」のチェックボックスを選択してください。 リストは日付パネルのデフォルト日付、つまり現在の日付で入力されます。 さらにリストを選択するには、日付パネルから日付を選択し、OK をクリックしてください。 入力済みリストからレポートに必要なリストを選択します。
CSS グループ	選ばれたリストに適用されるすべての接触選択戦略(CSS)が選出可能です。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべての CSS グループを選択するには、「すべて選択」チェックボックスを選択してください。
CSSGroup 状態	上記の CSS グループの条件は入力されており、選択可能です。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべての CSS グループ条件を選択するには、「すべて選択」チェックボックスを選択してください。

該当するフィルターを選択し、 **記録を表示** をクリックすると、その選択レベルまでの記録をレポートに入力します。

コール結果

通話結果レポートは、ダイヤルされた連絡先から選択された各電話結果の連絡先数を示します。

1. **期間** from **Today**, **昨日**, **今週**, **今月** **カスタム**を選択します。 選択肢 **カスタム**、 **開始日** および **終了日**を選択します。
2. チャンネルタイプ from **Voice**, **SMS** or **Email**を選択します。
3. ドロップダウンから **結果タイプ** および **結果** を選択します。
4. **フィルター基準を選択してください**。 詳細については Report Filter Criteriaをご覧ください。
5. レポートを入力するには **記録表示** をクリックしてください。
    1. レポートの内容を Excel(xlsx)または CSV ファイルにエクスポートするには **Export** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。 **PII 保護機能の** Export Mask オプションが有効で、エクスポートされたシート内のデータを閲覧できる場合は、サポートチームに連絡してデータをマスクしてください。 これにはバックエンドの設定が必要です。

フィールド

通話結果レポートには以下のパラメータが含まれています:

フィールド	説明
今日	現在の日付のレポートを生成します。
前日	前日の深夜までのレポートを生成します。
今週	月曜日から現在までのレポートを生成します。
今月	カレンダー月の初めから現在の賃貸日までのレポートを生成します。
カスタム	日付範囲のレポートを生成します。 カレンダーコントロールから開始日と終了日を選択します。
Channel	Voice、SMS、または Email のようなコミュニケーションの種類。 注:SMS とメールは現行リリースには含まれていません。これらは将来のリリース予定です。
アウトカムタイプ	結果タイプ。
アウトカム詳細	選択したアウトカムとキャンペーンの各コンタクトのコンタクト別結果を一覧にします。
結果概要	各キャンペーンの各成果について一行の要約をまとめています。 ピボットのチェックボックスを選択してください。 ピボットのチェックボックスは列と行を置き換えます。 ピボットを選択すると、レポートは結果を行で、結果数は列で、選択された各カムページごとに 1 列ずつ表示されます。 ピボットオプションは、フィルターのクリテリアでキャンペーンを選択した場合のみ適用され、グローバルリストやキャンペーングループには適用されません。

結果	ドロップダウンに表示されるすべての設定済み電話結果の結果。すべての結果を選択するオプションを使ってください。 複数の結果を選択することもできます。

通話結果 - 詳細	
キャンペーングループ	報告書が作成されたキャンペーングループ。
キャンペーン ID	報告書が作成されたキャンペーン。
リスト ID	このデータが属するリスト ID。
連絡先 ID	結果が設定されている連絡先 ID。
結果	この通話の結果。
親の成果	上記の結果が対応する親の結果(もしあれば)。
Call_Start_DateTime	開会日時を電話してください。
Call_End_DateTime	通話完了日時を教えてください。
ビジネスフィールド 1(1-26)	すべての設定済みビジネスフィールドは、各列に 1 つのビジネスフィールドとしてリストされています。 単一のキャンペーンを選択すると、ビジネスフィールド名が表示されます。 <BusinessFieldName_BF>;Businessfield1 から Businessfield 26 までの間は、複数のキャンペーンを選択すると表示が消されます。
モード（Mode）	通話が行われたモード。
Dialed_Number	電話をかけられた番号。
Agent_ID	この電話を担当したエージェントのエージェント ID。
Agent_Name	この電話を担当したエージェントの名前を教えてください。
Agent_Login_Name	この列にはデータが含まれていません。
期間	通話時間(HH:MM:SS)における
Target_Value	この列にはデータが含まれていません。
Agent_Comments	この列にはデータが含まれていません。
リードスコア	この列にはデータが含まれていません。
Callback_DateTime	コールバックのダイヤルアウト日時は、担当者が設定しました。
DiallerReferenceID	これはダイヤラーテーブル内の Call GUID フィールドの数値です。
Contact_Nature	これは、フレッシュ、リスケジューデッド、通常コールバック、パーソナルコールバック、AEM-フレッシュ、AEM-再スケジュール、AEM-コールバック、フレッシュモーメント、AEM-フレッシュモーメントなどの連絡の種類を指します。 注:現在のリリースでは AEM はサポートされていません。
Schedule_DeliveryTime	この時期にエージェントが新しい接触者を呼び出すタイミングです。 これは新規連絡先の再スケジュール時間です。
Next_ScheduleTime	この時間帯にエージェントが連絡の再スケジュールを決めます。

Attempt_Number	これは報告日時時点での連絡試行回数です。

結果概要	
キャンペーン ID	レコードに関連付けられた特定のキャンペーンを表す一意識別子。
GlobalListID	レポートが生成されるグローバルリストを表す一意識別子。 **注:** このコラムはフィルター条件の一部として選択された場合のみ利用可能です。
成果	これらの結果ごとに通話回数があり、それぞれの結果は別々の列で表されます。

作戦概要

キャンペーンサマリーレポートは、選択したフィルター条件に対するキャンペーンのスナップショットを提供します。 キャンペーン概要パラメータを見るには **レポートリスト > キャンペーンサマリー** に移動します。

3 つのビュータイプから選べます:

コンタクトおよび試み:コンタクトおよび試みのビューは、選択した日付範囲とキャンペーンに関するコンタクトおよび試みに関する概要を提供します。

連絡先:連絡先表示には日付範囲は必要ありません。 このビュータイプは、選択したキャンペーンのコンタクト関連の sum-mary を提供します。

試み:試み表示には日付範囲が必要です。 このビュータイプは、選択したキャンペーンの試みに関連する要約を提供します。

報告書を見るには:

1. **View type** from **Contacts** and **Attempts**を選択します。 **Attempts**を選択した場合、 **期間** from **Today**, **Yesterday**, **This Week**, **This Month** および **Custom**を選択します。 **Custom** を選択した場合、 **開始日** および **終了日**を選択します。
2. **フィルター基準を選択してください**。 詳細については Report Filter Criteriaをご覧ください。
3. レポートを入力するには **記録表示** をクリックしてください。
4. レポートの内容を Excel(xlsx)または CSV ファイルにエクスポートするには **Export** をクリックします。

レポートフィールド

レポートには以下のパラメータが表示されます:

注:パラメータは選択したビュータイプに基づいてリストされています。

フィールド	説明

キャンペーン ID	報告書が作成されるキャンペーン ID。
リスト ID	このデータが属するリスト ID。

アップロード	このリストを通じてアップロードされた連絡先の数。
新鮮	オープン状態にある新規連絡先の数。
コールバック	オープンステートにあるコールバック連絡先の数。
AEM_Open	この列にはデータが含まれていません。
Total_Open	オープンステートのコンタクト総数。
Success_Closed	継承結果で閉鎖された接触の数。
Failure_Closed	Fail-ure 結果で閉じた接触の数。
Total_Closed	閉じた接触件の総数。
Contact_Scrubbed	切断された接触点の数。
Contact_Flushed	フラッシュされた接点の数。
Contact_Expired	連絡先数が切れました。
Contact_Blocked_ByCompliance	ブロックされた接触数
Contact_Pseudonymized	この列にはデータが含まれていません。
その他（**Others**）	
Completed_Percentage	アップロードされた連絡先から発信された通話の割合。
Telephony_Dialout	このリストから発信された通話数。
Telephony_Success	成功した電話通話数。
Telephony_Failure	電話失敗の通話回数。
BusinessOutcome_Success	電話失敗の通話回数。
BusinessOutcome_Failure	失敗したビジネス結果の電話回数。
Personal_Callback	この列にはデータが含まれていません。
Normal_Callback	この列にはデータが含まれていません。

DNC が阻止された

DNC ブロック報告書には、DNC 制限によりダイヤルがブロックされた連絡先の連絡先番号とモードが記載されています。 報告パラメータを見るには **報告リスト > DNC ブロック** に移動します。

報告書を見るには:

1. **期間** from **Today**, **昨日**, **今週**, **今月** **カスタム**を選択します。 選択肢 **カスタム**、 **開始日** および **終了日**を選択します。
2. **エージェントのみ表示 DNC 設定 DNC** チェックボックスを選択すると、エージェントによって DNC として設定された連絡先のみが表示されます。
3. 特定の DNC 対応番号や任意のビジネスフィールドを絞り込むには、 **DNC のナンバー / ビジネスフィールド** テキストボックスに入力してください。

   注:DNC 番号/ビジネスフィールドのテキストボックスを使用する場合、対応するレポートは入力がレコードと完全に一致する場合のみ表示されます。
4. チャンネル from **Voice**, **SMS**、または **Email**を選択します。
5. **フィルター基準を選択してください**。 詳細については Report Filter Criteriaをご覧ください。
6. レポートを入力するには **記録表示** をクリックしてください。
7. レポートの内容を Excel(xlsx)または CSV ファイルにエクスポートするには **Export** をクリックします。

レポートフィールド

レポートには以下のパラメータが表示されます:

フィールド	説明
キャンペーン ID	報告書が作成されるキャンペーン ID。
Contact_Number	コンプライアンス制限のためにダイヤルがブロックされている連絡先番号。
モード（Mode）	通話がダイヤルされるべきモード。
Blocked_At	連絡先は DNC とマークされ、ダイヤルがブロックされた日時。
DNC_Businessfield	ビジネスフィールドの価値、どの DNC ブロックが連絡に有効になっているか。
Blocked_By	連絡先が DNC と記されているフィールド名(電話番号、ビジネスフィールドなど)です。
Agent_ID	この通話を担当しているエージェント ID。
Agent_Name	この通話を担当するエージェントの名前、名前はファーストネーム、ラストネームです。
Agent_Login_Name	この列にはデータが含まれていません。
DNC_Start_DateAndTime	DNC が接触に有効化された日時。

DNC_End_DateAndTime	DNC が接触に有効化された日時。

DNCType	対応するカム・ペインには DNC の種類が適用されました。 カテゴリごと、カムペインごと、またはグローバルのいずれかです。
DNC カンペーンカテゴリー	DNC によって特定のキャンペーンがブロックされるキャンペーンカテゴリー。

接触試み

Contact Attempt は、選択したフィルター条件の連絡先に対するすべてのダイヤル試行リストを表示します。 ビジネスフィールドの特定の値に対してレポートを生成するか、 **Group By** ドロップダウンリストを使ってそのビジネスフィールド内のすべての値のレポートを生成することができます。

報告パラメータを見るには **Report List** > **Contact Attempts** に移

動します。 報告書を見るには:

1. **期間** from **Today**, **昨日**, **今週**, **今月** **カスタム**を選択します。 選択肢 **カスタム**、 **開始日** および **終了日**を選択します。
2. アップロードから **レポートタイプ** を選択し、ダイヤル済み。
   a. **アップロード済み**:選択したフィルターのクリック履歴に関するすべてのアップロードされた連絡先の連絡試行情報。
   b. **ダイヤル済み**:選択したフィルター条件でダイヤルされたすべての連絡先の連絡試行情報。
3. チャンネル from **Voice**, **SMS**、または **Email**を選択します。
4. **フィルター基準を選択してください。 詳細は「レポートフィルター基準」をご覧ください。** 適用されるフィルター条件は、キャンペーン、リスト、CSS グループ、CSS グループ条件、その他オプションです。

   注:
   レポートにはキャンペーンを 1 つだけ選択できます。 複数のキャンペーンでレポートは表示されません。 キャンペーンを選択した後はリスト作成が必須です。 複数のリストが許可されています。
   CSS グループと CSS グループ条件を 1 つだけ選択します。 このレポートは複数の CSS グループおよび CSS グループ条件に対して表示されません。
5. **Other Option**s に以下の項目を入力してください。
   a. すべての設定済みビジネスフィールドが表示されるドロップダウンリストから **Business Field** を選択します。 選択したビジネスフィールドの特定の値に対してレポートを作成したい場合は、フィールドを選択してください。
   b. 選択したビジネス分野に「 **ビジネス価値**を入力してください。 レポートは選択したビ

ジネスフィールドのこの値に一致するレコードを取得します。 上記のビジネス分野を選択している場合は必須です。

c. レポートデータをグループ化するには **グループ** を選択します。 これは必須です。

d. レポートが必要な **最終結果** を選択します。

6. レポートを入力するには **記録表示** をクリックしてください。

7. レポートの内容を Excel(xlsx)または CSV ファイルにエクスポートするには **Export** をクリックします。 **PII Protection** 機能内の Export Mask オプションが有効で、エクスポート済みのシートでデータを閲覧できる場合は 、サポートチームに連絡してデータをマスクしてください。 これにはバックエンドの設定が必要です。

レポートフィールド

レポートには以下のパラメータが表示されます:

フィールド	説明
リスト ID	この連絡先が属するリスト ID。
連絡先 ID	この項目の詳細が示す試み回数。 例えば、1 は詳細が最初の試みに関することを示し、2 は詳細が 2 回目の試みに関することを示します。
Start_Time	通話が始まった時刻。
モード（Mode）	通話のモード。
Contact_Number	ダイヤルされた連絡先番号。
Condition_String	この行の入力で抽出されるデータに基づく条件。
結果	電話の結果。
Agent_ID	エンタープライズレベルのエージェントの周辺番号。
Agent_Name	通話を担当するエージェントの名前は、姓と名前で表示されています。
Agent_Login_Name	この列にはデータが含まれていません。
Call_Starttime	通話開始日時
GroupBy_Param	レポートデータがグループ化されるパラメータ。
GroupBy_Paramvalue	データがグループ化される価値。 例えば、レポートをファーストネームごとにまとめることができます。
Contact_Status	この試みの連絡状況。 例えば、開いている、閉じた、などです。
Uploaded_Time	この連絡先がアップロードされた日時。
期間	通話時間は HH:MM:SS で表されます。
Dialed_Time	連絡先をダイヤルアウトする時間。
Callback_Datetime	折り返しの日時がリクエストされました。
Delivered_At	連絡先がダイヤラーに届けられた日付と時間。

Deliver_Type	この連絡先の配達タイプ。 例えば、

	ダイヤラーとの定期的な連絡、PEWC 以外の連絡先として、など。
Previous_Lead スコア	この列にはデータが含まれていません。
Current_Lead スコア	この列にはデータが含まれていません。
ビジネスフィールド 1(1-26)	すべての設定済みビジネスフィールドは名前とともにリストアップされています。各欄に 1 つのビジネスフィールド。 **注:** ビジネスフィールド名は次のように表示されます。 <BusinessFieldName_BF>。 **注:** 選択されたレポートの日付範囲にビジネスフィールドの価値がない場合、このフィールドはレポートに含まれません。例えば、Busi-nessField12 が選択した日付範囲(例えば今月)に値がない場合、列のヘッダーは BusinessField 11、その後に BusinessField 13 を示します。

放棄率

放棄率は、選択したフィルター基準に対する放棄通話の割合を表示します。 レポートパラメータを見るには **Report List > Abandon Percentage** に移動します。

報告書を見るには:

1. **期間** from **Today**, **昨日**, **今週**, **今月** **カスタム**を選択します。 選択肢 **カスタム**、 **開始日** および **終了日**を選択します。
2. チャンネルタイプ from **Voice**, **SMS** or **Email**を選択します。
3. ドロップダウンから **結果タイプ** および **結果** を選択します。
4. **フィルター基準を選択してください**。 詳細については Report Filter Criteriaをご覧ください。
5. レポートを入力するには **記録表示** をクリックしてください。
6. レポートの内容を Excel(xlsx)または CSV ファイルにエクスポートするには **Export** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには以下のパラメータが表示されます:

フィールド	説明

キャンペーン ID	報告書が掲載されているキャンペーン ID。
日付	報告日。

Total_Calls	このアップロードリストにある連絡先の合計通話数。
Live_Calls	ライブ通話数 - 個人が応答し、エージェントとつながる通話。
Total_AnsweringMachine_Calls	留守番電話に繋がった通話回数。
Abandon_Calls	放棄された通話の数。
放棄率	通話放棄の割合。 Abandon Calls/(Abandon Calls+ライブコール)* 100。これは、個人が応答し、エージェントに接続されたライブ通話です。

放棄率の計算式を見るには **Info** をクリックしてください。 ここに表示されるのは次の情報です。

- X = (留守番電話の通話 / (留守番電話の通話 + ライブ通話)) * 100
- Y = 放棄通話 * X
- Z = 放棄通話 - Y 式:(Z / (Z + ライブ通話)) * 100

エージェントの配置(キャンペーン別)

エージェントの処分(キャンペーン別)レポートは、選択されたフィルター基準に対してエージェントが設定したダイヤルコールのすべての結果を示します。

レポートパラメータを見るには **Report List > Agent Disposition(キャンペーン別)**

に移動します。 報告書を見るには:

1. **期間** from **Today**, **昨日**, **今週**, **今月** **カスタム**を選択します。 選択肢 **カスタム**、 **開始日** および **終了日**を選択します。
2. **フィルター基準を選択してください**。 詳細については Report Filter Criteriaをご覧ください。
3. レポートを入力するには **記録表示** をクリックしてください。
4. レポートの内容を Excel(xlsx)または CSV ファイルにエクスポートするには **Export** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには以下のパラメータが表示されます:

フィールド	説明
キャンペーン ID	報告書が作成されるキャンペーン ID。

リスト ID	このデータが属するリスト ID。
Agent_Name	この電話を担当しているエージェントの名前。

Agent_ID	この電話を担当したエージェントのエージェント ID。
Agent_Login_Name	この列にはデータが含まれていません。
Call_Outcome	結果はエージェントが決める。
Count_of_CallOutcome	エージェントがこの結果を設定した通話数。

コンタクト・アトラクション・バケット

連絡試行バケットレポートには、アップロード済みの連絡先が閉鎖されるまでに行われたダイヤル試行回数が記載されています。

注:本レポートには現在のデータは含まれていません。 本レポートでは前日の 23 時 59 分までのデータのみを対象としています。

レポートパラメータを見るには **Report List** > **Contact Attempt Bucket** に

移動します。 報告書を見るには:

1. 期間 from **Today**, 昨日, 今週, 今月 カスタムを選択します。 選択肢 カスタム、 開始日 および 終了日を選択します。

   注:データベースは 15 分ごとに更新されており、毎時-00-15、-30、-45 のタイミングで更新されます。 サマリーレポートの「予定日」として中間時間(例えば 3:35 PM)を選択すると、3:30:01 から 3:44:59 までの時間(HH:MM:SS)のデータが含まれていません。

2. チャンネルタイプ from **Voice**, **SMS** or **Email**を選択します。
3. フィルター基準を選択してください。 詳細については Report Filter Criteriaをご覧ください。適用されるフィルター基準は、グローバルリスト、キャンペーングループ、キャンペーン、リスト、CSS グループ、CSS グループ条件です。 この報告書ではキャンペーンを 1 つだけ選択してください;このレポートは複数のキャンペーンで作成されるものではありません。
4. レポートを入力するには 記録表示 をクリックしてください。
5. レポートの内容を Excel(xlsx)または CSV ファイルにエクスポートするには **Export** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには以下のパラメータが表示されます:

フィールド	説明
キャンペーン ID	この報告書が作成されるキャンペーン。
アップロード	このキャンペーンにアップロードされた連絡先の数。

Open_Contacts	このキャンペーンのオープン連絡先数。
終了（Closed）	このキャンペーンの非公開連絡先数。
Attempt_1 to Attempt_9	最初の接触点から到達した数

	9 回目の挑戦まで、それぞれセパー・アレートの列で。
Attempt_Greater	10 回以上の試みで到達した接触数。

エージェント・アティブト

エージェント試行レポートは、選択したフィルター基準で選択されたエージェントが処理したすべての通話の様々な結果のカウントを示します。 レポートパラメータを表示するには **Report List > Agent** Attempt に移動します。

報告書を見るには:

1. **期間** from **Today**, **昨日**, **今週**, **今月** **カスタム**を選択します。 選択肢 **カスタム**、 **開始日** および **終了日**を選択します。

   注:データベースは 15 分ごとに更新されており、毎時-00-15、-30、-45 のタイミングで更新されます。 サマリーレポートの「予定日」として中間時間(例えば 3:35 PM)を選択すると、3:30:01 から 3:44:59 までの時間(HH:MM:SS)のデータが含まれていません。
2. ドロップダウンから **Agent List** を選択します。
3. チャンネルタイプ from **Voice**, **SMS** or **Email**を選択します。
4. **フィルター基準を選択してください**。 詳細については Report Filter Criteriaをご覧ください。
5. レポートを入力するには **記録表示** をクリックしてください。
6. レポートの内容を Excel(xlsx)または CSV ファイルにエクスポートするには **Export** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには以下のパラメータが表示されます:

フィールド	説明
キャンペーン ID	この報告書が作成されるキャンペーン。
Agent_ID	この電話を担当したエージェントのエージェント ID。
Agent_Name	この電話を担当したエージェントの名前を教えてください。
Agent_LoginName	この列にはデータが含まれていません。
Agent_Connect	選択したエージェントに接続された通話数。

RPC	Right Party Connect(RPC)結果の通話数。
Success_BusinessOutcome	成功したビジネス成果を上げた電話回数。

Failure_BusinessOutcome	失敗したビジネス結果の電話回数。
Success_VoiceOutcome	音声(電話)で成功した通話回数。
Failure_VoiceOutcome	音声(電話)失敗した通話回数。
Personal_Callback_Registered	この列にはデータが含まれていません。
Regular_Callback_Registered	この列にはデータが含まれていません。
Personal_Callback_Attempts	この列にはデータが含まれていません。
Regular_Callback_Attempts	この列にはデータが含まれていません。
ダイヤルアウト	エージェントによるダイヤルアウトの総回数。

エージェント・アウトカム

エージェントアウトカムレポートは、選択したエージェントが選択したフィルター基準に対して設定したすべてのアウトカムの通話数を示します。 レポートパラメータを見るには **Report List > Agent Outcome** に移動します。

報告書を見るには:

1. **期間** from **Today**, **昨日**, **今週**, **今月** **カスタム**を選択します。 選択肢 **カスタム**、 **開始日** および **終了日**を選択します。

   注:データベースは 15 分ごとに更新されており、毎時-00-15、-30、-45 のタイミングで更新されます。 サマリーレポートの「予定日」として中間時間(例えば 3:35 PM)を選択すると、3:30:01 から 3:44:59 までの時間(HH:MM:SS)のデータが含まれていません。

2. ドロップダウンから **Agent List** を選択します。 複数のエージェントを選べます。 ピボットのチェックボックスを選択し。

   注:
   列と行を転置するためにピボットチェックボックスを選択してください。 ピボットを選択すると、レポートはエージェントを行で、結果数は列に、各結果ごとに 1 列で表示されます。 ピボットオプションはフィルター条件でキャンペーンを選択した場合のみ適用され、グローバルリストやキャンペーングループには適用されません。

3. チャンネルタイプ from **Voice**, **SMS** or **Email**を選択します。
4. **フィルター基準を選択してください**。 詳細については Report Filter Criteriaをご覧ください。
5. レポートを入力するには **記録表示** をクリックしてください。
6. レポートの内容を Excel(xlsx)または CSV ファイルにエクスポートするには **Export** をクリックします。 デフォルトでは、 レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには以下のパラメータが表示されます:

フィールド	説明
キャンペーン ID	報告書が作成されたキャンペーン。
Agent_ID	これらの電話を担当したエージェントのエージェント ID。
Agent_Name	本報告書の対象となるエージェントの名前。
Agent_Login_Name	この列にはデータが含まれていません。
結果	結果はエージェントによって設定されました。
Outcome_Count	この結果がエージェントによって設定された通話回数。

コールバック

コールバックレポートは、選択したフィルター条件に対するすべてのアクティブなパーソナルコールバック(PCB)およびノーマルコールバック(NCB)通話の詳細を表示します。 レポートパラメータを見るには **Report List** > **Callback** に移動します。

報告書を見るには:

1. **期間** from **Today**, **昨日**, **今週**, **今月** **カスタム**を選択します。 選択肢 **カスタム**、 **開始日** および **終了日**を選択します。

   注:データベースは 15 分ごとに更新されており、毎時-00-15、-30、-45 のタイミングで更新されます。 サマリーレポートの「予定日」として中間時間(例えば 3:35 PM)を選択すると、3:30:01 から 3:44:59 までの時間(HH:MM:SS)のデータが含まれていません。

2. チャンネルタイプ from **Voice**, **SMS** or **Email**を選択します。
3. ドロップダウンから **Agent List** を選択します。 複数のエージェントを選べます。
4. **フィルター基準を選択してください**。 詳細については Report Filter Criteriaをご覧ください。
5. レポートを入力するには **記録表示** をクリックしてください。
6. レポートの内容を Excel(xlsx)または CSV ファイルにエクスポートするには **Export** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。 アプリケーション内で表示されるデータはエクスポートされます。 アプリケーション内でデータがマスクされている場合 エクスポートされたシートでもマスクされます。

フィールド

レポートには以下のパラメータが表示されます:

フィールド	説明
キャンペーン ID	報告書が作成されたキャンペーン。

Agent_ID	これらの電話を担当したエージェントのエージェント ID。
Agent_Name	本報告書の対象となるエージェント名は一般-

	膨らんだ。
Agent_Login_Name	この列にはデータが含まれていません。
連絡先 ID	コールバックが登録されている ID に連絡してください。
連絡先番号	折り返しの依頼が行われる連絡先番号。
Callback_Time	コールバックコールが開始される時刻。
Callback_Endtime	コールバックコールが終了する時刻。
Status（ステータス）	報告時の連絡先状況。
モード（Mode）	コールバックが要求されるモード。
ビジネス分野(1-25)	すべての設定済みビジネスフィールドは、各列に 1 つのビジネスフィールドとしてリストされています。
callback_requested_time	お客様が折り返し電話を要請した日付と時間。 これは折り返しのダイヤルアウト時間ではありません。
Attempt_Number	接触を試みた回数。

グローバルリストのステータス

グローバルリストステータスレポートは、すべてのグローバルアップロードリストのアップロード詳細をグラフで示します。 グラフ上の任意のデータを選択して、さらに詳細を掘り下げてください。 レポートパラメータを見るには **Report List > Global List Status** に移動します。

すべてのリストは左側のグリッドに埋め込まれています。 グリッドにはグローバルリスト ID、ファイル名、アップロード時間の詳細が含まれています。 チャートを最大化し、任意のパラメータをクリックして掘り下げてください。 チャートの **アップロード** データをクリックしてください。 これらの連絡先がアップロードされたキャンペーンを見ることができます。

成功した連絡先の内訳を見るには、成功が表示されているチャートをクリックしてください。 データは開通接点と閉接点に分けられます。

右派コネクション(RPC)

RPC レポートには RPC(Right Party Connect)通話の詳細が表示されます。 このレポートの RPC パーセンテージは、キャンペーンマネージャーコンソールの試行カウンターで RPC として設定されたすべての結果の合計に基づいて計算されています。

報告書を見るには:

1. **期間** from **Today**, **昨日**, **今週**, **今月** **カスタム**を選択します。 選択肢 **カスタム**、 **開始日** および **終了日を選択します**。

   注:データベースは 15 分ごとに更新されており、毎時-00-15、-30、-45 のタイミングで更新されます。 サマリーレポートの「予定日」として中間時間(例えば 3:35 PM)を選択すると、3:30:01 から 3:44:59 までの時間(HH:MM:SS)のデータが含まれていません。

2. チャンネルタイプ as **Voice**を選択します。
3. **フィルター基準を選択してください**。 詳細は「レポートフィルター基準」をご覧ください。 キャンペーンは一つしか選べません。
   a. データが必要なリストの日付範囲を選択してください。 複数のリストが許可されています。
4. レポートを入力するには **記録表示** をクリックしてください。
5. レポートの内容を Excel(xlsx)または CSV ファイルにエクスポートするには **Export** をクリックします。 デフォルトでは、 レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには以下のパラメータが表示されます:

フィールド	説明
Outcome_Type	成果タイプ - 電話かビジネスか。
Outcome_Name	出力名
Outcome_Count	この結果の通話数を数えてください。
Total_Percentage	この結果の通話総割合。 パーセントは(このアウトカムのカウント* / すべての結果を含むコール数*)× 100 として計算されます。 アスタリスク*は結果タイプを示します - 電話またはビジネス。 パーセンテージは、類似した結果タイプのみを考慮して計算されます。 例えば、結果が「成功」で電話結果に属する場合、電話結果を持つすべての通話数を考慮して割合が計算されます。
RPC_Percentage	RPC 通話の割合。 パーセンテージは(このRPC の結果のカウント/このレポートですべての成果が RPC としてマークされた通話数(電話・ビジネス両方)×100 で計算されます。
Target_Value	対象値は処分時にエージェントが設定したものです。

コールバックトレース

コールバックトレースレポートは、選択したフィルター条件に対するすべてのクローズドされたパーソナルコールバック(PCB)およびノーマルコールバック(NCB)コールの詳細を表示します。 レポートパラメータを見るには **Report List** > **Callback Trace** に移動します。

報告書を見るには:

1. **期間** from **Today**, **昨日**, **今週**, **今月** **カスタム**を選択します。 選択肢 **カスタム**、 **開始日** および **終了日**を選択します。

   注:データベースは 15 分ごとに更新されており、毎時-00-15、-30、-45 のタイミングで更新されます。 サマリーレポートの「Todate」として中間時間(例えば 3:35 PM)を選択すると、3:30:01 から 3:44:59 までの時間(HH:MM:SS)のデータが含まれていません。

2. **コールバックタイプ** from **PCB**, **NCB** 、または **All**を選択します。
3. エージェントリストから **エージェント** を選択してください
4. **フィルター基準を選択してください**。 詳細は レポートフィルター基準をご覧ください。
5. レポートを入力するには **記録表示** をクリックしてください。 詳細を見るために記録を展開してください。
6. レポートの内容を Excel(xlsx)または CSV ファイルにエクスポートするには **Export** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。 アプリケーション内で表示されるデータはエクスポートされます。 アプリケーション内でデータがマスクされている場合、エクスポートされたシートでもマスクされます。

フィールド

レポートには以下のパラメータが表示されます:

フィールド	説明
キャンペーン ID	コールバックが属するキャンペーン。
リスト ID	折り返し連絡の一覧 ID。
連絡先 ID	コールバック連絡の ID に連絡してください。
Callback_Registered_Type	この列は NCB(ノーマルコールバック)を表示します。
Callback_DateTime	コールバックのダイヤルアウト日時は、担当者が設定しました。
Status（ステータス）	報告時の連絡先状況。
CallBack_RequestedTime	お客様が折り返し電話を要請した日付と時間。 これは折り返しのダイヤルアウト時間ではありません。
Attempt_Number	接触を試みた回数。

ビジネス分野(1-25)	すべての設定済みビジネスフィールドは、各列に 1 つのビジネスフィールドとしてリストされています。
詳細なレポートフィールド	

試み	接触を試みた回数。
連絡先番号	電話番号
デリバリー・デートタイム	連絡が届いた日時。
ダイヤルモード	接触の方法。
ダイヤルド・デートタイム	連絡先がダイヤルされた日時。
エージェント名（Agent Name）	連絡を取ったエージェントの名前を教えてください。
コールバック試行タイプ	この列にはデータが含まれていません。
結果	連絡のコールバック結果設定。
コールバック/Reschedule_DateTime	連絡が再調整された日時。

メール結果

注:Webex Contact Center は現在、メールキャンペーンをサポートしていません。 これは将来のリリースを予定しています。

メールアウトカムレポートは、顧客とのメールやり取りについてエージェントが設定したアウトカムの詳細を示します。 レポートパラメータを見るには **Report List** > **Email Outcome** へナビゲートしてください。

報告書を見るには:

1. **期間** from **Today**, **昨日**, **今週**, **今月** **カスタム**を選択します。 選択肢 **カスタム**、 **開始日** および **終了日**を選択します。
2. **フィルター基準を選択してください**。 詳細については Report Filter Criteriaをご覧ください。
3. レポートを入力するには **記録表示** をクリックしてください。 詳細を見るために記録を展開してください。
4. レポートの内容を Excel(xlsx)または CSV ファイルにエクスポートするには **Export** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには以下のパラメータが表示されます:

フィールド	説明
キャンペーングループ	このメールのやり取りのためのキャンペーングループ。
リスト ID	メール連絡先の ID リスト。
連絡先 ID	連絡先はメールの ID。

キャンペーン ID	メール連絡のキャンペーン ID。
結果	エージェントによって結果が設定されました。
電子メール	連絡先のメールアドレス。
Email_Activity_DateTime	エージェントが結果を設定した日時

	このメールのやり取りのために。
ビジネス分野(1-25)	すべての設定済みビジネスフィールドは、各列に 1 つのビジネスフィールドとしてリストされています。
Unique_Identifier	この特定の連絡先を特定するための追加のビジネスパラメータ。
モード（Mode）	やり取りの方法はメールです。

パスダイヤリング

パスダイヤルレポートは、総通話件数のうち、1 件の連絡先がダイヤルされた回数を示します。レポートパラメータを見るには **Report List > Pass Dialing** に移動します。

報告書を見るには:

1. **期間** from **今日**, **昨日** **今週**, **今月** **カスタム**を選択します。 **Cus-tom**を選択した場合は、**開始日** および **終了日**を選択します。

   注:データベースはシステム上で設定された日の終わりまでに更新されます。設定時間が 00:30:00(HH:MM:SS)であれば、パスダイヤリングレポートはイエス 3 日で生成されます。 設定された 1 日の終了時間が 23:30:00 であれば、レポートは昨日のみ生成されます。

2. ドロップダウンから **タイムゾーン** を選択します。
3. **フィルター基準を選択してください**。 詳細については Report Filter Criteriaをご覧ください。
4. レポートを入力するには **記録表示** をクリックしてください。
5. レポートの内容を Excel(xlsx)または CSV ファイルにエクスポートするには **Export** をクリックします。 デフォルトでは、レポートは XLSX としてエクスポートされます。

フィールド

レポートには以下のパラメータが表示されます:

フィールド	説明
報告日	報告日を表示する。
キャンペーン ID	キャンペーンを ID 掲載してください。
オープン%	アップロード済みの連絡先のうち、まだオープンステートにありダイヤル可能な割合です。
クローズド%	アップロード済みの連絡先のうち、閉鎖されて再試しがなくなった連絡先の割合。

新鮮度%	新規かつダイヤル試行がない連絡先の割合とアップロード済みの連絡先割合。
再スケジュール オープン%	ダイヤルに再スケジュールされた連絡先の割合とアップロード済みの連絡先割合。

合格率 1%	単回のダイヤルでダイヤルされた連絡先の割合。 計算 = (1 回の試行でダイヤルした接点数 / 本日開かれた接点数の合計)×100
合格率 2%	2 回の試みでダイヤルした連絡先の割合。 計算 = (2 回の試行でダイヤルした接点数 / 本日開かれた接点数の合計)×100
合格率 3%	3 回の試みでダイヤルした連絡先の割合。 計算 = (3 回の試行でダイヤルした接点数 / 本日開かれた接点数の合計)×100
パス 4%	4 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。 計算 = (4 回の試行でダイヤルした接点数 / 本日開いた接点の合計数)×100
合格率 5%	5 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。 計算 = (5 回の試行でダイヤルした接触数 / 本日の開通済み接続数)×100
合格率 6%	6 回の試みでダイヤルされた接触の割合。 計算 = (6 回の試行でダイヤルした接点数 / 本日開いた接点の合計数)×100
合格率 7%	7 回の試行でダイヤルされた接触の割合。 計算 = (7 回の試行でダイヤルしたコンタクト数 / 本日の開通したコンタクトの総数)×100
パス 8%	8 回の試行でダイヤルした接触の割合。 計算 = (8 回の試行でダイヤルした接点数 / 本日の開通した接点数)×100
合格率 9%	9 回の試行でダイヤルされた連絡先の割合。 計算 = (ダイヤルした連絡先と 9 回の試行 / 今日の開かれた連絡先の合計数)×100
>パス 9%	9 回以上の試行でダイヤルした接触の割合。 計算 = (ダイヤルした連絡先数と 9 回以上の試み数 / 本日開かれた連絡先の合計数)×100

スケジュールレポート(レガシー)

毎日、週次、月次、または年次で望ましいレポートをスケジュールすることで、同僚や他のユーザに自動的にレポートを送信できます。 レポートスケジューラの設定が完了すると、指定されたレポートはメール添付ファイル(XLS 形式)として受信者に配信されます。

スケジュールレポートを追加する

1. メニュー > **レポート** > **スケジュールレポート**に移動します。
2. **スケジュールレポートを追加**をクリックします。
3. スケジュールのために **Name** を入力してください。

   注意:名前を追加する際は 60 文字以上、または特別な文字 言及しては ありません。
4. スケジュールのために **Description** を入力してください。
5. ドロップダウンから送信する **Report** の種類を選択します。 選択したレポートにパラメータを追加するには **+** アイコンをクリックしてください。 Contact 試行バケットは現在のデータを除外しています。 この情報は、ユーザがドロップダウンリストからこのレポートを選択すると表示されます。
6. レポートの **頻度** **Daily**、 **Monthly**、 **Weekly** および **Specific Days**から選択してください。
7. 選択した頻度が **週**の場合は、 **週開始日**を選択します。
8. 選択した頻度が **特定の日** 日数なら、 **特定の日**を選択してください。
9. **レポート開始時間を選択してください** この時点でレポートのデータを収集します。 例えば、開始時刻が 11:00 AM の場合、11:00 AM のデータはレポートに入力されます。
10. **レポート時間**を選択します。 この時点でレポートデータが入力されます。 例えば、終了時刻が 6.00 PM なら、6.00 PM までのデータがレポートに入力されます。
11. **Email address(es)**を入力して、レポートを別のメールアドレスに同時に送信してください。 必ず複数のメールアドレスをカンマで区切って追加してください。
12. クリック **保存**。 スケジュールレポートはスケジュールレポートダッシュボードに追加されます。 ユーザはレポートを送信するためにスイッチ **ON** を有効にし、送信を停止するには TURN **OFF** を有効にできます。

スケジュールを編集

1. レポートを選択し、 **Edit** **Action**をクリックしてください。
2. 必要なパラメータを更新し、 **保存**をクリックします。

スケジュールを削除する

1. レポートを選択し、 **削除 アクション**をクリックします。
2. 確認のポップアップで **OK** をクリックしてください。

フィールド

フィールド	説明
Name	報告書を送るための具体的なスケジュールの名前。
周波数	報告書が送信される頻度。
毎月	報告書は毎月最初のカレンダー日に送信されます。 報告書に掲載されているデータは直前の暦月に関するものです。 **注**:スケジュールの保存に成功した際に最初の報告が送信されます。その後は毎月の最初のカレンダー日に送信されます。
毎週	報告書は毎週選ばれた日に送信されます。 報告書を送るのに適した日を選びましょう。 選べる日は 1 日だけです。 報告書に掲載されているデータは直前 7 日間に関するものです。 例えば、報告発送日を水曜日を選択すると、前の水曜日の 00 時から火曜日の 23 時 59 分までのデータがレポートに入力されます。
特定の日	報告書は曜日ごとに送付されます。 このレポートを送信する適切な日のチェックボックスを選択してください。 複数選択が可能です。 入力されるデータは、選択したレポート時刻までの特定の日の情報です。 例えば、月曜日を選び、報告時間を 18:00 にすると、レポートには月曜日の 00:00 から月曜日の 18:00 までのデータが含まれています。
毎日	報告書は毎日送られてる。 レポート内のデータは、選択された開始時刻から選択された終了時刻/レポート時刻までの毎日の記録です。
レポート名	このスケジュールで設定されたレポートを提出します。
レポート開始時間	報告開始時間です。 この時からレポートにデータを入力する際に選ばれます。
報告時間	レポートが生成され、受信者に送信される時刻を指定します。
活性化	レポートを送信するにはスイッチ ON を有効にし、送信を停止するには TURN OFF をしてください。

データ抽出

レポートデータベースから生のトランザクションデータおよび固定データのエクスポートを設定してください。 ユーザは、指定された時間帯の通話試行や特定のキャンペーングループ、カメラペインなどの標準的な情報源からデータを抽出できます。

注:以下の内容は Webex Contact Center アプリケーションではサポートされていませんが、文書内に参照がある場合があります。
- メールキャンペーンと SMS キャンペーン
- AEM(Agent-Executive Mapped)コールです。
-メールおよび SMS キャンペーンに関するデータ。

ユーザは上記のテーブル内のデータを無視しても構いませんが、抽出された列はほとんど空白になります。
Menu > Reports > Data Extractionへ行ってください。 ページには以下の手順が表示されます:

- **名前** – データ抽出構成の名前を指定します。
- **説明** – 構成に関する追加の文脈や詳細を提供します。
- **ファイル名** – レポートによって生成される出力ファイルの名前を定義します。
- **Activate** – データ抽出構成が現在アクティブで実行中かどうかを示します。
- **ジョブ履歴** – データ抽出ジョブの履歴を表示するポップアップ **を開き** 以下の詳細が表示されます。
  - データ抽出レポートで選択したタイムゾーンが表示されます。 レポートの日付と時間は、この選定されたタイムゾーンに基づいています。
  - **開始時間** レポート – データ抽出プロセス開始時刻を表示します。
  - **レポート終了時間** – データ抽出プロセスの終了時刻を表示します。
  - **スケジュール時刻** – レポートが生成される予定時刻を示します。
  - **ステータス** – レポートの現在の状況(例:処理中、完了、失敗)を示します。
  - **記録** – 生成されたレポートに含まれる記録数を示します。
  - **アクション** – レポートファイルのダウンロードボタンを提供します。 これはレポートのステータスが完了した場合にのみ表示されます。
  - **検索オプション** – ユーザが職歴リストを検索して絞り込み、特定のエントリーを素早く見つけられます。
- **アクション** – ユーザがデータ抽出の設定を **編集** または削除 できるようにします。

セレクト・キャンペーン

1. クリック **データ抽出**。
2. データ抽出 **名前** および説明 を追加します。
3. ファイルを選択して、 **Master** or **Transactional**からデータを抽出します。
4. ドロップダウンリストから **データソース** を選択します。 これはトランザクションデータ抽出時のみ有効です。
5. キャンペーングループ **を選択してください**。 利用可能なキャンペーングループは、選

択したデータソースに基づいてリストアップされています。

6. キャンペーン **を選択してください**。 利用可能なキャンペーンは、選択したデータソースに基づいてリストアップされています。

7. クリック 次。

データ ソース

1. データソースとは、選択可能なフィールドのリストです。 選択したデータタイプに基づく標準的なデータソースがリストされています。 利用可能なフィールド **移動 選択されたフィールド**へ。

   例:通話活動は一つのデータソースです。 このデータソースは、通話試行の詳細とその試行結果を提供しています。

2. **[次へ（Next）]** をクリックします。

スケジュール設定を編集

1. 必要な **Run Type** from **Regular Intervals Scheduled Time**、 **On Demand**を選択します。
2. 選択したランタイプがオンデマンドの場合は、開始日と終了日を入力します。
3. ドロップダウンリストから **TimeZone** を選択して、レポートが選択したタイムゾーンに従って表示されるようにしてください。
4. レポートを実行する曜日を **Run Days** 選択してください。 複数の日を選べます。
5. もし **Run Type** is **Regular Intervals**が選ばれた場合は、 **First Job Start Time** を入力して、繰り返しレポートの実行開始の初期時刻を定義します。 最初のジョブ開始時間が現在のシステム時間より長くなっていることを確認してください。
6. 「分単位の間隔」を入力して、最初のジョブ開始時間以降にレポートをどのくらいの頻度で実行すべきかを指定します。

   例:

   もし最初のジョブ開始時刻が 8:00 PM に設定され、インターバルが 60 分に設定されている場合、次のようになります:

   最初のレポートは 9:00 PM に生成され、8:00 PM(レポート開始時間)から 9:00 PM(レポート終了時刻)までの時間帯をカバーします。

   その後の報告は 60 分ごとに生成され、それぞれ対応する 1 時間の間隔をカバーします。

   注:

   レポートがアクティブな間は、最初のジョブ開始時間と分単位のインターバルフィールドは無効化されます。

7. ファイル名を入力してください。
8. ファイル拡張子 from **CSV** and **txt を選択してください**。 選択したファイル拡張子が txt の場合は、ドロップダウンから **Column Separater** を選択します。

   注意:テーブルから抽出したデータに JSON 文字列がある場合は、txt 形式で保存してください。 例えば、監査ログテーブルには JSON 文字列の中のデータが含まれています。

9. **テーブル固有のファイル作成を有効にしてください。** これにより、データ抽出ファイルにテーブル名が付加されます。 このスイッチは無効にできません。 必要ならもう一つの選択肢もエンブレインメントしてください。 選択したデータソースに応じて他のオプションも表示されます。
10. ファイルヘッダーが必要な場合は **ファイルヘッダーが必要** を有効にしてください。
11. **Empty File Required**オプションは、キャンペーン固有のファイル作成トグルがオンのときに自動的に有効になります。 これは記録のないファイルを書き込みます。 空のファイルが必要ないなら、#これを TURN しておきましょう。

これは選択されたデータ型がマスターである場合にのみ表示されます。

12. ダブルクォートを含めるために **Add Double Quote** を有効にしてください。 各フィールドのデータはダブルクォートで埋め込まれています。
13. サーバ時間を付け加えるには **Date Time** を追加します。 ファイル名はサーバタイムを付け加えて保存されます。

    注意:オンデマンドとしてランタイプを選択する場合は必須です。 他のランタイプでも、日付追加オプションの使用を推奨します。 これにより、抽出されたファイルの誤って上書きを避けられます。

14. 記録なし　データ抽出時にアラートを発動 データ抽出時にアラートを発します。 アラートが発動すると、アラートセクションで設定された受信者グループにメールが送信されます。 メールには以下が含まれます:
    - データ抽出名
    - スケジュール日時
    - エラーの種類:記録なし
15. データ抽出がエラーで失敗した際にアラート **Activate** Alert on Failure アラートが発動すると、アラートセクションで設定された受信者グループにメールが送信されます。 メールには以下が含まれます:
    - データ抽出名
    - スケジュール日時
    - エラーの種類 - 故障
16. [保存] をクリックします。

保管先

ストレージ宛先画面では、ユーザがデータ抽出ファイルを保存できます。 **Reports > Storage Destination**に移動します。 デフォルトでは共有ドライブが選択され、その下のフィールドが入力されます。

共有ドライブ、S3、Google Cloud Storage からストレージタイプを選択します。

S3 ストレージ

1. ここで抽出データを保存する **S3 パス** を入力します。 これは、抽出データを保存する予定の Amazon S3 バケット上の絶対パスです。 例: *bucket:\DE*。
2. 必要に応じて **Is Rolebased Authentication** チェックボックスを選択してください。
3. ここで登場するのが **AWS Region End Point**です。 これはあなたの AWS S3 バケットが所在する地域です。

4. ここで登場するのが **AWS Access Key**です。 これが AWS S3 バケットにアクセスするための鍵です。 アクセスキーは Amazon S3 に送るリクエストに署名するために使われます。 AWS はこの鍵を検証し、アクセスを許可しています。 AWS に送る API リクエストにサインインするためにアクセスキーを使用します。

5. AWS の KMS 暗号化でデータを暗号化したい場合は **KMS 暗号化** を入力してください。

6. ここで登場するのが **AWS の秘密鍵**。 これは上で入力した AWS アクセスキーの秘密鍵(パスワードと同じく)です。 アクセスキー ID と秘密アクセスキーの組み合わせは認証のために必要です。

ティケーション。

7. そこで登場するのが **サーバサイド暗号化**。 これは暗号化/復号鍵であり、消去されたデータが AWS の鍵管理システム(KMS)暗号化によって暗号化されることを定義します。
8. ここで **KMS キーが登場します**。 これが S3 バケットのデータを復号するための鍵です。
9. アーカイブデータを保存する **Archive Path** が登場します。 例: *bucket:\DE\archive*。

   注:パスを提示する際は、冒頭にスラッシュやバックスラッシュを含めないでください。 例えば、IP アドレス 172.20.3.74 とパスを LCMArchive として扱うマシンの LCMArchive フォルダにデータをアーカイブする必要がある場合です。 LCMArchive のサブフォルダを使っている場合は、正しいパスを指定します - LCMArchive\PurgeData。
10. [**保存**] をクリックします。

共有ドライブストレージ

1. アーカイブデータを保存するデバイスの **IP/Host 名** を入力してください。
2. ユーザのユーザの ID **および** Password を入力して、データを保存します。 これはドメインとユーザ名の組み合わせであるべきです。 例:<domain>\User ID。
3. データを抽出する共有ドライブの **Extraction Path** を入力します。
4. データをアーカイブする共有ドライブの **アーカイブパス** を入力してください。

   注意:パスを追加する際は、冒頭にスラッシュやバックスラッシュを含めないでください。 例えば、IP アドレス 172.xx.x.xx のマシンの LCMArchive フォルダーにデータをアーカイブし、パスを LCMArchive として設定する場合です。 LCMArchive のサブフォルダを使っている場合は、正しいパスを指定します - LCMArchive\PurgeData。
5. [**保存**] をクリックします。

Google Cloud Storage

Google Cloud Storage の **Data Extraction Path** field に入力すると、抽出データを保存します。 これは、抽出データを保存する意図のある Google Cloud Platform 上の絶対的なパスです。

1. **アカウントタイプ**を入力してください。 これは Google Cloud Storage にアクセスするために使われるアカウントタイプです。 デフォルトのアカウントタイプとして service_account を使いましょう。
2. Google アカウントの **秘密鍵** を入力して Google Cloud Storage にアクセスし、アーカイブデータを配置してください。

3. Google Cloud Storage にアクセスするために使われた **Cloud Platform** のクライアントアカウントの **Client Email** を入力します。
4. ここで登場するのが、**Google Cloud Storage** のアーカイブパス Archive Path アプリケーションがアーカイブデータを保存する場所です。
5. [保存] をクリックします。

注意:ファイル名に/、\、:、*、?、<、<、|などの特殊文字は使用しないでください。

データ抽出

1. データ抽出を選択し、 **編集** 下 **アクション**をクリックします。
2. パラメータを更新して **保存**をクリックします。
3. データ抽出プロセスを起動するには、Enable **Activate** switch を起動してください。

データ抽出を削除

1. データ抽出を選択し、 **削除 アクション**をクリックします。
2. 確認のポップアップで **OK** をクリックしてください。

フィールド

フィールド	説明
Name	データ抽出構成の名前。
説明	データ抽出構成の説明。
ファイル名	抽出したデータを保存するファイル名。
職歴	データ抽出構成の職務履歴。 職歴の詳細にアクセスするには、隣接ボタンをクリックしてドロップダウン履歴の詳細を展開してください。
マスタータイプ	情報源の種類。 これはマスターデータソースからデータフィールドを抽出します。
取引型	情報源の種類。 これはトランザクションデータソースからデータフィールドを抽出します。 注意:トランザクションを選択した場合のみ、キャンペーングループ/キャンペーン、または両方を選択し続けてください。
キャンペーングループ	選択したデータソースに基づくキャンペーングループの一覧。
キャンペーン	選択したデータソースに基づくキャンペーン一覧。

データ ソース	データソース一覧。 システムテムには標準的なデータソースが用意されています。

定期間隔の運行タイプ	データ抽出は設定された間隔で実行してください。 数字パネルまたはエンターを使って「分単位の時間インターバル」欄を入力してください。 30 分のインターバルを選んでください。 データ抽出は、ここで設定された間隔で定期的に生成されます。
スケジュールされたタイムランタイプ	データ抽出の生成を毎日特定の時間にスケジュールしてください。
オンデマンドランタイプ	オンデマンドでデータ抽出を生成します。
ランデー	データ抽出の開始日。
IP/ホスト名	アーカイブデータを保存しているデバイスの IP アドレスまたはホスト名を表示します。
ユーザー ID	上記のドライブにアクセスしてデータを保存するユーザの ID を表示します。 これはドメインとユーザ名の組み合わせでなければなりません。 例えば、<ドメイン>\ユーザ ID。
パスワード	上記のユーザが共有ドライブにアクセスするためのパスワードを表示します。
抽出経路	共有ドライブ上でデータ抽出の経路を表示します。
アーカイブパス	共有ドライブ上でデータをアーカイブするパスを表示します。
S3 パス	抽出データを保存する S3 パス。 これは、抽出データを保存する予定の Amazon S3 バケット上の絶対パスです。
役割ベースの認証は	ロールベースの認証を可能にします
AWS リージョンエンドポイント	これはあなたの AWS S3 バケットが所在する地域です。
AWS アクセスキー	AWS S3 バケットにアクセスするキー。 アクセスキーは Amazon S3 に送るリクエストに署名するために使われます。 AWS はこの鍵を検証し、アクセスを許可しています。 AWS に送る API リクエストにサインインするためにアクセスキーを使用します。
KMS 暗号化	AWS の KMS 暗号化により、データを暗号化できます
AWS シークレットキー	これは入力した AWS Access Key の秘密鍵(パスワードと同じく)です。 認証にはアクセスキー ID とシークレットアクセスキーの組み合わせが必要です。
サーバサイド暗号化	これは暗号化または復号鍵であり、消去されたデータが AWS の鍵管理システム(KMS)暗号化によって暗号化されることを定義します。
[KMS キー（WEP Key）]	これが S3 バケットのデータを復号するための鍵です。
アーカイブパス	アーカイブデータを保存するパス。
アカウントの種類	これは Google Cloud Storage にアクセスするために使われるアカウントタイプです。 デフォルトのアカウントタイプとして service_account を使いましょう。

秘密鍵	これは Google アカウントの秘密鍵で、Google Cloud Storage にアクセスしてアーカイブデータを配置するためのものです。
クライアントメール	これは Google Cloud Storage にアクセスするために使われている Google Cloud Platform クライアントアカウントのメールアドレスです。
アーカイブパス	これは Google Cloud Storage 上でアプリケーションがアーカイブデータを保存するパスです。

注記

- レポートは 1 日の開始から設定された予定時刻まで抽出され、ファイルは設定されたストレージに置かれます。
- このレポートを 2 回目の抽出すると、最初のデータ抽出を含むファイルは設定済みのアーカイブパスに移動します。 最新の抽出は設定されたストレージの場所に置かれます。
- このレポートを 3 回目の抽出すると、2 回目の反復を含むファイルは設定済みのアーカイブパスに移動し、1 回目の反復ファイルは削除されます。 3 回目の反復データは設定されたストレージの場所に配置されます。
- 上記の 3 つの条件はすべて、キャンペーン固有ファイル作成および追加日時スイッチがオフの場合にのみ適用されます。
- コールトレース

トランザクションフィールドの詳細

以下の表は抽出されたフィールドとその詳細を示しています:

- 通話活動
- エージェント活動
- グローバルアップロード
- リストアップロード
- スクラブリスト情報
- 監査ログ
- 監査証跡
- 匿名のインバウンド SMS
- SMS インバウンドセッション
- SMS アウトバウンドセッション
- SMS 配達状況
- アップロードエラー
- グローバルアップロードエラー
- API アップロードエラー
- 非コール活動
- 連絡先ビジネスデータ
- リスト情報

- アップロード履歴
- コールトレース

通話活動

出典表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_CallActivity	コンタクト ID	連絡先 ID	ビジントヌル	カムパインにおける連絡先の一意識別子
RPT_CallActivity	カリド	[CALL ID]	NVarch-AR (38)	コール ID は、活動を追跡するための内部連絡参照に適用されます。 例えば、コンタクト選択から Res-chedule/Reports までのトラバーサルを追跡するために。
RPT_CallActivity	キャンペーングループ	キャンペーングループ	NVarch-AR (64)	これはカム・パーンが割り当てられるキャンペーングループです。
RPT_CallActivity	キャンペーン ID	キャンペーン ID	NVarch-AR (64)	これがキャンペーン名です。例えば、コレクションです。
RPT_CallActivity	グローバルリスト	グローバルリスト ID	Biint (null)	これはシステムテムにアップロードされたすべてのグローバルリストの実行中のシリアル番号です。

OBD_GUActivity	GLOBALFILENAME	グローバルファイル名	NVarch-AR (64) (null)	グローバルアップロード con-tact ファイル名。
RPT_CallActivity	リストティッド	[LIST ID]	整数 (null ではない)	これは、連絡先をカメラにアップロードする際に生成されるランニングシリアル番号です。

OBD_ListInfo	リストステータス	リストの現状	int(null)	この列にはリストの状態(アクティブ-0または停止-1)を表す整数が格納されています。
OBD_ListInfo	LISTCREATEDTIME	リスト作成時間	ダット・エタイム (50) (null)	連絡先リストファイルがアップロードのために登録された日付と時間。
OBD_HD_アップロード履歴	アップロード時間	アップロード時間	ダット・エタイム (null)	リストのアップロード完了日時。
RPT_CallActivity	コールストラテジー	コンタクト戦略	NVarch-AR (64) (null)	この接触戦略は現在の試みにも適用されました。
RPT_CallActivity	コンディショナル	CSS 条件	Biint (null)	コンタクト選択時に使用された CSS 条件の内部 ID。
OBD_Cus-tomFilterGroup	CUSTOMFILTERGROUP	カスタムフィルターグループ	インテリット (32) (null)	これは現在使用されている CSS 条件がマッピングされた CSS 条件 ID です。
OBD_Cus-tomFilter	条件文字列	条件文字列	NVarch-AR (マックス)	これは現在使用されている CSS 条件がマッピングされる CSS 条件群 ID

s			(null)	です。
RPT_CallActivity	連絡先電話番号	連絡先番号	イント(64)(null)	ダイヤルされた連絡先番号。 デジタルチャネルの場合はメールアドレスにもなります。
RPT_CallActivity	創造時間	創造時間	ダット・エタイム(null)	この記録が報告データベースに挿入された日付と時間。
RPT_CallActivity	終焉	終焉	ダット・エタイム	この時点で通話が再発されます。

			(null)	LCMC コンタクトレス・チェデューラーサービスによってスケジュールされました。 この時間は CallActivity テーブルに挿入されます。
RPT_CallActivity	呼びかけの長さ	通話時間	int(null)	CPA が有効になると、エージェントがパッチを当てられた時点から通話完了までの通話時間が計算されます。 Cisco 実装では、呼び出しの開始時間から通話完了までの計算時間が計算されます。
RPT_CallActivity	コールモード	コールモード	NVarch-AR (4) (null)	これがコンタクトの接触モード ID です。
OBD_Modes	モードネーム	モード名	NVarch-AR (64) (null)	例えば、連絡先をダイヤルアウトするモード名は Home や Mobile です。
RPT_CallActivity	コールアウトカム	コール結果	NVarch-AR (8) (null)	ダイヤラーまたは担当者が担当者に設定した通話結果。 それは電話の成果かもしれませんし、ビジネスの結果かもしれません

RPT_CallActivity	ContactNature	ContactNature	NVarch-AR	自然に接触して試みてください。 可能な評価は、フレッシュ、再スケジュール、ノーマルコールバック、パーソナルコールバック、AEM-フレッシュ、AEM-再スケジュール、AEM-コールバック、フレッシュモーメント、またはAEM-フレッシュモーメントです

OBD_BusinessOutcomeParent	アウトカムグループ	アウトカムグループ	整数 (64) (null)	これはビジネスアウトカムグループ ID がカムページにマッピングされています。
OBD_BusinessOutcomeParent	親名	結果の親名	NVarch-AR (64) (null)	親のアウトカムネーム。
OBD_Outcome	ディスプレイネーム	結果の説明	NVarch-AR (128) (null)	この試みのための電話またはビジネス成果の説明。
OBD_Outcome	RPCTYPE	RPCTYPE	NVarch-AR (8) (null)	これは、この試みの処理セットが RPC(右派 connect)か非 RPC かを示すための分類です。
OBD_Outcome	ISLIVECALLOUTCOME(イスライブコール)結果	ライブコール結果	ビット (null)	この通話の結果セットが「LIveCall」タグ付けされているかどうかを示します。 放棄通話のパーセント数を決定するのに有用です。
RPT_CallActivity	コールスタート時間	コールスタート時間	ダット・エタイム (null)	CPA が有効の場合、これは通話接続時間です。CPA が無効化されている場合、通話がエージェントにパッチ接続される時刻を示します。
RPT_CallActivity	TARGETCAMPAIGNID	ターゲット接触 ID(ターゲット接触 ID)	NVarch-AR (null)	これは、現在の連絡先が別のキャンペーンに連結されている場合に備え、ターゲットキャンペーン ID を示します。

RPT_CallActivity	ターゲットコンタクト ID	ターゲットコンタクト ID	Biint (null)	これは、現在の連絡が他のキャンペーンに連鎖されている場合に備え、ターゲットキャンペーンのターゲットコンタクト ID を示します。

RPT_CallActivity	エージェントペリフェラルナンベ-R	エージェント ID	NVarch-AR (64) (null)	これはこの通話試行を担当したエージェント ID を示します。
RPT_CallActivity	エージェント名	エージェント名	NVarch-AR (64) (null)	この電話の試みを担当したエージェントの名前。
RPT_CallActivity	リカバリーキー	リカバリーキー	浮き上がる	ダイヤラーの識別子を示すランニングナンバーは、ダイヤラーから通話を回収するための識別子です。
RPT_CallActivity	目標額	目標額	float(null)	これは、この試みにおける特定のビジネス成果の達成目標として設定された価値です。
RPT_CallActivity	エージェントコメント	エージェントのコメント	NVarch-AR (4000) (null)	この通話は、担当者が連絡先のために入力したコメントです。
RPT_CallActivity	チャンネルタイプ	チャンネルの種類	int(null)	これはチャンネルタイプです。 SMS に 1 つ、VOICE に 2 つ、 メールは 3 点、CPAAS は 4 点、IVR は 0 点です。
OBD_ChannelType	チャンネル説明	チャンネルの説明	NVarch-AR (32) (null)	チャンネルの説明。例:Voice、SMS、Email SMS に 1 つ、VOICE に 2 つ、 メールは 3、CPAAS は 4、IVR は 0 です。

RPT_CallActivity	チャイルドリスト	チャイルドリスト	int(null)	これは、すでにアップロード済みのリストに連絡先が追加されたときに割り当てられる ID です。
RPT_CallActivity	DELIVEREDTYPE(配達タイプ)	納入型	NVarch-AR (32) (null)	これはダイヤラーへのコンタクト配信タイプの性質を表しています。 可能性のバルー

				UES は以下の通りです: • 通常 • 非 PEWC レギュラー • コールバック • AEM
RPT_CallActivity	TARGETCAMPAIGNGROUP	ターゲットキャンペーングループ	NVarch-AR (64) (null)	共有リストにのみ適用されます。 共有リストキャンペーンから連絡先が配信されるキャンペーングループを示します。
RPT_CallActivity	コールタイプ	コールタイプ	varchar (8) (null)	通話の種類を記述しています。値は次のいずれかになります。 • 0 – ノーマルコール • 1 – コールバックコール • 2– AEM コール
RPT_CallActivity	CALLBACKAGENTID	コールバック AGENTID	NVarch-AR (128) (null)	折り返しの依頼を担当するエージェントの ID。
RPT_CallActivity	CALLBACKAGENTNAME	コールバックエージェント名	NVarch-AR (64) (null)	折り返しの依頼を担当する代理店の名前。

RPT_CallActivity	口座番号	口座番号	NVarch-AR (30) (null)	アカウント番号は、ダイヤラーに連絡が届けられた際に連絡先のために作成された一意の番号です。キャンペーン ID、連絡先 ID などを示す 7 つの一意の識別値とパイプセパレーターが含まれています。
RPT_CallActivity	コンタクトトリー	コンタクトトリー	ティンイント (null)	現在の再試行番号、つまりダイヤル中の番号

				これまでのところ接触を試みていた。
RPT_CallActivity	連絡先ステータス	連絡先の現状	int(null)	これは連絡先の通話活動状況です。 値は次のとおりです。 1 - 閉店 2 - 一時的にロックされた 3 - アップロード進行中 4 - ダイヤラーに配信 5 - 上書き 6 - リスト停止 7 - 管理された接点で閉じるか、フラッシュされる 8 - 接触停止および閉鎖 9 - 接触を擦りつける 10 - コンタクトが他のキャンペーンに移動 11 - 永久停止 20 - 配達された接触停止 21 - PCB 供給時にロック 22 - CSSCONTACTS 配信時にロック

				23 - AEM 配達にロック 24 - レシュドゥルにより再スケジュールが確定

				連絡先 25 - レシュデューレにより接近接触をロック 30 - DNC による接触遮断 31 - NDNC による接触遮断 32 - DNCSCRUB による接触ブロック 33 - 訴訟による連絡の遮断 34 - 期限切れ 35 - キャンペーン中止
OBD_ 連絡先ステータスリアの息子たち	連絡先ステータス理由	お問い合わせ STATUSREASON	NVarch-AR (128) (null)	これが連絡状況の変更の理由です。 例えば、連絡先が「ロック」状態になることがあります。 申請書はこの連絡先を PCB、CSS、AEM の通話に割り当てるための配信をロックしていたはずです。
RPT_CallActivity	CALLBACKDATETIME(コールバックデーティングタイム)	CALLBACKDATE TIM-E	ダット・エタイム (null)	担当者が連絡の日時を設定した。
RPT_CallActivity	デリバッドタイム	デリバッドタイム	ダット・エタイム (null)	連絡先がダイヤラーに届く時間。

RPT_CallActivity	予定された納品時間	スケジュールされたライブ-ライタイム	ダット・エタイム (null)	接触の調査の再スケジュール。
RPT_CallActivity	ISWIRELESS	ISWIRELESS	ビット (null)	現在の試みが無線に行われているかどうかを示します

				(携帯)番号。 無線なら真実です。固定線の場合は誤りです。もし可能であれば、コンプライアンス DB から価値を取っています。 そうでなければ、デフォルト値は True となります。
RPT_CallActivity	周辺呼び出しキー	環形コールキー	int(null)	これは固有の周辺コール ID(トランスフェアドレスコールと同じ)を示します。
RPT_CallActivity	RESERVATIONCALLDURATI-ON	予約の呼び出し期間	int(null)	そのエージェントは予約された通話時間(ミリ秒単位)でした。 プレビューモードでは、最後のプレビューの時刻、ダイヤル、CPA の実施、そして通話をエージェントに転送する時間が含まれます。 予測モードでは、予約済みエージェントが cus-tomer に接続する前に切断された場合、この値は NULL となります。なぜならエージェントはまだ顧客と関連付けられていないからです。 このような場合、対応する Ter-mination Call Detail レコードのホールドタイムはエージェント予約時間を示します。

RPT_CallActivity	プレビュータイム	プレビューの時間です	ダット・エタイム (null)	ダイヤラーがエージェントにプレビュー用の連絡先を提示された時間。
RPT_CallActivity	SFUID	SFUID	NVarch-AR (マックス) (null)	これは Contact Import に使われる Service Cloud Voice CRM ユーザ ID です。

RPT_CallActivity	連絡先	連絡先	NVarch-AR (マックス) (null)	この列には連絡先情報が XML データ形式として記載され、ダイヤラーに送られます。 例えば、名前、苗字、連絡先番号などです。
RPT_CallActivity	SFLEADID(スフレディッド)	Salesforce Cam-paign リード ID	NVarch-AR (200) (null)	これは Service Cloud Voice で生成されるユニークな ID です。
RPT_CallActivity	SFCONTACTID	Salesforce cam-paign CONTACT ID	NVarch-AR (200) (null)	こちらはキャンペーンの Service Cloud Voice 連絡先 ID です。
RPT_CallActivity	SFCAMPAIGNID	Salesforce cam-paign ID	NVarch-AR (200) (null)	サービスクラウドの Voice CRM キャンペーン ID を通じて連絡先がインポートされます。
RPT_CallActivity	CALLBACK リクエスト	コールバックリクエスト	NVarch-AR (64) (null)	これはコールバックリクエストを登録するエージェントのエージェント ID を表します。
RPT_CallActivity	CALLBACKREGISTEREDTYPE(コールバック registeredtype)	コールバック登録型	varchar (23) (null)	エージェントによるコールバック登録時のコールバックの性質。 値は次のいずれかになります。 0 – ノーマルコール 1 – PCB(パーソナルコールバック) 2 – NCB(ノーマルコールバック)

RPT_CallActivity	CALLBACKATTEMPTTYPE	コールバック試行の種類	NVarch-AR (17) (null)	ダイヤル試行時の通話タイプ。 可能な値は NCB と PCB です。
RPT_CallActivity	カレントサイクル	現在のサイクル	整数	サイクル戦略が

			(null)	使用済みフィールドには現在のサイクル番号が記載されます。 例えば、接触反復サイクルが第 2 サイクルに属している場合、この場には 2 が含まれる。
RPT_CallActivity	ISCURRENTCYCLE コンプレット-ED です	現在のサイクル完了	ビット (null)	フラグは電流サイクルの完了、つまりすべてのモードがダイヤルアウトされていることを示します。
RPT_CallActivity	過去のリードスコア	過去のリードスコア	整数 (null)	アップロード時に割り当てられたリードスコアの値。
RPT_CallActivity	現在のリードスコア	現在のリードスコア	整数 (null)	エージェントが割り当てたリードスコアの価値。
RPT_CallActivity	ACTUALCVALUE	電話番号	NVarch-AR (225) (null)	これはリードリストからアップロードされた電話番号です。
RPT_CallActivity	STATELAWGROUPNAME	STATELAW グループ名	NVarch-AR (256) (null)	この名称は、この試みで使用された州の法律団体名を示しています。
OBD_Campaign_カテゴリー	キャンペーンカテゴリーナ・ミー	キャンペーンカテゴリー名	NVarch-AR (64) (null)	これがキャンペーンのカテゴリ名です。
RPT_CallActivity	DNCCAMPAIGN カテゴリ-NAME	DNC キャンペーンカテゴリー名	NVarch-AR (マックス) (null)	これは DNC のカム・ペインカテゴリー名です。

RPT_CallActivity	ISINBOUND	着信通話	ビット (null)	現在の試行エントリがインバウンドコールから作成された場合、値は 1 に設定され、それ以外の値は 0 に設定されます。
RPT_CallActivity	ダイヤラー参照 ID	ダイアラー参照 ID	NVarch-AR	これはダイヤラープラットフォームによって生成される連絡先 ID または通話 ID です。 ダイヤラー-

			(64) (null)	具体的な分野は以下の通りです: ・.
OBD_CallActivity	ContactNature	Contact_Nature	NVarch-AR	自然に接触して試みてください。 可能な評価は、フレッシュ、再スケジュール、ノーマルコールバック、パーソナルコールバック、AEM-フレッシュ、AEM-再スケジュール、AEM-コールバック、フレッシュモーメント、またはAEM-フレッシュモーメントです
RPT_CallActivity	ステータス変更者	ステータス変更	NVarch-AR (128) (null)	連絡先ステータスを変更したエンティティのユーザ ID です。
RPT_CallActivity	ステータス変更済み	ステータス変更	ダット・エタイム (null)	連絡先ステータスが変更される日時。
RPT_CallActivity	デバイス ID	装置 ID	NVarch-AR (255) (null)	連絡先が番号やビジネスフィールドで DNC としてブロックされているかどうかを定義します。

RPT_CallActivity	OVERRIDEPEWCVALIDATIO-N	PEWC 検証のオーバーライド	bit (null ではない)	やり取り中、顧客が特定の連絡先を非 PEWC 通話としてマークし、自動ダイヤルを許可した場合、エージェントはこの連絡先の PEWC 検証を上書きするチェックボックスを選択します。
RPT_CallActivity	ダイヤラー agent コールバック	ダイヤラーエージェントのコールバック	bit (null ではない)	この値は、結果が通常のエージェントによるコールバックとして設定されるのか、クリッカーエージェントとして設定されるのかを決定します。 値 0 はこれが正規エージェントによって設定されていることを示します。1 はクリックエージェントによって設定されたことを示します。

RPT_CallActivity	DNCSTARTDATE(DNCSTARTDATE)	DNC 開始日	ダット・エタイム (null)	タイムド DNC が登録される際、登録時の開始日が示されます。
RPT_CallActivity	DNCENDDATE(未発表日)	DNC 終了日	ダット・エタイム (null)	タイムド DNC が登録される際、登録時に終了日が示されます。
RPT_CallActivity	DNCTYPE	DNC タイプ	NVarch-AR (1) (null)	連絡先に適用される DNC の種類は、特定のキャンペーンまたはすべてのキャンペーンに適用されます。
RPT_CallActivity	IDENTITYAUTHENTICATIO-NENABLED	本人確認有効	bit (null ではない)	これは Iden-tityAuthentic-ationEnabled フィールドが連絡先の有効または無効化。
RPT_CallActivity	IDENTITYAUTHENTICATIO-NSUCCESS	アイデンティティ認証の成功	bit (null ではない)	これが、身分認証が成功かどうかを定義します。
RPT_CallActivity	SMSTRANSACTIONCOUNT	SMS 取引回数	整数 (null ではない)	カウントは、ユーザと SMS サービス間の SMS トランザクション数であり、2 ウェイ SMS が使用された場合に適用されます。

RPT_CallActivity	プレビュー期間	プレビュー期間	int(null)	エージェントが通話をプレビューし、受付、スキップ、または拒否(クローズ)するのにかかる時間。
RPT_CallActivity	次 予定日	次のスケジュール 日時	ダット・エタイム (50) (null)	これは次の予定されたコールバックの日時を示します。
RPT_CallActivity	NEXTSCHEDULEMODE	次のスケジュールモード	NVarch-AR (50) (null)	これは予定されたコールバックのモードを示します。

RPT_CallActivity	TOTALPRIMARYAUTH	トータルプライマリ認証	int(null)	識別認証サービスに対して、cus-tomerから通話認証(通話前認証)を取得するために送られたリクエストの総数は、単一の連絡先のためにダイヤラーに届けられます。 要求はシステム(給電エンジン)から開始されます。
RPT_CallActivity	VERIFIEDPRIMARYAUTH	認証済みプライマリ認証	int(null)	着信認証(事前認証)のために送信されたリクエストに対して、識別認証サービスからのカストマー応答の総数。 要求はシステム(給電エンジン)から開始されます。
RPT_CallActivity	TOTALSECONDARYAUTH	完全な二次認証	int(null)	通話中に顧客から各 ID の認証を取得するために、本人確認サービスに送信されたリクエストの総数(オンコール認証)。 エージェントからリクエストが開始されます。
RPT_CallActivity	VERIFIEDSECONDARYAUTH	検証済み二次認証	int(null)	通話中に「アイデンティティ認証サービス」から送信された各リクエストごとに、通話中に送信された各リクエストの合計応答数(オンコール認証)。 依頼はエージェントから最初に提出されます。
RPT_CallActivity	計算時間	計算済み	整数	それは切り上げられ

	(COMPUTEDDURATIONINM)			たコールです

	S	持続時間	(null)	持続時間(ミリ秒単位)は、設定されたパルスレートに基づいています。 請求計算に使用されます。

エージェント活動

出典表	列名	表示名	データタイプ	説明	プラットフォーム
RPT_AEA-紳士活動	AgentID	AgentID	ンヴァルチャル (50)(null)	エージェントの名前は、状態変更のたびにデータベースに記録されます。	Amazon Connect
RPT_AEA-紳士活動	AgentState	エージェントの状態	nvarchar (100) (null ではない)	エージェント状態(例: *Ready* または *Not Ready*などは、起こりうるさまざまな状態を表します。	Amazon Connect
RPT_AEA-紳士活動	活動日	活動日	ヴァルチャー (30)(無効)	活動の日付と時間が表示されます。	Amazon Connect

RPT_AEA-紳士活動	挿入時間	挿入時間	datetime(null)	エージェントの変更状態がデータベースにインサーされた日時が表示されます。	Amazon Connect
RPT_AEA-紳士活動	LCMKey	LCMKey	ンヴァルチャル(60)(null)	ContactID、ModeID、CampaignKey、ContactRetries、ModeRetries、TimeZoneIDで構成されています。	Amazon Connect

				そして区切り符で区切られたTenantID です。	
RPT_AEA-紳士活動	ブレンディングステート	ブレンディング状態	ヴァルチャー (10)(null)	エージェントのブレンディング状態は、インバウンドかアウトバウンドかです。	Amazon Connect
RPT_AEA-紳士活動	開始時間	開始時間	datetime(null)	活動開始日と時間が表示されます。	Amazon Connect
RPT_AEA-紳士活動	終焉	終焉	datetime(null)	アクティビティの完了日と時刻が表示されます。	Amazon Connect
RPT_AEA-紳士活動	秒間の持続時間	秒間の持続時間	整数 (null)	アクティビティの持続時間が表示されます。	Amazon Connect
RPT_AEA-紳士活動	ISINCALL(アイスコール)	ISINCALL(アイスコール)	整数 (null ではない)	これは、その活動が現在通話中にあるかどうかを示します。	Amazon Connect
RPT_AEA-紳士活動	テナンティッド	テナンティッド	ビジント (null)	それはテナント ID です。	Amazon Connect
RPT_AEA-紳士活動	サブテナンティッド	サブテナンティッド	ビジント (null)	それはサブテナント ID です。	Amazon Connect

匿名のインバウンド SMS

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
RPT_ITR_Incom-ingMessageLog	ID	ID	BiInt(null では ない)	受信メッセージの自動生成された一意識別子。
RPT_ITR_Incom-ingMessageLog	ソース（Source）	ソース（Source）	ンヴァルチャル (20)(null)	SMS メッセージの送信元デバイス(連絡先番号)。

RPT_ITR_Incom-ingMessageLog	Destination	Destination	ンヴァルチャル (20)(null)	SMS メッセージの宛先デバイス(連絡先番号)です。
RPT_ITR_Incom-ingMessageLog	メッセージ	メッセージ	ンヴァルチャル (256)(無効)	SMS mes-sage の内容。
RPT_ITR_Incom-ingMessageLog	エントリータイム	エントリータイム	datetime(null)	申請の日付と時間がこのログエントリを作成しました。
RPT_ITR_Incom-ingMessageLog	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナント ID 新しいテナントが作成される際にアプリケーションによって自動的に生成されます。
RPT_ITR_Incom-ingMessageLog	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID 新しいテンアントが作成されるとアプリケーションによって自動生成されます。

API アップロードエラー

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
RPT_AddContact_エラー	エラー ID	エラー ID	ビジント (null)	このエラーに対して自動生成されたエラー ID。
RPT_AddContact_エラー	メソッドネーム	メソッドネーム	ンヴァルチャル (100)(null)	このエラーの原因は API メソッドです。

RPT_AddContact_エラー	結果	結果	ンヴァルチャル (16)(null)	API の反応の結果(失敗または成功。
RPT_AddContact_エラー	結果説明	結果説明	ンヴァルチャル (512)(null)	API の回答の説明。
RPT_AddContact_	ログデート	ログデート	デートタイム	日付と

エラー（Error）			(null)	エラーレコードがログに 10 回書き込まれた時間。
RPT_AddContact_エラー	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (64)(null)	このエラーを報告したキャンペーン ID。
RPT_AddContact_エラー	コールタイプ	コールタイプ	ヴァルチャー (8)(null)	通話の種類を記述しています。値は次のいずれかになります。 0 – ノーマルコール 1 – コールバックコール 2 – AEM コール
RPT_AddContact_エラー	CallStartDateTime(通話開始日時)	CallStartDateTime(通話開始日時)	ンヴァルチャル (32)(無効)	アップロード時に定義されたコンタクトのコール開始時間。
RPT_AddContact_エラー	CallEndDateTime(通話終了日)	CallEndDateTime(通話終了日)	ンヴァルチャル (32)(無効)	通話終了の日時。
RPT_AddContact_エラー	BusinessFieldXML	BusinessFieldXML	Nvarchar (2000)(null)	パラメータ内の XML データ;ここにはビジネス分野が含まれています。
RPT_AddContact_エラー	優先順位（Priority）	優先順位（Priority）	ヴァルチャー (8)(null)	ダイヤラーに届ける連絡先の優先権

RPT_AddContact_エラー	モード XML です	モード XML です	Nvarchar (2000)(null)	XML データには、モバイル、Home 電話、仕事用電話などの通話モードが含まれています。
RPT_AddContact_エラー	ユーザ ID	ユーザ ID	ンヴァルチャル (32)(無効)	API を消費しているエンティティのユーザ ID。
RPT_AddContact_	SMSData	SMSData	ンヴァルチャル	メッセージ

エラー（Error）			(128)(無効)	SMS で送信されるテキスト。
RPT_AddContact_エラー	メール件名	メール件名	ンヴァルチャル (128)(無効)	メールの件名は、メールのカメラ訪問の一部として送信される際のものです。
RPT_AddContact_エラー	MailMsg	MailMsg	ンヴァルチャル (128)(無効)	メールの内容。
RPT_AddContact_エラー	MailAttachment	MailAttachment	ンヴァルチャル (128)(無効)	メールメッセージの一部である添付ファイル名。
RPT_AddContact_エラー	郵便番号	郵便番号	ンヴァルチャル (32)(無効)	連絡先:郵便番号。
RPT_AddContact_エラー	連絡先詳細	連絡先詳細	Nvarchar (2000)(nul l)	この列には、ダイヤラーに送られる XML データ形式の連絡先情報が含まれています。 例えば、名前、苗字、連絡先番号などです。
RPT_AddContact_エラー	リスト ID	リスト ID	ンヴァルチャル (50)(null)	その条件が属するリスト ID。
RPT_AddContact_エラー	ロックコンタクト	ロックコンタクト	ビッ ト (null)	これは、その連絡先を配信からロックする必要があるかどうかを示しています。コンタクトがロックされて

				いる場合は 1 です。ロックされていなければ 0 です。
RPT_AddContact_エラー	デアップバススフルド	デアップバススフルド	ンヴァルチャル (32)(無効)	デドゥプ・ビジネスフィールド
RPT_AddContact_エラー	CloseContact を無視してください	CloseContact を無視してください	bit	申請が

			(null)	閉じた接触を無視するために。
RPT_AddContact_エラー	エラー説明	エラー説明	ヴァルチャー (512)(null)	API の応答エラー説明。
RPT_AddContact_エラー	連絡先 ID	連絡先 ID	ンヴァルチャル (16)(null)	この連絡先のために ID 生成されました。
RPT_AddContact_エラー	ErrorXML	ErrorXML	ヌヴァルハル (1024)(無効)	誤りの詳細を含む XML のファイル名です。
RPT_AddContact_エラー	リードスコア	リードスコア	ンヴァルチャル (16)(null)	この接触のリードスコア。
RPT_AddContact_エラー	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナント ID 新しいテナントが作成される際にアプリケーションによって自動的に生成されます。
RPT_AddContact_エラー	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID 新しいテンアントが作成されるとアプリケーションによって自動生成されます。

監査ログ

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明

RPT_AuditLog	ID	ID	整数 (null ではない)	ログエントリの自動生成された一意識別子。
RPT_Users	ユーザ ID	ユーザ ID	ンヴァルチャル (100)(null)	その活動を行ったユーザ ID(ユーザ名)。
RPT_AuditLog	モジュール	モジュール	ンヴァルチャル (64)(null)	アプリケーションモジュールまたは成分は、ここで

				この活動は行われます。 例えば、Campaign や Global Uploader などです。
RPT_AuditLog	Operation	Operation	ンヴァルチャル(64)(null)	ユーザが行う操作。 例えば、作成、更新、削除などです。
RPT_AuditLog	データ：	データ：	ヌヴァルチャー(最大)(ヌル)	ユーザがアクティブリティのために要求したデータ。
RPT_AuditLog	CreatedDate	CreatedDate	datetime(null)	申請の日付と時間がこのログエントリを作成しました。
RPT_AuditLog	テナント ID	テナント ID	int(null)	新しいテナントが作成される際に、Tenant ID は適用によって自動的に生成されます。
RPT_AuditLog	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID 新しいテンアントが作成されるとアプリケーションによって自動生成されます。

監査証跡

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
RPT_AuditTrail	ID	ID	ビジント (null ではない)	ログエントリの自動生成された一意識別子。
RPT_Users	ユーザ ID	ユーザ ID	ンヴァルチャル (100)(null)	ユーザ ID(ユーザ名)

				活動を行った。
RPT_AuditTrail	Operation	Operation	ンヴァルチャル(50)(null)	ユーザが行う操作。 例えば、作成、更新、削除などです。
RPT_AuditTrail	データ：	データ：	ヴァービナリ(最大値)(ヌル)	ユーザがアクティブリティのために要求したデータ。
RPT_AuditTrail	CreateDate	CreateDate	datetime(nullではない)	申請の日付と時間がこのログエントリを作成しました。
RPT_AuditTrail	ページネーム	ページネーム	ヴァルチャー(50)(null)	この活動が行われるアプリケーションページまたはコンポネント。 例えば、Cam-paign や Global Uploader などです。
RPT_AuditTrail	エンタープライズ ID	エンタープライズ ID	整数(null ではない)	エンタープライズの唯一のアイデンタイア。
RPT_AuditTrail	IsActive	IsActive	bit(null ではない)	アクティブエントリーを示し、デフォルトは 1 に設定されています

RPT_AuditTrail	IsDeleted(削除されました)	IsDeleted(削除されました)	bit (null ではない)	はエントリーがソフト削除され、デフォルトが 0 に設定されていることを示します
RPT_AuditTrail	テナント ID	テナント ID	int(nul l)	テナント ID 新しいテナントが作成された際に適用によって自動的に生成されます。

RPT_AuditTrail	サブテナント ID	サブテナント ID	int(nul l)	サブテナント ID 新しいテンアリが作成されるとアプリケーションによって自動生成されます。

SMS 配達状況

出典表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_ITR_Deliv-eryStatus(デリヴリーステータス)	ソース（Source）	ソース（Source）	nvarch ar (36) (null)	SMS ソースのデバイス番号(コンタクト番号)。
RPT_ITR_Deliv-eryStatus(デリヴリーステータス)	Destination	Destination	nvarch ar (36) (null)	SMS 宛先のデバイス番号(コンタクト番号)。
RPT_ITR_Deliv-eryStatus(デリヴリーステータス)	メッセージ	メッセージ	ンヴァルチャル (マックス) (null)	SMS のテキストメッセージの集まり。
RPT_ITR_Deliv-eryStatus(デリヴリーステータス)	納入状況	納入状況	nvarch ar (50) (null)	SMS メッセージの配達状況。 例えば、成功、失敗、などです。

RPT_ITR_Deliv-eryStatus(デリヴリーステータス)	GatewayMsgID	GatewayMsgID	ンヴァルチャル (100) (null)	こちらゲートウェイメッセージID。
RPT_ITR_Deliv-eryStatus(デリヴリーステータス)	実際の応答	実際の応答	ンヴァルチャル (マックス) (null)	これが返答です。
RPT_ITR_Deliv-eryStatus(デリヴリーステータス)	エントリーデートタイム	エントリーデートタイム	デートタイム (null ではない)	記録の日付と時間は

				表に作成されました。
RPT_ITR_Deliv-eryStatus(デリヴリーステータス)	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (64) (null)	SMS が送信されるキャンペーン ID。
RPT_ITR_Deliv-eryStatus(デリヴリーステータス)	連絡先 ID	連絡先 ID	int(null)	SMS が送られる唯一の連絡先 ID。
RPT_ITR_Deliv-eryStatus(デリヴリーステータス)	プロバイダータイプ	プロバイダータイプ	ンヴァルチャル (128) (null)	SMS は SMPP のようなタイプを提供します。
RPT_ITR_Deliv-eryStatus(デリヴリーステータス)	Deliv-eryStatusUpdatedDateTime	Deliv-eryStatusUpdatedDateTime	datetime (null)	このレコードの配達状況が更新される日時。
RPT_ITR_Deliv-eryStatus(デリヴリーステータス)	[ErrorCode]	[ErrorCode]	ンヴァルチャル (10) (null)	これがエラーコードです。
RPT_ITR_Deliv-eryStatus(デリヴリーステータス)	テナント ID	テナント ID	int(null)	新しいテナントが登録されると、申請書によってテナント ID##が自動的に生成されます。

RPT_ITR_Deliv-eryStatus(デリヴリーステータス)	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	Sub Ten-ant ID は新しいテナントが作成された際に申請によって自動生成されます。

SMS インバウンドセッション

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明

RPT_ITR_ Ses-sion 詳細	ID	ID	ンヴァルチャル (36)(null)	受信メッセージの自動生成ユニーク識別子。
RPT_ITR_ Ses-sion 詳細	文章	文章	ンヴァルチャル (マックス)(null)	SMS で送られたメッセージのテキスト。
RPT_ITR_ Ses-sion 詳細	IsSent	IsSent	bit (null ではない)	これはメッセージが連絡先に送られたかどうかを示します。
RPT_ITR_ Ses-sion 詳細	日付	日付	デートタイム (null ではない)	SMS メスセージが送られた日付。
RPT_ITR_ Ses-sion 詳細	タイトル	タイトル	ヴァルチャー (100)(null)	SMS メスセージの主題
RPT_ITR_ Ses-sion 詳細	応答	応答	ヌヴァル チャー(最大)(ヌル)	メッセージの受信者から受け取った返答。
RPT_ITR_ Ses-sion 詳細	シークエンス ID	シークエンス ID	int(null)	アプリケーションが受信したメッセージに対して自動生成された ID。
RPT_ITR_ Ses-sion 詳細	GatewayMsgID	GatewayMsgID	ンヴァルチャル (128)(無効)	このメッセージの ID は SMS ゲートウェイによって生成されました
RPT_ITR_ Ses-sion 詳細	AccountNumber	AccountNumber	ンヴァルチャル	口座番号 (LCMKey / CAID) 接触のこと。

			(256)(無効)	
RPT_ITR_ Ses-sion 詳細	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (128)(無効)	キャンペーン ID は、受信 SMS が受信されます。
RPT_ITR_ Ses-sion 詳細	RefGatewayMsgID	RefGatewayMsgID	ンヴァルチャル (100)(null)	メッセージ ID は SMS ゲートウェイによって生成されました。

RPT_ITR_ Ses-sion 詳細	連絡先 ID	連絡先 ID	int(nul l)	入ってくるメスセージが受信される唯一のコンタクト ID。
RPT_ITR_ Ses-sion 詳細	テナント ID	テナント ID	int(nul l)	テナント ID 新しいテナントが作成された際に適用によって自動的に生成されます。
RPT_ITR_ Ses-sion 詳細	サブテナント ID	サブテナント ID	int(nul l)	サブテナント ID 新しいテンアントが作成されるとアプリケーションによって自動生成されます。

SMS アウトバウンドセッション

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
RPT_ITR_Session	ソース（Source）	ソース（Source）	ンヴァルチャル (36)(null)	送信された SMS メッセージのソースコンタクト(ショートコード)。
RPT_ITR_Session	Destination	Destination	ンヴァルチャル (36)(null)	送信先の SMS メッセージの連絡先番号です。

RPT_ITR_Session	結果	結果	ンヴァルチャル (20)(null)	結果は SMS の接触にセットされていました。 結果はスクリプトデザイナー、SMS サービスプロバイダーのデリブ状態、または受信側からの返信を待つことで設定できます。

RPT_ITR_Session	IsTimedOut	IsTimedOut	ビット (null)	これは SMS のメスセージが送信前にタイムアウトされたのか、それとも必然的に送信されたのかを示します。
RPT_ITR_Session	日付	日付	datetime(null ではない)	メッセージが送信された日付と時間。
RPT_ITR_Session	ID	ID	ンヴァルチャル (36)(無効ではない)	送信メッセージの自動生成ユニーク識別子。
RPT_ITR_Session	AccountNumber	AccountNumber	ンヴァルチャル (64)(無効ではない)	口座番号 (LCMKey / CAID) 接触のこと。
RPT_ITR_Session	エラー（Error）	エラー（Error）	ヴァルチャー (100)(null)	これはアプリケーションのスクリプトデザイナー機能によるコールガイドに関連しています。
RPT_ITR_Session	フォーム ID	フォーム ID	int(null)	フォーム ID から送信された SMS メッセージです。
RPT_ITR_Session	アウトカムタイプ	アウトカムタイプ	ヴァルチャー (20)(null)	結果のタイプ。 結果セットが構成された成功か失敗に属するか。

RPT_ITR_Session	修正日	修正日	datetim e(null)	このエントリーが最後に更新された日付と時間。
RPT_ITR_Session	アジェンティッド	アジェンティッド	ンヴァルチャル (64)(null)	エージェント ID はこの相互作用を担当しているエージェントです。

RPT_ITR_Session	現状	現状	ンヴァルチャル (32)(無効)	送信済み、処理中、失敗など、送信された SMS メッセージの状態。
RPT_ITR_Session	コミットされた者	コミットされた者	ンヴァルチャル (32)(無効)	これをデータベースにコミットしたユーザのユーザ情報。
RPT_ITR_Session	キャンペーン ID	キャンペーン ID	nvarch ar (null)	キャンペーン ID は、受信 SMS が受信されます。
RPT_ITR_Session	連絡先 ID	連絡先 ID	int(nul l)	入ってくるメスセージが受け取られる唯一のコンタクト ID。
RPT_ITR_Session	テナント ID	テナント ID	int(nul l)	テナント ID 新しいテナントが作成される際にアプリケーションによって自動的に生成されます。
RPT_ITR_Session	サブテナント ID	サブテナント ID	int(nul l)	サブテナント ID 新しいテンアントが作成されるとアプリケーションによって自動生成されます。

アップロードエラー

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
RPT_Error	エラー ID	エラー ID	ビジント (null)	このエラーに対して自動生成されるエラー ID。
RPT_Error	エラータイプ	エラータイプ	ンヴァルチャル (32)(無効)	アプリケーションによって発生するエラーの種類です。 以下の値は dis- です。

				プレイ: - 不良 - 無効 - 不一致 - 市外局番 - 優先順位（Priority） - コンタクト・モーメント - BussFldValidation - タイム ゾーン - 無効状態 - DNC は - NDNC - 重複 - 郵便番号 - 連絡失敗 - 訴訟 - BTTC で失敗 - コンプライアンス DNCScrub - 悪い CPT - 悪い PEWC
RPT_Error	説明	説明	ンヴァルチャル (255)(null)	エラーの説明。
RPT_Error	エラータイム	エラータイム	デートタイム (null)	エラーが申請時に報告された日付と時間。
RPT_Error	エラーレコード	エラーレコード	text (null)	エラーレコード – ログに記載されているエラーの詳細。

RPT_Error	アップローダータイプ	アップローダータイプ	char (1)(null)	このエラーを報告したアップローダー(Contact、Global、Scrub、Compliance など)は、いくつかのアップローダータイプです。 以下の数値が表示されています: • U - 自動アップロード

				• W - ウェブサービス経由でアップロード
RPT_Error	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (64)(null)	この誤りを指摘したキャンペーン ID。
RPT_Error	リストティッド	リストティッド	整数 (null)	エラーが関係するリスト ID。
RPT_Error	ファイル ID	ファイル ID	整数 (null)	このエラーが対象となるファイル ID(ファイル経由でアップロードする場合)です。
RPT_Error	ファイル名	ファイル名	ンヴァルチャル (1000)(null)	このエラーを引き起こしたアップロードファイルのファイル名。
RPT_Error	RESERVEDFIELD1	RESERVEDFIELD1	ンヴァルチャル (128)(無効)	将来のために。
RPT_Error	RESERVEDFIELD2	RESERVEDFIELD2	ンヴァルチャル (128)(無効)	将来のために。
RPT_Error	RESERVEDFIELD3	RESERVEDFIELD3	ンヴァルチャル (128)(無効)	将来のために。
RPT_Error	RESERVEDFIELD4	RESERVEDFIELD4	ンヴァルチャル (128)(無効)	将来のために。
RPT_Error	RESERVEDFIELD5	RESERVEDFIELD5	ンヴァルチャル (128)(無効)	将来のために。
RPT_Error	テナント ID	テナント ID	int(null)	新しいテナントが登録された際、申請書によってテナント ID##は自動的に生成されます。
RPT_Error	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID 新しいテナントが作成される際にアプリケーションによって自

				動生成されます。

エラーコードの詳細

エラータイプ	説明	連絡はアップロード/ブロックされていますか?
不良	無効な番号	もう一方のモードが有効であれば、連絡先はアップロードが許可されています。

無効	無効なメールアドレス	もう一方のモードが有効であれば、連絡先はアップロードが許可されています。
不一致	ヘッダーの不一致	ブロック済み
市外局番	市外局番のタイムゾーンは利用できません	連絡先はアップロード許可されています。
優先順位（Priority）	無効な優先度	ブロック済み
コンタクト・モーメント	日付時間のフォーマットは無効です	ブロック済み
BussFldValidation	ビジネスフィールドの検証が失敗します	ブロック済み
タイム ゾーン	無効なタイムゾーン	ブロック済み
無効状態	無効な州名	ブロック済み
DNC は	ビジネス分野は DNC としてマークされています	ブロック済み
DNC は	連絡先は DNC としてマークされています	ブロック済み
DNC は	DNC とマークされたモード	モードがブロックされています
NDNC	連絡先は NDNC としてマークされています	ブロック済み
NDNC	NDNC とマークされたモード	モードがブロックされています
重複	ファイル内の複製	ブロック済み
タイム ゾーン	無効な郵便番号とタイムゾーン	ブロック済み
連絡失敗	すべてのモードが無効であれば	ブロック済み
市外局番	無効な市外局番	もう一方のモードが有効であれば、連絡先はアップロードが許可されています。
市外局番	無効な市外局番による連絡失敗	ブロック済み
モード失敗	無効な市外局番および無効な番号のため連絡に失敗	ブロック済み
InvalidMailCC	無効なメール CC	相手のメールアドレスが有効であれば、連絡先のアップロードが許可されています。
InvalidMailBCC	無効メール BCC	相手のメールアドレスが有効であれば、連絡先のアップロードが許可されています。
リードスコア	無効なリードスコア	ブロック済み
郵便番号	郵便番号が無効または欠落したため、連絡が失敗しました。	ブロック済み

訴訟	訴訟関連の制限やコンプライアンスの問題により接触がフラグ化されました。	ブロック済み
BTTC で失敗	BTTC の検証中に接触が失敗しました。	ブロック済み
コンプライアンス DNCScrub	コンタクトは「電話禁止(DNC)」のスクラブのコンプライアンスチェックに失敗しました。	ブロック済み
悪い CPT	無効な CPT による接触失敗	ブロック済み

悪い PEWC	不良の PEWC による接触不良	ブロック済み

注:エラーレコードはアーカイブおよびパージプロセスによって削除されます。 保持期間は設定可能です。

アップロード履歴

出典表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_Campaign_グループ	キャンペーングループ	キャンペーングループ	ンヴァルチャ-R (64) (null)	連絡先がアップロードされたカム・ペイングループの名前。
RPT_AE_キャンペーン	キャンペーン ID	キャンペーン ID	整数 (64)(無効ではない)	連絡先の ID がアップロードされました。
RPT_AE_リストインフォ	ListStartDate	ListStartDate	デートティム (null)	リストの開始日
OBD_HD_アップロードヒストリー	ChildListID	ChildListID	int(null)	子リスト ID アップロード時の適用によって生成されます。
OBD_HD_アップロードヒストリー	アップロード失敗	アップロード失敗	int(null)	アップロードに失敗した連絡先の数。

OBD_HD_アップロードヒストリー	Contact-sBlockedINCorporateDNC	Contact-sBlockedINCorporateDNC	int(null)	企業 DNC のせいでブロックされた連絡先の数。
OBD_HD_アップロードヒストリー	連絡先ブロックされたINNDNC	連絡先ブロックされたINNDNC	整数(null)	接触がブロックされた数

				NDNC 企業の記録。
OBD_HD_アップロードヒストリー	連絡先 アップロード済み	連絡先 アップロード済み	整数 (null)	アップロードされた連絡先の数。
OBD_HD_アップロードヒストリー	重複連絡先	重複連絡先	整数 (null)	重複する連絡先の数。
OBD_HD_アップロードヒストリー	リスト	リスト	整数 (null)	リスト ID 生成応用によって。
OBD_HD_アップロードヒストリー	ModeFailedToUpload	ModeFailedToUpload	int(null)	モードの失敗により連絡先数がアップロードに失敗しました。
OBD_HD_アップロードヒストリー	ModesB-lockedINCorporate DNC	ModesB-lockedINCorporate DNC	ンヴァルチャ-R (null)	企業 DNC のせいでブロックされた連絡先の数。
OBD_HD_アップロードヒストリー	ModesBlockedINNDNC	ModesBlockedINNDNC	ンヴァルチャ-R (null)	企業 DNC のせいでブロックされた連絡先の数。
OBD_HD_アップロードヒストリー	レポートタイム	レポートタイム	ダット・エタイム (null)	レポートが作成された日付と時間。

OBD_HD_アップロードヒストリー	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテンアント ID 自動生成 新しい 10 の適用によって-

				アントはクレーテッド(発信された)。
OBD_HD_アップロードヒストリー	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナント ID 新しい 10 匹のアリが生まれた際に適用によって自動的に生成されます。
OBD_HD_アップロードヒストリー	TotalContacts 処理済み	TotalContacts 処理済み	int(null)	アップロードファイルから取得された連絡先の総数
OBD_HD_アップロードヒストリー	アップロードサブタイプ	アップロードサブタイプ	ンヴァルチャ-R (1)(null)	アップロードサブタイプです。 新しいファイルの場合は N、すでに利用可能なファイルの更新は U、別のファイルのコピーの場合は C です。
OBD_HD_アップロードヒストリー	アップロード時間	アップロード時間	ダット・エタイム	アップロードの日時。

			(null)	
OBD_HD_アップロードヒストリー	アップロードタイプ	アップロードタイプ	ンヴァルチャ-R (12)(null ではない)	アップロードタイプ (JSON 、API、（以下、同様）
OBD_HD_アップロードヒストリー	ModeB-lockedInComplianceDNC	ModeB-lockedInComplianceDNC	int(null)	「Do Not Call(DNC)規則の遵守により、モードがブロックされていることを示します。」と

				おめでとう。
OBD_HD_アップロードヒストリー	連絡先 B-ロックされたコンプライアンス DNC	連絡先 B-ロックされたコンプライアンス DNC	int(null)	DNC の遵守により接触数がブロックされました。
OBD_HD_アップロードヒストリー	モード B でロックされたコンプライアンス訴訟	モード B でロックされたコンプライアンス訴訟	int(null)	訴訟規則への対応により、そのモードがブロックされていることを示します。
OBD_HD_アップロードヒストリー	連絡先 B-ロックされたコンプライアンス訴訟	連絡先 B-ロックされたコンプライアンス訴訟	int(null)	訴訟遵守のため接触数がブロックされました。
OBD_HD_アップロードヒストリー	src 詳細	src 詳細	ンヴァルチャ-R (512)(null)	アップロードに関する情報源や追加情報。
OBD_HD_アップロードヒストリー	アップロード期間	アップロード期間	時刻 (7)(null)	アップロードされたコンテンツの長さに関係しています。
OBD_HD_アップロードヒストリー	UpdatedListID	UpdatedListID	int(null)	アップロードに関連する更新リストの ID。
OBD_HD_アップロードヒス	更新された連絡先	更新された連絡先	int(null)	アップロード時に更新された連絡先

トリー				の数。
OBD_HD_アップロードヒストリー	プロフィール名	プロフィール名	ンヴァルチャ-R (512)	関連するプロファイルの名前

			(null)	アップロード時のことです。

スクラブリスト情報

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
RPT_AE_SCrubListInfo	スクラブリスト ID	スクラブリスト ID	int(null)	リストがアップロードされる際に、スクラブリスト ID は適用によって自動的に生成されます。
RPT_AE_SCrubListInfo	キャンペーン ID	キャンペーン名	ンヴァルチャル(64)(null)	このリストがアップロードされているキャンペーン名。
RPT_AE_SCrubListInfo	出典詳細	出典詳細	ンヴァルチャル(512)(null)	アップロードファイル名と拡張子付きです。
RPT_AE_SCrubListInfo	ソースタイプ	ソースタイプ	ンヴァルチャル(8)(null)	ファイルのソースタイプ。いくつかの val-ue は Web の W、Media の M、ファイルの F、List の L です。
RPT_AE_SCrubListInfo	処理時間	処理時間	datetime(null)	連絡ファイルがプロセッシングのために取得された日付と時間。

RPT_AE_SCrubListInfo	スクラブ詳細	スクラブ詳細	ンヴァルチャル (4000)(null)	拡張子付きのアップロードスクラブファイル名
RPT_AE_SCrubListInfo	スクラブステータス	スクラブステータス	int(null)	成功、失敗、プロセッシングなどのスクラブステータスです。
RPT_AE_SCrubListInfo	テナント ID	テナント ID	整数 (null)	テナント ID はアプリケーションによって自動生成されます。

				新しいテナントが作成される場合のことです。
RPT_AE_SCrubListInfo	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID 新しいテンアリが作成されるとアプリケーションによって自動生成されます。

非コール活動

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
RPT_NonCallActivity	ID	ID	ビジント (null ではない)	この表の各エントリーに対して自動生成された ID。
RPT_NonCallActivity	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (64)(null)	この非コール活動のためのキャンペーン ID。
RPT_NonCallActivity	連絡先 ID	連絡先 ID	整数 (null)	この非通話活動の連絡先 ID。
RPT_NonCallActivity	モードアイド	モードアイド	整数 (null)	この非通話活動が発生したモード ID。
RPT_AE_Modes	モードネーム	モードネーム	ンヴァルチャル (50)(null ではない)	この非通話活動のモード名。
RPT_NonCallActivity	リスト ID	リスト ID	整数 (null)	連絡先が属するリスト ID。

RPT_NonCallActivity	連絡先バージョン	連絡先バージョン	int(nul l)	この連絡は、非通話活動時の連絡先バージョンです。 これは連絡先ステータスが何回修正されたかを示しています。
RPT_NonCallActivity	バススフル d26	バススフル d26	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネス分野 26 の説明 – ユニークなビジネス

				フィールド。
RPT_NonCallActivity	バススフル d27	バススフル d27	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネス分野 27 – 追加のビジネス分野の説明。
RPT_NonCallActivity	バススフル d28	バススフル d28	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネス分野 28 – 追加のビジネス分野の説明。
RPT_NonCallActivity	バススフル d29	バススフル d29	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネス分野 29 – 追加のビジネス分野の説明。
RPT_NonCallActivity	バススフル d30	バススフル d30	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネス分野 30 – 追加ビジネス分野の説明。
RPT_NonCallActivity	Status（ステータス）	Status（ステータス）	ヴァルチャー (6)(ヌル)	各連絡先の連絡先ステータスは、変更ごとに表示されます。
RPT_NonCallActivity	ステータス理由 ID	ステータス理由 ID	整数 (null)	連絡先ステータス変更の自動生成 ID。
RPT_AE_ 連絡先、ステータス、理由	ステータス理由	ステータス理由	ンヴァルチャル (128)(無効)	これがコンタクトステータスの変更の理由です。 例えば、連絡先が「ロック」状態になることがあります。このアプリケーションは PCB や CSS、AEM の配達に使えるよう固定されていたはずです コール。

RPT_NonCallActivity	有効モード	有効モード	ンヴァルチャル (256)(無効)	この非通話活動の有効なモードです。
RPT_NonCallActivity	CreatedDateTime	CreatedDateTime	デートタイム (null)	この記録が表に記載された日付と時間。
RPT_NonCallActivity	テナント ID	テナント ID	整数 (null)	テナント ID は

				新しい入居者が契約された際の申請。
RPT_NonCallActivity	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID は新しいテナントが登録された際にアプリケーションによって自動的に生成されます。
RPT_NonCallActivity	ルールネーム	ルールネーム	ンヴァルチャル (128)(無効)	コンタクト配信がブロックされたコンプライアンスグループ内のルール名。
RPT_NonCallActivity	コンプリアンスグループ	コンプリアンスグループ	ンヴァルチャル (128)(無効)	コンタクト配信がブロックされたコンプライアンスグループの名前。

RPT_NonCallActivity	説明	説明	ンヴァルチャル (128)(無効)	エラーや失敗メッセージ、または接触ブロックの理由を定義します。フォルローイングはエラーや失敗のmes-sage(誤りや失敗)のリストです。 - StateLaw モードレベルのタイミングチェックに失敗しました。 ルール名は捕獲できません。 - StateLaw モードが無効化されました。 ルール名は捕獲できません。 - CPT DayOfWeek 失敗 - 再評価。 ルール名はできません

				捕まるのだ。 - CPT タイム失敗 - 再調整。 ルール名は捕獲できません。 - 強化グリーンゾーンタイムゾーンランタイムの評価が失敗しました。 ルール名は捕獲できません。 - 強化グリーンゾーンタイムゾーン評価失敗。ルール名は捕獲できません。 - 強化グリーンゾーン 州法 ホリデーは失敗しました。 ルール名は捕獲できません。 - 強化グリーンゾーン州法の時間評価に失敗しました。 ルール名は捕獲できません。 - ルール失敗

				- 密接接触。 ルール名はキャプチャ可能です。

				• ルール違反 - 再スケジュール。 ルール名はキャプチャー可能です。 • ルール失敗 - 自動再停止。 ルール名はキャプチャ可能です。 • すでに記録は結果を待って届けられています。 ルール名はキャプチャ可能です。

RPT_NonCallActivity	郵便番号属性	郵便番号属性	ンヴァルチャル	郵便番号関連の属性を JSON 形式で保存し、主な郵便番号、追加の郵便番号、特定のモードに関連する郵便番号などが含まれます。 *{* *「郵便番号」:「001」、「追加郵便番号」: [* *"3333",* *"5455",* *"66546",* *"323",* *"566"* *],* *「ModeZipCode」: [* *{* *「ModeID」:3、「郵便番号」:「876」* *},* *{* *「ModeID」:2、「郵便番号」:「9876」* *}* *]* *}*
RPT_NonCallActivity	AgentID	AgentID	Nvarchar(200)	これにより、システムはエージェントの一意識別子を保存できます。
RPT_NonCallActivity	モード属性	モード属性	Nvarchar(Max)	これは複数のアクティビティモードの詳細(ModeId や ModeValue など)を JSON 形式で保存するために使われます。

連絡先ビジネスデータ

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明

RPT_Contact_Bussi-nessData	ID	ID	BiInt(null ではない)	この表のエントリの自動生成 ID。
RPT_Contact_Bussi-nessData	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (64)(null)	この非コール活動のためのキャンペーン ID。
RPT_Contact_Bussi-nessData	連絡先 ID	連絡先 ID	整数 (null)	この非コール活動の連絡先 ID。
RPT_Contact_Bussi-nessData	リスト ID	リスト ID	整数 (null)	連絡先が属しているリスト ID。
RPT_Contact_Bussi-nessData	連絡先バージョン	連絡先バージョン	int(null)	この契約の連絡は、非通話時の有効性です。 これは con-(の con-) の回数を示します。

				戦術ステータスが改訂されました。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バスフルド 1	バスフルド 1	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネス分野 1 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d2	バススフル d2	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネス分野 2 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d3	バススフル d3	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネス分野 3 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d4	バススフル d4	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネス分野 4 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフルド 5	バススフルド 5	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネス分野 5 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフルド 6	バススフルド 6	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネス分野 6 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d7	バススフル d7	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネスフィールド 7 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフルド 8	バススフルド 8	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネス分野 8 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフルド 9	バススフルド 9	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネスフィールド 9 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d10	バススフル d10	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネス分野 10 の説明。

RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフルド 11	バススフルド 11	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネスフィールド 11 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d12	バススフル d12	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネスフィールド 12 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d13	バススフル d13	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネスフィールド 13 の説明。

RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d14	バススフル d14	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネスフィールド 14 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d15	バススフル d15	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネスフィールド 15 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d16	バススフル d16	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネスフィールド 16 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d17	バススフル d17	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネスフィールド 17 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d18	バススフル d18	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネスフィールド 18 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d19	バススフル d19	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネス分野 19 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d20	バススフル d20	ンヴァルチャル (128)(無効)	ビジネスフィールド 20 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	Bussfld21	Bussfld21	ンヴァルチャル (マックス)(null)	ビジネスフィールド 21 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d22	バススフル d22	ンヴァルチャル (マックス)(null)	ビジネス分野 22 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d23	バススフル d23	ンヴァルチャル (マックス)(null)	ビジネスフィールド 23 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	Bussfld24	Bussfld24	ンヴァルチャル (マックス)(null)	ビジネスフィールド 24 の説明です。

RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d25	バススフル d25	ンヴァルチャル (マックス)(null)	ビジネスフィールド 25 の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d26	バススフル d26	ヌヴァル チャー(最 大)(ヌル)	ビジネス分野 26 の説明 – ユニークなビジネス分野。

RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d27	バススフル d27	ヌヴァルチャー(最大)(ヌル)	ビジネス分野 27 の説明 – 追加のビジネス分野。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d28	バススフル d28	ヌヴァルチャー(最大)(ヌル)	ビジネス分野 28 – 追加ビジネス分野の説明。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d29	バススフル d29	ヌヴァルチャー(最大)(ヌル)	ビジネス分野 29 – 追加のビジネス分野の説明です。
RPT_Contact_Bussi-nessData	バススフル d30	バススフル d30	ヌヴァルチャー(最大)(ヌル)	ビジネス分野 30 – 追加のビジネス分野の説明です。
RPT_Contact_Bussi-nessData	連絡先詳細	連絡先詳細	ヌヴァルチャー(最大)(ヌル)	この列には連絡先情報が XML データ形式として含まれており、ダイヤラーに送られます。 例えば、名前、苗字、連絡先番号などです。
RPT_Contact_Bussi-nessData	修正者	修正者	ンヴァルチャル (128)(無効)	このエントリを最後に更新したエンティティのユーザ ID です。

RPT_Contact_Bussi-nessData	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナント ID 新しいテナントが作成された際に適用によって自動的に生成されます。
RPT_Contact_Bussi-nessData	サブテナント ID	サブテナント ID	整数	サブテナント ID 自動-

			(null)	新しいテンアリが作成されるときにアプリケーションによって生成されます。
RPT_Contact_Bussi-nessData	ラストアクセス時間	ラストアクセス時間	datetime(null)	連絡先が最後にアクセスされた日時。

リストアップロード

出典表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_リストインフォ	リストタイプ	リストタイプ	ンヴァルチャ-R (10) (null)	リストの種類。 APIでアップロードするのか、ファイルでアップロードされるのかを定義します。
RPT_AE_リストインフォ	リストティッド	リストティッド	int(null)	リスト ID このリストの適用によって自動的に生成されます。
RPT_AE_リストインフォ	開始時間	開始時間	ダット・エタイム (null)	リストのアップロードが始まった日付と時間。

RPT_AE_リストインフォ	終焉	終焉	ダット・エタイム (null)	リストのアップロード完了日時。
RPT_AE_リストインフォ	記録が挿入された	記録が挿入された	Biint (null)	このリストからアップロードされたレコードの数。
RPT_AE_リストインフォ	記録は失敗しました	記録は失敗しました	ビジント (null)	失敗した記録の数

				このリストからアップロードしてください。
RPT_AE_リストインフォ	記録 SDNC	記録 SDNC	Biint (null)	このリストの DNC 記録の数。
RPT_AE_リストインフォ	記録の重複	記録の重複	Biint (null)	このリストからの重複レコードの数。
RPT_AE_リストインフォ	記録はクルーブされた	記録はクルーブされた	Biint (null)	このリストから削除された連絡先の数
RPT_AE_リストインフォ	ソースタイプ	ソースタイプ	ヴァルチャー (18) (null ではない)	ファイルのソースタイプ。 いくつかの値は、W が Web、M が Media、F がファイル、L がリストです。
RPT_AE_リストインフォ	ユーザ ID	ユーザ ID	ヴァルチャー (50) (null)	コンタクトをアップロードしたユーザの名前です。
RPT_AE_リストインフォ	所在地	所在地	ンヴァルチャ-R (32) (null)	処理されるファイルが置かれる場所です。

RPT_AE_リストインフォ	レコード移動	レコード移動	Biint (null)	このリストからレコードの数が変更されました。
RPT_AE_リストインフォ	リストストップフラグ	リストストップフラグ	bit (null)	リストがの中であることを示すフラグ

				止まった状態。
RPT_AE_リストインフォ	ListStartDate	ListStartDate	ダット・エタイム (null)	このリストから入力される日付と時間は、キャンペーンへのアップロード開始にあたります。
RPT_AE_リストインフォ	リストストップデート	リストストップデート	ダット・エタイム (null)	リストが停止された日時。
RPT_AE_リストインフォ	GlobalListID	GlobalListID	Biint (null)	リスト ID 生成グローバルアップロードのために配置された各リストの適用によって。
RPT_AE_リストインフォ	リストステータス	リストステータス	int(null)	成功、失敗、エラーなどのリストの状態も表示されます。
RPT_AE_リストインフォ	リスト処理日	リスト処理日	ダット・エタイム (null)	連絡ファイルがプロセッシングのために取得された日付と時間。

RPT_AE_リストインフォ	ListTimeToLive	ListTimeToLive	int(null)	リストが有効になってからの contact のアップロードができない日数は、このリストからアップロードできない日数です

				リスト。
RPT_AE_リストインフォ	TTLBusinessDays(タイムリーズ・バウティネス・デイズ)	TTLBusinessDays(タイムリーズ・バウティネス・デイズ)	ビット (null)	リストの「生存時間」が営業日で計算されているかどうかを示すフラグです。
RPT_AE_リストインフォ	TotalRecordsGoingToProcessed	TotalRecordsGoingToProcessed	int(null)	アップロード可能なレコードの総数。
RPT_AE_リストインフォ	ユニークタイムゾーン	ユニークタイムゾーン	ンヴァルチャ-R (128) (null)	これはリストがユニークなタイムゾーンでアップロードされているかどうかを定義します。 接触はコンタクトタイムゾーンに従って処理されます。
RPT_AE_リストインフォ	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナント ID 新しい 10 匹のアリが生まれた際に適用によって自動的に生成されます。

RPT_AE_リストインフォ	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテンアント ID 自動生成適用によって新しい十アリが誕生します。
RPT_AE_アップロードする-	アップロードタイプ	アップロードタイプ	ヴァルチャー	アップロードタイプは

トーリー党			(17) (nul l で は な い)	JSON, API,（以下、同様）
RPT_AE_アップロードヒストリー	アップロードサブタイプ	アップロードサブタイプ	varchar (26) (nul l で は な い)	アップロードサブタイプです。値の分別は、新しいファイルに対して N、すでに利用可能なファイルを更新するための U、そして他のファイルのコピーであれば C です。
RPT_AE_アップロードヒストリー	最終アクセス日	最終アクセス日	ダット・エタイム (null)	テーブルが最後に修正された日時。
RPT_AE_アップロードヒストリー	ChildListID	ChildListID	int(n ull)	子リスト ID はこのリストの適用によって自動生成されます。
RPT_AE_アップロードヒストリー	ModeB-lockedInComplianceDNC	ModeB-lockedInComplianceDNC	int(n ull)	DNC によって妨げられているモードは必要です。

RPT_AE_アップロードヒストリー	連絡先 B-ロックされたコンプライアンス DNC	連絡先 B-ロックされたコンプライアンス DNC	int(null)	NDNC によって遮断されているモード 必要条件。
RPT_AE_アップロードヒストリー	モード B でロックされたコンプライアンス訴訟	モード B でロックされたコンプライアンス訴訟	int(null)	訴訟によって妨げられる手段は、必要条件です。

RPT_AE_アップロードヒストリー	連絡先 B-ロックされたコンプライアンス訴訟	連絡先 B-ロックされたコンプライアンス訴訟	int(null)	訴訟によってブロックされている接触の数は必要です。
RPT_AE_アップロードヒストリー	出典詳細	出典詳細	ンヴァルチャ-R (512) (null)	アップロードファイル名は exten-sion で。
RPT_AE_アップロードヒストリー	プロフィール名	プロフィール名	ンヴァルチャ-R (512) (null)	連絡先がアップロードされたプロフィール。
RPT_AE_アップロードヒストリー	UpdatedListID	UpdatedListID	int(null)	更新されたリスト ID は申請によって生成されます。
RPT_AE_アップロードヒストリー	アップロード期間	アップロード期間	知力 (7) (null)	申請がリストのアップロードを完了するのにかかる時間。

リスト情報

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
RPT_AE_Cam-paign	キャンペーン ID	キャンペーン名	ンヴァルチャル (64)(無効ではない)	このリストがアップロードされているキャンペーン名。

RPT_AE_ リストインフォ	リストティッド	リストティッド	int(nul l)	リスト ID このリストのアプリケーションによって自動生成されます。
RPT_AE_	ListStartDate	ListStartDate	デートタイム	日付と

リストインフォ			(null)	このリストからキャンペーンへのアップロードが始まった時間。
RPT_AE_リストインフォ	リストステータス	リストステータス	ンヴァルチャル (18)(無効ではない)	リストの状態、例えば継承、失敗、エラーなど。
RPT_AE_リストインフォ	GID	GID	int(null)	リスト ID は、グローバルアップロードのために配置された各リストごとにアプリケーションによって生成されます。
RPT_AE_リストインフォ	挿入時間	挿入時間	デートタイム (null)	レコードが挿入される日付時刻
RPT_AE_リストインフォ	出典	出典	ンヴァルチャル (512)(null)	拡張子付きのアップロードファイル名
RPT_AE_リストインフォ	ListStartDateTime	ListStartDateTime	datetime(null)	このリストの連絡先がキャンペーンへのアップロードを始めた具体的な日付と時間
RPT_AE_リストインフォ	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナント ID 新しいテナントが作成された際に適用によって自動的に生成されます。

RPT_AE_リストインフォ	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID 新しいテンアリが作成されるとアプリケーションによって自動生成されます。

グローバルアップロード

出典表	列名	表示名	データタイプ	説明
RPT_AE_GUActivity	GlobalListID	GlobalListID	整数 (nullではない)	ID 生成されたリストグローバルアップロードのために配置された各リストの適用によって。
RPT_AE_GUActivity	グローバルファイルネーム	グローバルファイルネーム	ンヴァルチャ-R (1024) (null)	アップロード用に設定されたファイル連絡先の名前。
RPT_AE_GUActivity	Status（ステータス）	Status（ステータス）	ンヴァルチャ-R (16) (nullではない)	アップロードファイルの状態、成功、エラーなど
RPT_AE_GUActivity	処理時間	処理時間	ダット・エタイム (nullでは	連絡先ファイルがプロセッシングのために取られた日時

			ない)	
RPT_AE_GUActivity	エラー説明	エラー説明	ンヴァルチャ-R (マックス) (null)	アップロードされていない接続の場合の誤りの説明。例えば、失敗した場合です。
RPT_AE_GUActivity	トータルレコード	トータルレコード	Biint (null)	アップロードされたレコードの総数

				連絡先リストから。
RPT_AE_GUActivity	バッド・レコード	バッド・レコード	Biint (null)	連絡先リストからアップロードできなかった不良記録の数。
RPT_AE_GUActivity	アン・マッチド・レコード	アン・マッチド・レコード	Biint (null)	つまり、どのカメラにもアップロードできなかったレコードの総数は一致しないまま残った。
RPT_AE_GUActivity	キャンペーンレベルレコーズ	キャンペーンレベルレコーズ	ンヴァルチャ-R (マックス) (null)	このアップロードを通じて各カメラにアップロードされた記録の総数。
RPT_AE_GUActivity	アップロード済みファイル名	アップロード済みファイル名	ンヴァルチャ-R (700) (null)	アップロード用に置かれたファイル名。
RPT_AE_GUActivity	リストステータス	リストステータス	ンヴァルチャ-R (16) (null)	リストのステータス、継承、失敗、エラーなど

RPT_AE_GUActivity	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナント ID 新しい十アリが生まれたときに適用によって自動的に生成されます。

				年齢を失った。
RPT_AE_GUActivity	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテンアント ID 自動生成適用によって新しい十アリが誕生します。
RPT_AE_アップロードヒストリー	アップロード時間	アップロード時間	ダット・エタイム (null)	連絡先がアップロードされた日時。
RPT_AE_アップロードヒストリー	TotalContacts 処理済み	TotalContacts 処理済み	int(null)	アップロードが進んだ連絡先の総数。
RPT_AE_アップロードヒストリー	連絡先 アップロード済み	連絡先 アップロード済み	int(null)	各カムにアップロードされた連絡先の総数。
RPT_AE_アップロードヒストリー	アップロード失敗	アップロード失敗	int(null)	失敗し、どのカメラにもアップロードされなかった連絡先の合計数。
RPT_AE_アップロードヒストリー	重複連絡先	重複連絡先	int(null)	重複した連絡先の総数。

RPT_AE_アップロードヒストリー	連絡先ブロックイン NDNC	連絡先ブロックイン NDNC	int(null)	全国連絡禁止協議によってブロックされた連絡の総数は -

				具象。
RPT_AE_アップロードヒストリー	Contact-sBlockedInCorporateDNC	Contact-sBlockedInCorporateDNC	int(null)	このエントリープライズによってブロックされた接触の総数は、接触禁止の構成条件に基づいています。
RPT_AE_アップロードヒストリー	ModesBlockedInNDNC	ModesBlockedInNDNC	int(null)	これらのモードは「電話禁止」の仕様により連絡先アップロードがブロックされました。
RPT_AE_アップロードヒストリー	ModesBlockedInCorporateDNC	ModesBlockedInCorporateDNC	int(null)	これらのモードは、企業による連絡アップロードを禁止しています。これは「電話禁止」の規定によりです。
RPT_AE_アップロードヒストリー	更新された連絡先	更新された連絡先	int(null)	アップロード関数を用いて更新された連絡先の数。

RPT_AE_アップロードヒストリー	アップロードタイプ	アップロードタイプ	ヴァルチャー (17) (nullではない)	アップロードタイプ (JSON 、API、（以下、同様）
RPT_AE_アップロードヒストリー	アップロードサブタイプ	アップロードサブタイプ	varchar (26) (nullではない)	アップロードサブタイプです。 値は ***N*** 新しいファイルの場合、 ***U*** 更新のための

				すでに利用可能なファイルであり、C もしそれが別のファイルのコピーであれば。
RPT_AE_アップロードヒストリー	最終アクセス日	最終アクセス日	ダット・エタイム (null)	テーブルが最後に修正された日時。
RPT_AE_アップロードヒストリー	ChildListID	ChildListID	int(null)	子リスト ID はこのリストの適用によって自動生成されます。
RPT_AE_アップロードヒストリー	ModeB-lockedInComplianceDNC	ModeB-lockedInComplianceDNC	int(null)	DNC によって妨げられているモードは必要です。
RPT_AE_アップロードヒストリー	連絡先 B-ロックされたコンプライアンス DNC	連絡先 B-ロックされたコンプライアンス DNC	int(null)	NDNC によって遮断されているモード 必要条件。
RPT_AE_アップロードヒストリー	モード B でロックされたコンプライアンス訴訟	モード B でロックされたコンプライアンス訴訟	int(null)	訴訟によって妨げられる手段は、必要条件です。

RPT_AE_アップロードヒストリー	連絡先 B-ロックされたコンプライアンス訴訟	連絡先 B-ロックされたコンプライアンス訴訟	int(null)	訴訟によってブロックされている接触の数は必要です。
RPT_AE_アップロードヒストリー	出典詳細	出典詳細	ンヴァルチャ-R	アップロードファイル名にexten-がついています。

			(512) (null)	シオン。
RPT_AE_アップロードヒストリー	プロフィール名	プロフィール名	ンヴァルチャ-R (512) (null)	連絡先がアップロードされたプロフィール。
RPT_AE_アップロードヒストリー	UpdatedListID	UpdatedListID	int(null)	更新されたリストIDは申請によって生成されます。
RPT_AE_アップロードヒストリー	アップロード期間	アップロード期間	時間 (7) (null)	申請がリストのアップロードを完了するのにかかる時間。
RPT_AE_GUActivity	CreatedTime	CreatedTime	ダット・エタイム (null ではない)	記録やリストが作成された日付と時間。
RPT_AE_GUActivity	バススフル d26	バススフル d26	ヴァルチャー (1)(null ではない)	ビジネス・特殊・市民用フィールド 26 用。
RPT_AE_GUActivity	バススフル d27	バススフル d27	ヴァルチャー (1)(null ではない)	ビジネス・特殊・市民・フィールド 27 用に予約。

RPT_AE_GUActivity	バススフル d28	バススフル d28	ヴァルチャー (1)(null ではない)	ビジネス・特殊・シフィック・フィールド 28 用に予約。
RPT_AE_GUActivity	バススフル d29	バススフル d29	ヴァルチャー (1)(null ではない)	ビジネス・特殊・シフィック・フィールド 29 用に予約。
RPT_AE_GUActivity	バススフル d30	バススフル d30	ヴァルチャー (1)(null ではない)	ビジネス・特殊・市民・フィールド 30 用に予約。

RPT_AE_GUActivity	有効モード	有効モード	ヴァルチャー (1)(nullではない)	リストまたは操作に適用される有効なモードを示します。
RPT_AE_GUActivity	連絡先バージョン	連絡先バージョン	ヴァルチャー (1)(nullではない)	プロセスされたコンタクトまたはリストのバージョンを表します。

コールトレース

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
RPT_GU_Error	エラー ID	エラー ID	ビジント (null)	このエラーに対して自動生成エラー ID。
RPT_GU_Error	エラータイプ	エラータイプ	ンヴァルチャル (32)(無効)	アプリケーションによって発生するエラーの種類です。
RPT_GU_Error	説明	説明	ンヴァルチャル (255)(null)	エラーの説明。
RPT_GU_Error	エラータイム	エラータイム	datetime(null)	エラーが申請書で報告された日時。
RPT_GU_Error	エラーレコード	エラーレコード	テキスト (null)	エラー記録、ログに記載されているエラーの詳細です。

RPT_GU_Error	アップローダータイプ	アップローダータイプ	char (1)(null)	このエラーを報告したアップローダー(Contact、Global、Scrub、Compliance など)は、いくつかのアップローダータイプです。

RPT_GU_Error	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (64)(null)	このエラーを報告したキャンペーン ID。
RPT_GU_Error	リストティッド	リストティッド	整数 (null)	エラーが関係するリスト ID。
RPT_GU_Error	ファイル ID	ファイル ID	int(nul l)	このエラーが発生しているファイル ID(ファイル経由でアップロードする場合)です。
RPT_GU_Error	ファイル名	ファイル名	nvarchar (1000) (null)	このエラーを引き起こしたアップロードファイルのファイル名。
RPT_GU_Error	RESERVEDFIELD1	RESERVEDFIELD1	ンヴァルチャル (128)(無効)	将来のために。
RPT_GU_Error	RESERVEDFIELD2	RESERVEDFIELD2	ンヴァルチャル (128)(無効)	将来のために。
RPT_GU_Error	RESERVEDFIELD3	RESERVEDFIELD3	ンヴァルチャル (128)(無効)	将来のために。
RPT_GU_Error	RESERVEDFIELD4	RESERVEDFIELD4	ンヴァルチャル (128)(無効)	将来のために。
RPT_GU_Error	RESERVEDFIELD5	RESERVEDFIELD5	ンヴァルチャル (128)(無効)	将来のために。
RPT_GU_Error	テナント ID	テナント ID	int(nul l)	テナント ID 新しいテナントが作成された際に適用によって自動的に生成されます。

RPT_GU_Error	サブテナント ID	サブテナント ID	int(nul l)	サブテナント ID 新しいテンアントが作成されるとアプリケーションによって自動生成されます。
RPT_GU_Error	ファイルヘッダー	ファイルヘッダー	ンヴァルチャル (マックス)(null)	ファイルのヘッダー情報。

コールトレース

出典表	列名	表示名	ディスプレイタイプ	説明	プラットフォーム
AECallTrace	カリド	[CALL ID]	ヌヴァルク・ハール (38) (null)	「コール ID は内部接触者を参照して活動を追跡するための対象です。 例えば、連絡先選択から再スケジュール/レポートまでの経過を追跡するために。」	すべて（All）
AECallTrace	キャンペーングループ	キャンペーングループ	ヌヴァルク・ハール (64) (null)	これはキャンペーンがマッピングされるキャンペーングループです。	すべて（All）
AECallTrace	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ヌヴァルク・ハール (64) (null)	これがキャンペーン名です。例えば、コレクションです。	すべて（All）
AECallTrace	グローバルリスト	グローバリスト ID	Biint (null)	これはシステムにアップロードされたすべてのグローバルリストの実行中のシリアル番号です。	すべて（All）

AECallTrace	コンタクト ID	連絡先 ID	整数 (null)	キャンペーン内の連絡先の一意識別子。	すべて（All）
AECallTrace	リストティッド	[LIST ID]	int(null)	これはキャンペーンへの直接アップロード時に生成されるランニングシリアル番号です。	すべて（All）
AECallTrace	コンタクトストラテジーナ・ミー	コンタクト戦略名	ヌヴァルク・ハール (64) (null)	この接触戦略は現在の試みにも適用されました。	すべて（All）
AECallTrace	コンディショナル	コンディショナル	ビジント (null)	CSS 条件の内部 ID	すべて（All）

				連絡先の選択時に。	
AECallTrace	挿入時間	挿入時間	ダット・エタイム (null)	この記録が報告データベースに記録された日付と時間。	すべて（All）
AECallTrace	会話終章-E	会話終章-E	ダット・エタイム (null)	この時間帯にLCMContactRes-cheduler サービスによって通話が再スケジュールされます。この時間はCallActivity テーブルに挿入されます。	すべて（All）
AECallTrace	モデイド	モデイド	整数 (null)	これがコンタクトの接触モード ID です。	すべて（All）
AECallTrace	アウトコム	アウトコム	int(null)	通話時のダイヤラーまたはエージェントが設定する通話結果。 それは電話による結果でも、ビジネスでも、	すべて（All）
AECallTrace	CONNECTEDAGENT	ConnectedAgent	ヌヴァルク・ハール (64) (null)	これは通話試行を担当したエージェント名を示します。	すべて（All）
				ダイヤルモードフィールドは、通話のキャンペーンモードを示す値を入力しま	すべて（All

AECallTrace	ペーシングモード	ペーシングモード	int(null)	す。	）
				以下のペーシングモードは Cisco CCE および Cisco CCX に適用可能です	Cisco CCE, Cisco CCX
				1 は予測のみ	
				予測ブレンデッドの 2	
				3 はプレビューのみ	
				プレビュー 4 件、ブレンの-	

				ded	
				5 はプログレッシブのみ	
				プログレッシブ・ブレンデッドは 6	
				7 は直接プレビュー専用	
				ダイレクトプレビューのブレンデッドは 8 点。	
				他のプラットフォームでは、その値は-1 です。	
AECallTrace	目標額	目標額	float(null)	これは、この試みにおける特定のビジネス結果に対する達成されたターゲットの値です。	すべて（All）
AECallTrace	エージェントコメント	エージェントコメント	ヌヴァルク・ハール (4000)(null)	この通話中に担当者が連絡先にコメントを入力します。	すべて（All）
AECallTrace	チャンネルタイプ	チャンネルの種類	int(null)	これはチャンネルタイプです。	すべて（All）
				SMS が 1 つ、VOICE が 2 つ、EMAIL が 3 つ、CPAAS は 4 点、IVR は 0 点です。	
AECallTrace	ダイヤラー結果受信時間	ダイヤラー結果受信時間	ダット・エタイム (null)	この時間帯に通話試行が HDS データベースに記録されます。	Cisco CCE

AECallTrace	チャイルドリスト	チャイルドリスト	int(null)	これは、既にアップロードされたリストにコンタクトが付加される際に割り当てられる ID です。	すべて（All）
AECallTrace	DELIVEREDTYPE(配達タイプ)	納入型	ヴァルチ・アル (32) (null)	これはダイヤラーへのコンタクト配信タイプの性質を表しています。 可能値(pos-sible)は以下の通りです:	すべて（All）

				通常 非 PEWC レギュラー コールバック AEM	
AECallTrace	コールタイプ	コールタイプ	tinyint(null)	通話の種類を記述しています。値は次のいずれかになります。 0 – オープン 1 – コールバック 2– AEM	すべて（All）
AECallTrace	LCMKEY	LCMKEY	ヴァルチ・アル (64) (null)	アカウント番号は、ダイヤラーに連絡が届けられた時点で作成された唯一の番号です。キャンペーン ID、連絡先 ID などを示す 7 つのユニークなアイデンティティ値とパイプのセプアレーターを備えています。	すべて（All）
AECallTrace	実際の配達時間	実際の配達時間	ダット・エタイム (null)	実際にダイヤラーに連絡が届く時間。	すべて（All）

AECallTrace	コールリザーブ期間	コールリザーブ期間	int(null)	アプリケーションはエージェントを通話時間(ミリ秒単位)に予約します。 プレビューモードでは、最後の事前視聴、ダイヤル、CPA の申請、そして通話をエージェントに転送するまでの時間が含まれます。予測モードでは、リザーブされたエージェントが	Cisco CCE

				CUS トーマーに接続する前に切断された場合、この値は NULL となります。なぜなら、エージェントがまだ顧客と関連付けられていないからです。 そのような場合、対応する Ter-mination Call Detail レコードの HoldTime がエージェントの再確認時間を示します。	
AECallTrace	CALLBACK リクエスト edb-y	コールバックリクエスト	ヌヴァルク・ハール (64) (null)	これはコールバックリクエストを登録するエージェントのエージェント ID を表します。	すべて（All）
AECallTrace	コールタイプ	コールバック登録型	int(null)	コールバック登録の際に、エージェントがコールバックの内容を決定します。 可能値(pos-sible)は以下の通りです: CallType =2 の後に「エージェントエグゼクティブマッピング」 CallType = 1 および ScheduledAgent <> 'LCM' – PCB(Per-ソナル・コールバック)	すべて（All）

				CallType = 1 および ScheduledAgent = 'LCM' – NCB (通常のコールバック)	
AECallTrace	CALLBACKATTEMPTTYPE	コールバック試行の種類	ヴァルチ・アル (4) (null)	「ダイヤル試行時の通話タイプ。 Possible の値は次の通りです:CallBack-AttemptType='PCB' 次に「Personal Call-back」CallBack-	すべて（All）

				AttemptType='NCB' の次に「Normal Call-back」	
AECallTrace	RUNNINGCYCLECOUNT	RUNNINGCYCLECOUNT	int(null)	サイクル戦略が用いられる場合、このフィールドには現在のサイクル番号が記載されます。 例えば、コンタクト反復サイクルが第 2 サイクルにある場合、このフィールドには 2 が含まれる。	すべて（All）
AECallTrace	ランニングサイクルコンプリートテッド	ランニングサイクル完了	ビット (null)	フラグは電流サイクルの完了、つまりすべてのモードがダイヤルアウトされていることを示します。	すべて（All）
AECallTrace	現在のリードスコア	現在のリードスコア	整数 (null)	エージェントはリードスコアの値を割り当てます。	すべて（All）
AECallTrace	ダイヤラー参照 ID	ダイアラー参照 ID	ヴァルチ・アル (64)	ダイヤラープラットフォームはこの通話 ID または通話 ID を生成します。 ダイヤラー、特殊、シフィックフィールドが含まれています。 Avaya POM:EnrichedAttemptEvent の pimSessionID で POM が割り当てた自動生成の ID。	すべて（All）

			(null)	Cisco CCE: ダイヤラーテーブルの Call GUID フィールドの値。 Amazon Connect:これはダイヤラーによって生成される通話 UUID(ユニバーサル・ユニーク・アイデンティズ)です。 Twilio Flex:これはダイヤラーによって生成される CallSID です。 素敵な CXone:その	

				NICE Contact ID Nice CXone アプリケーションによって生成されました。	
OBD_通話アクティビティ	ContactNature	Contact_Nature	ヴァルチ・アル (64) (null)	自然に接触して試みてください。 可能な値は、フレッシュ、再スケジュール、ノーマルコールバック、パーソナルコールバック、AEM-フレッシュ、AEM-再スケジュール、AEM-コールバック、フレッシュモーメント、またはAEM-フレッシュモーメント	すべて（All）
AECallTrace	IDENTITYAUTHENTICATI-ONENABLED	本人確認有効	ビット (null)	これは、Iden-tityAuthentic-ationEnabled フィールドが連絡先に対して有効か無効かを示します。	すべて（All）
AECallTrace	IDENTITYAUTHENTICATI-ONSUCCESS	IDENTITYAUTHENTICATI-ONSUCCESS	ビット (null)	これが、本人認証が成功するかどうかを定義します。	すべて（All）
AECallTrace	CALLPREVIEWDURATIO-N	CALLPREVIEWDURATIO-N	int(null)	エージェントが通話をプレビューし、受付、スキップ、または拒否(クローズ)するのにかかる時	すべて（All）

				間。	
AECallTrace	通話時間変更	通話時間変更	ダット・エタイム (null)	これは次の予定されたコールバックの日時を示します。	すべて（All）
AECallTrace	NEXTSCHEDULEMODEID	NEXTSCHEDULEMODEID	ヌヴァルク・ハール (null)	これはスケッドウルドコールバックのモードを示します。	すべて（All）
AECallTrace	TOTALPRIMARYAUTH	トータルプライマリ認証	int(null)	アイデンティティ認証サービスに送信されたリクエストの総数は、メイクコールを取得するために行われます	すべて（All）

				顧客からの認証(通話前の認証)を行い、その後単一の連絡先にダイヤラーに送ること。 要求はシステム(給電エンジン)から開始されます。	
AECallTrace	VERIFIEDPRIMARYAUTH	VERIFIEDPRIMARYAUTH-ENTICATION	int(null)	着信認証(事前認証)に関するリクエストに対して、アイデンティティ認証サービスからの応答総数。 要求はシステム(給電エンジン)から開始されます。	すべて（All）
AECallTrace	TOTALSECONDARYAUTH	完全な二次認証	int(null)	通話中(オンコール認証)中に、顧客から各 ID の認証を取得するために、アイデンティティ認証サービスに送信されたリクエストの総数。 エージェントからリクエストが開始されます。	すべて（All）
AECallTrace	検証済みの二次的	検証済み二次認証	int(null)	通話中(オンコール認証)中に、各アイデンティティに対して送信される各リクエストに対して「アイデンティティ認証サービス」からの応答総数。 エージェントからリクエストが開始されます。	すべて（All）

RPT_AEC_	ACWSTART タイムスタンプ	ACW 開始タイムスタンプ	ダッシュ	日時	驚き-

CustCallAct-ivities			etime (null)	エージェントがアフターコール作業(ACW)を担当しました。	Con-nect について
RPT_AEC_CustCallAct-ivities	ACWEND タイムスタンプ	ACWEND タイムスタンプ	ダット・エタイム (null)	エージェントがアフターコール作業(ACW)を完了した日時。	アマズオン・コンネクト
RPT_AEC_CustCallAct-ivities	ACWDURATION(公元)持続時間	ACW 期間	int(null)	エージェントがアフターコール作業を完了するのにかかった時間(ACW)。	アマズオン・コンネクト
RPT_AEC_CustCallAct-ivities	切断された	切断された	ヌヴァルク・ハール (64) (null)	通話を切った存在だ。 可能な値は顧客:1 です。エージェント（Agent） 2. Aban-donedDisconnect(エージェント不足のため Cam-paign マネージャーに見捨てられた):	アマズオン・コンネクト
RPT_AEC_CustCallAct-ivities				TimeoutAbandoned(設定された待機時間内にエージェントが見つからない場合、アプリケーションによって放棄)	

RPT_AEC_CustCallAct-ivities				ウォッチドッグ(技術的な情報のために連絡先がアプリケーション内で詰まった場合、ウォッチドッグがこれらの通話を切断します)。	
RPT_AEC_CustCallAct-ivities	テナンティッド	テナンティッド	整数 (null)	十アリのユニークな ID	すべて（All）
RPT_AEC_CustCallAct-ivities	サブテナンティッド	サブテナンティッド	整数 (null)	サブテナントのユニークな ID	すべて（All）
RPT_AEC_	コールディレクション	コールディレクション	ヴァルチ-	はディルを示します-	驚き-

CustCallAct-ivities			AR (16) (null)	鳴き声の摘出	Con-nect について

マスターフィールドの詳細

エージェント

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
OBD_BSFTAgentList	ID	ID	整数 (null ではない)	各レコードごとに固有の識別カラム。
OBD_BSFTAgentList	AgentID	AgentID	ンヴァルチャル (64)(null)	同期時にダイヤラーから取得したエージェントのユニークな ID。
OBD_BSFTAgentList	エージェント名	エージェント名	ンヴァルチャル (マックス)(null)	ログインしたエージェントの名前。
OBD_BSFTAgentList	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナント ID 新しいテナントが作成された際に適用によって自動的に生成されます。
OBD_BSFTAgentList	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID 新しいテンアントが作成されるとアプリケーションによって自動

				生成されます。
OBD_BSFTAgentList*	チーム ID	チーム ID	整数	ダイヤラーから同期中に取得されたチームのユニークな ID。 注:Webex Contact Center 1.0 では、チームとチームが違っていたでしょう—

				異なる価値観。 しかし 2.0 では両方のフィールドで同じ値が得られます。
OBD_BSFTAgentList*	チーム名	チーム名	ンヴァルチャル	チーム名。
OBD_BSFTAgentList*	チーム（Team）	チーム（Team）	ンヴァルチャル (マックス)(null)	ダイヤラーで受信したチームのユニークな ID。

* OBD_BSFTTeamList テーブルのすべてのフィールドは、Teams の 1 列に XML 値として入力されています。

キャンペーン

出典表	列名	表示名	データタイプ	説明
AE_CAMPAIGN	キャンペーングループ	キャンペーングループ	nvarchar (64) (null)	このカムページに割り当てられたキャンペーングループの名前です。
AE_CAMPAIGN	キャンペーン ID	キャンペーン ID	整数 (64)(無効ではない)	キャンペーン ID はクリエーション時に自動生成されます
AE_CAMPAIGN	説明	説明	ンヴァルチャル (255)	キャンペーンの概要です。

			(nul l で は な い)	
AE_CAMPAIGN	キャンペーンタイプ	キャンペーンタイプ	整数 (nul l で は な い)	キャンペーンの種類 – ボイスか非ボイスか。
AE_CAMPAIGN	CALLCLASSIFY(分類)する	CALLCLASSIFY(分類)する	整数 (null)	使用されていません。
AE_CAMPAIGN	パムダンガップ	パムダンガップ	整数 (null)	使用されていません。
AE_CAMPAIGN	APPNAME	APPNAME	ンヴァルチャル (16)	使用されていません。

			(null)	
AE_CAMPAIGN	MAXCONTACTS です	MAXCONTACTS です	整数 (null ではない)	コンタクトの最大数。
AE_CAMPAIGN	迷惑なタイムアウト	迷惑なタイムアウト	ビジント (null)	使用されていません。
AE_CAMPAIGN	選挙戦の状況	選挙戦の状況	整数 (null ではない)	キャンペーンの状態は「作成済み」「実行中」「停止済み」「時間疑われる」などです。
AE_CAMPAIGN	ゾーン名	ゾーン名	ンヴァルチャル (128) (null)	カメラのタイムゾーンです。
AE_CAMPAIGN	アウトカムグループ	アウトカムグループ	ンヴァルチャル (32) (null)	結果グループはこのカメラにマッピングされました。
AE_CAMPAIGN	AUXREASONGROUP	AUXREASONGROUP	ンヴァルチャル (16) (null)	使用されていません。
AE_CAMPAIGN	LOGOUTGROUP	LOGOUTGROUP	ンヴァルチャル (16) (null)	使用されていません。

AE_CAMPAIGN	開始日	開始日	ダット・エタイム (null)	キャンペーン開始日。
AE_CAMPAIGN	終了日	終了日	ダット・エタイム (null)	キャンペーン終了日。
AE_CAMPAIGN	開始時間	開始時間	ダット・エタイム (null)	キャンペーン開始時間。
AE_CAMPAIGN	終焉	終焉	ダット・エタイム	キャンペーンの終わり。

			(null)	
AE_CAMPAIGN	CREATEUSER	CREATEUSER	ンヴァルチャル (16) (null)	このキャンペーンを作成したユーザの名前です。
AE_CAMPAIGN	CREATETIME	CREATETIME	ダット・エタイム (null)	このカムが制作された日付と時間。
AE_CAMPAIGN	コンタクトタイムアウト	コンタクトタイムアウト	ビジント (null)	使用されていません。
AE_CAMPAIGN	オートストップデイズ	オートストップデイズ	整数 (null ではない)	キャンペーンが自動的に停止する曜日。 例えば、土曜日や日曜日などです。
AE_CAMPAIGN	重複フィルター	重複フィルター	整数 (null ではない)	重複ファイルを使って重複したコンタクトをチェックするために。障害の場合は 0;有効であれば 1(デフォルト)。
AE_CAMPAIGN	ITRANSFERQ	ITRANSFERQ	整数 (null)	使用されていません。
AE_CAMPAIGN	OTRANSFERQ	OTRANSFERQ	整数 (null)	使用されていません。
AE_CAMPAIGN	IROUTEPOINT ポイント	IROUTEPOINT ポイント	整数 (null)	使用されていません。

AE_CAMPAIGN	ODN	ODN	整数 (null)	使用されていません。
AE_CAMPAIGN	noanswertimeout	noanswertimeout	Biint (null)	塗布が本来必要な秒単位の時間

				再申請を進める前に、応答なしのために再申請を進めてください。
AE_CAMPAIGN	DPTYPE	DPTYPE	整数 (null)	ダイヤルプランタイプです。
AE_CAMPAIGN	ダイヤルプランネーム	ダイヤルプランネーム	ンヴァルチャル (32) (null)	このキャンペーンに割り当てられたダイヤルプラン。
AE_CAMPAIGN	DPRETRIES	DPRETRIES	整数 (null)	再試行回数が計算されます。
AE_CAMPAIGN	DPRETRIESCLOSE(閉鎖)	DPRETRIESCLOSE(閉鎖)	int(null)	コンタクトを閉じられるリトライ回数。
AE_CAMPAIGN	DNCFILTER です	DNCFILTER です	char (1)(null)	フィルターは DNC – 電話番号またはビジネスフィールドとしてマークしました。
AE_CAMPAIGN	エリアタイムゾーン	エリアタイムゾーン	char (1)(null)	このキャンペーンにマッピングされた地域のタイムゾーン。
AE_CAMPAIGN	エンネーブルチェイン	エンネーブルチェイン	整数 (null)	チェインが有効かどうかを示します。

AE_CAMPAIGN	キャンペーンキー	キャンペーンキー	整数 (null ではない)	ユニークなキャンペーンキー。 これはキャンペーンの報告書用に使われます。
AE_CAMPAIGN	ファイルパス	ファイルパス	ンヴァルチャル (256) (そうではない	アップロードファイルが経過するパス

			null)	配置されています。
AE_CAMPAIGN	最近の連絡先 ID	最近の連絡先 ID	int(null)	このカムの最後の署名/最新の連絡先 ID。
AE_CAMPAIGN	RecentListID	RecentListID	int(null)	このキャンペーンの最終アップロード/最新リストです。
AE_CAMPAIGN	DPRETRIESTYPE	DPRETRIESTYPE	char (1)(null)	使用されていません。
AE_CAMPAIGN	PCB を保持する	PCB を保持する	ビット (null)	このフィールドは接点の PCB を保持する必要があるかどうかを示します。
AE_CAMPAIGN	CycleRetryEnabled	CycleRetryEnabled	ビット (null)	これはこのキャンペーンでサイクル再試行が有効かどうかを示します。
AE_CAMPAIGN	サイクルオフセット	サイクルオフセット	int(null)	これはサイクルオフセット、すなわちサイクル中に数日数の日数が存在し、その後コンタクトが再試されるかどうかを示します。 無効化すると 0;

				有効であれば 1 です。
AE_CAMPAIGN	サイクルカウント	サイクルカウント	int(null)	ダイヤルサイクルのカウントが完了しました。 すべての設定モードを一度ダイヤルすると、サイクルが完了します。
AE_CAMPAIGN	サイクルリトリーズクローズ	サイクルリトリーズクローズ	bit	この旗

			(null)	サイクルの再トライを回した際に接触を閉じるべきかどうかを判断します。
AE_CAMPAIGN	StateLawFollowType(州法フォロータイプ)	StateLawFollowType(州法フォロータイプ)	char (1)(null)	連絡先を発信する際に従うべき州法の種類。
AE_CAMPAIGN	デイリーリトライ	デイリーリトライ	int(null)	ダイヤルの再試行回数のおかげで、1 日分の連絡が取れた。
AE_CAMPAIGN	ListTimeToLive	ListTimeToLive	int(null)	生きる時間、コンタクトリストのために。これは日数で示しています。
AE_CAMPAIGN	TimeZoneUseType	TimeZoneUseType	nvarchar (16) (null)	このキャンペーンのタイムゾーン使用タイプ。 選択肢は以下の通りです なし – SystemInherited で設定されたタイムゾーンを取る – グループで選択したタイムゾーン。オーバーライド –

				グループに設定された時間のオーバーライドは、このキャンペーンで指定された時間のみを消費します。
AE_CAMPAIGN	接頭辞	接頭辞	ンヴァルチャル (10) (null)	アップロードされたコンタクトに接頭辞で付けられた文字列、

				探求の時間。
AE_CAMPAIGN	サフィックス	サフィックス	nvarchar (10) (null)	ダウンロードの時点でアップロードされたコンタクトに固定された文字列です。
AE_CAMPAIGN	IsULCampaign	IsULCampaign	bit (null ではない)	これにより、そのカメラが共有リストキャンペーンかどうかが判別されます。
AE_CAMPAIGN	CreatedDateTime	CreatedDateTime	nvarchar (null)	カメラが撮影された日付と時間。
AE_CAMPAIGN	修正 DateTime	修正 DateTime	ダット・エタイム (null)	カメラの投稿が最後に更新された日時。
AE_CAMPAIGN	ICMID	ICMID	整数 (null)	ICM ID 通話に使われた。
AE_CAMPAIGN	EmailThreshold	EmailThreshold	int(null)	このキャンペーンで 1 日あたり配信できるメール数またはグローバル制限。

AE_CAMPAIGN	IsPostCallScript	IsPostCallScript	ビット (null)	このフラグは、通話後に実行しなければならないポストコールスクリプトが存在するかどうかを示します。
AE_CAMPAIGN	ウィンドウリトライ	ウィンドウリトライ	ビット (null)	このフラグはキャンペーンが設定されているかどうかを決定します

				ウィンドウ・リトライと共に。
AE_CAMPAIGN	ウィンドウエブライスト	ウィンドウエブライスト	int(null)	特定の通話期間に合わせて設定された通話試行回数。
AE_CAMPAIGN	ウィンドウ持続時間	ウィンドウ持続時間	整数(null)	通話期間は数日単位です。
AE_CAMPAIGN	マルチプル郵便番号	マルチプル郵便番号	ビット(null)	これにより、カムパインが複数の郵便番号をダイヤルで処理できるかどうかが判定されます。
AE_CAMPAIGN	予想結果	予想結果	ダット・エタイム(null)	このキャンペーンの結果が出るまでの予測時間。
AE_CAMPAIGN	PredictedForOpenRecords	PredictedForOpenRecords	int(null)	記録数は予測された時間に返還されました。
AE_CAMPAIGN	TTLBusinessDays(タイムリーズ・バウティネス・デイズ)	TTLBusinessDays(タイムリーズ・バウティネス・デイズ)	ビット(null)	Time to Liveを忙しい日数(Busi-ness days)とすると、営業日数が挙げられます。
AE_CAMPAIGN	P2P	P2P	bit(null で	支払い傾向が有効なら、決定にフラグを立ててくださ

			はない)	い。
AE_CAMPAIGN	BTTC	BTTC	bit (nullではない)	ベスト・トゥ・コールが有効なら、決定にフラグを立ててください。
AE_CAMPAIGN	IsAllowInvalidDeviceId	IsAllowInvalidDeviceId	bit	旗を決める-

			(null ではない)	無効なデバイス ID 経由でアクセスできるかどうかは確認します。
AE_CAMPAIGN	アイデンティティ認証	アイデンティティ認証	nvarchar (64) (null)	認証すべき身分証明書、例えば社会保障番号(SSN)、税務番号などです。
AE_CAMPAIGN	IsIdentity 認証	IsIdentity 認証	bit (null ではない)	ID 認証機能が有効であれば、判定にフラグを付けます。
AE_CAMPAIGN	AlwaysToClicker	AlwaysToClicker	bit (null ではない)	通話をダイヤルする前に必ずクリッカーエージェントに送る必要があるかどうかを判断するためにフラグを立ててください。
AE_CAMPAIGN	isIVRTemplateEnable	isIVRTemplateEnable	ビット (null)	IVR テンプレートが有効かどうか、決定するフラグを立ててください。
AE_CAMPAIGN	IVRTemplateID	IVRTemplateID	int(null)	IVR テムプレートはこの IVR テンプレートのために生成されまし

				た。
AE_CAMPAIGN	IVRTemplateName(地球版)名	IVRTemplateName(地球版)名	ンヴァルチャル (128) (null)	IVR テムプレートの名前。
AE_CAMPAIGN	StateLawGroup	StateLawGroup	ンヴァルチャル (128) (null)	州法律グループの名称。
AE_CAMPAIGN	チャットボットアカウント	チャットボットアカウント	ンヴァルチャル (256) (null)	
AE_CAMPAIGN	キャンペーンカテゴリ ID	キャンペーンカテゴリ ID	整数 (null)	カメラの自動生成 ID—

				ペイン・キャット・エゴリー。
AE_CAMPAIGN	テナント ID	テナント ID	整数 (null)	テナント ID
AE_CAMPAIGN	サブテナント ID	サブテナント ID	整数 (null)	サブテナント ID
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (64)(無効ではない)	キャンペーン ID は作成時に自動生成されます。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	連絡先優先	連絡先優先	整数 (null)	使用されていません。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	PAMDSCRIPT	PAMDSCRIPT	ンヴァルチャル (16) (null)	使用されていません。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	認証コード	認証コード	ンヴァルチャル (16) (null)	使用されていません。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	平日の休み	平日の休み	ンヴァルチャル (32) (null)	キャンペーンは週の曜日には行われません。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	コールガイド	コールガイド	nvarch ar (16) (null)	このキャンペーンのために設定されたコールガイドがエージェントがフォローできるように設定されまし

				た。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	AGENTCALLCLASSIFY(エージェントコールクラスファイ)	AGENTCALLCLASSIFY(エージェントコールクラスファイ)	int(null)	着信がクラス単位で、以前の通話と照合しなければならないかどうか。 0 はクラス化障害者であり、1 は有効です。 NULL も有効です。

OBD_ CAMPAIGN_ パラム	エージェントのレスプタイムアウト	エージェントのレスプタイムアウト	int(null)	通話に応答しない場合のタイムアウトは数秒単位です。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	差出人住所	差出人住所	nvarchar (255) (null)	カメラからメールが送信された際に「From」欄に表示されるメールアドレス。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	返信	返信	nvarchar (255) (null)	キャンペーンから発信されたメールの返信を受け取るべきメールアドレスです。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	バルクメール	バルクメール	int(null)	設定されたメールサーバが大量メール送信をサポートしているかどうか。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	NOOFMAILCONTACT	NOOFMAILCONTACT	int(null)	このメールの受信数は、このメールの受信数です。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	ENABLEBLENDING	ENABLEBLENDING	int(null)	このフラグは、このキャンペーンでブレンディングが有効かどうかを決定します。

OBD_ CAMPAIGN_ パラム	VDN 番号	VDN 番号	ンヴァルチャル (16) (null)	メールサーバで使用されるポート番号。
OBD_ CAMPAIGN_	VDNTIMEOUT	VDNTIMEOUT	整数	タイムアウトは秒単位で、もし

パラム			(null)	ポートは利用できません。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	キュータイムアウト	キュータイムアウト	int(null)	連絡先がアバンドンされるまでのキューに滞在する期間。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	アバンドンパー	アバンドンパー	数値 (5,2) (null)	放棄通話の割合。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	RATIO しきい値	RATIO しきい値	数値 (5,2) (null)	このカメラでアップロード可能なコンタクトのパーセント数。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	SPECIFIC CHANNEL	SPECIFIC CHANNEL	整数 (null)	使用されていません。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	ENABLEPERSISTENT	ENABLEPERSISTENT	ンヴァルチャル (16) (null)	使用されていません。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	ENABLEPRECONNECT	ENABLEPRECONNECT	nvarchar (16) (null)	これは一括メール送信の事前接続です。メールがなければ切断してください。デフォルト値は-1 です。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	最後の連絡先	最後の連絡先	整数 (null)	最新更新のコンタクト ID。

OBD_ CAMPAIGN_ パラム	RESERVED1	RESERVED1	nvarch ar (16) (null)	接触調査時のキャンペーン用に予約されたフィールドです。
OBD_	RESERVED2	RESERVED2	ンヴァルチャル	リザーブ

CAMPAIGN_ パラム			(16) (null)	接触・開発時のキャンペーンのフィールド。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	RESERVED3	RESERVED3	nvarch ar (16) (null)	接触調査時のキャンペーン用に予約されたフィールドです。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	RESERVED4	RESERVED4	nvarch ar (16) (null)	接触調査時のキャンペーン用に予約されたフィールドです。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	RESERVED5	RESERVED5	nvarch ar (16) (null)	接触調査時のキャンペーン用に予約されたフィールドです。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	CISCOCAMPAIGNID	CISCOCAMPAIGNID	nvarch ar (32) (null)	キャンペーン ID は Cisco がこの(キャンペーングループ)のために生成しています。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	CISCOUPLOADFILEPATH	CISCOUPLOADFILEPATH	ンヴァルチャル (256) (null)	ダイヤラーに配信される通信をアップロードする経路。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	シスコアラームタイム	シスコアラームタイム	ンヴァルチャル (32) (null)	使用されていません

OBD_ CAMPAIGN_ パラム	CISCOINITIALNOOFCONTAC-TS	CISCOINITIALNOOFCONTAC-TS	Biint (null)	最初の反復でダイヤラーに届ける連絡先の数。
OBD_	CISCOREDUCEFACTOR	CISCOREDUCEFACTOR	整数	次の因子は

CAMPAIGN_ パラム			(null)	ダイヤルが予想通りのペースでない場合、コンタクトの配信はこれを短縮しなければなりません。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	CISCOUPLOADFILEFORMAT	CISCOUPLOADFILEFORMAT	nvarchar (512) (null)	連絡先ファイルのアップロードファイル形式—txt、CSV、JSON などです。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	CISCO インクリメントパーセント	CISCO インクリメントパーセント	int(null)	通話のダイヤルが予想より遅い場合、コンタクトの配達係数が増加します。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	CISCO 減衰率	CISCO 減衰率	int(null)	ハップペンのダイヤルが予想より遅い場合、コンタクト配達の減少係数。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	CISCOALTERNATEVDN	CISCOALTERNATEVDN	nvarchar (32) (null)	故障時の連絡用に代替の Cisco カメラ・カメラ ID。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	シスコープリフェラリッド	シスコープリフェラリッド	整数 (null)	Cisco のポート番号はスイッチの番号です。

OBD_ CAMPAIGN_ パラム	レデュース閾値	レデュース閾値	int(null)	ダイヤルが予想より遅い場合、コンタクト・デリバリーの上限閾値が下がっています。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	シスコの増強スレショル-D	シスコの増強スレショル-D	整数 (null)	上値の上昇

				ダイヤルが予想より遅い場合は Deliv-Ery にご連絡ください。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	ENABLESTATELAW(州法制定)	ENABLESTATELAW(州法制定)	ンヴァルチャル (8)(null)	州法を有効にするかどうかを判断するための旗です。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	選挙戦の割合	選挙戦の割合	int(null)	このカムペインのためにダイヤラーに届けるためのコンタクトのセンテージ。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	シーケンス ID	シーケンス ID	int(null)	共有リストやグループ内のカム・ペインの場合の連絡の配達順序。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	アラートスレッショルド	アラートスレッショルド	int(null)	ダイヤラーで利用可能な通信が制限されるアラート送信の閾値が減少します。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	アラート	アラート	ビット (null)	これはアラート通知が有効かどうかを示します。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	EnableDNC	EnableDNC	bit (null)	DNC を有効にする必要がある場合は、決定にフラグを立ててください。

OBD_ CAMPAIGN_ パラム	グローバル DNC	グローバル DNC	ビット (null)	アプリケーション内のすべてのカメラで DNC を有効にする必要がある場合、決定するフラグを立ててください。

OBD_CAMPAIGN_パラム	コールバック	コールバック	ビット (null)	連絡がコールバックかどうかを判断するためにフラグを立ててください。
OBD_CAMPAIGN_パラム	PCBretries	PCBretries	int(null)	リトライ回数の多さから、個人的なコールバックが可能になりました。
OBD_CAMPAIGN_パラム	PCBOffset	PCBOffset	int(null)	パーソナルコールバックをやり直す日数。
OBD_CAMPAIGN_パラム	コールバック戦略	コールバック戦略	ンヴァルチャル (64)(null)	コールバック戦略はキャンペーンに対応していました。
OBD_CAMPAIGN_パラム	UsePreCallScript	UsePreCallScript	bit (null ではない)	このカムペインがダイヤル前に事前通話スクリプトを実行する必要があるかどうかを示すフラグ。
OBD_CAMPAIGN_パラム	CallbackStrategyType	CallbackStrategyType	char (1)(null)	ダイヤルに使われるコールバック戦略の種類は、シンプル、アドバンスド、ま

				たはコールバックです。
OBD_CAMPAIGN_パラム	リセットグローバルリトライズ	リセットグローバルリトライズ	ビット (null)	グローバルリトライカウントがリセット可能かどうか、決定するフラグを立ててください。
OBD_CAMPAIGN_パラム	PEWC	PEWC	ビット (null)	このコンタクトが PEWC の連絡先かどうかを判定するためにフラグを立ててください。
OBD_CAMPAIGN_パラム	PrecallScriptValue	PrecallScriptValue	int(null)	使用される事前呼び出しスクリプト(有効化されている場合)

				契約がダイヤルされる前に。
OBD_CAMPAIGN_パラム	PostcallScriptValue	PostcallScriptValue	int(null)	連絡先をダイヤルした後に有効化された場合に使用される通話後スクリプト。
OBD_CAMPAIGN_パラム	キャンペーンタイプ	キャンペーンタイプ	int(null)	キャンペーンタイプ – ボイス、ノンボイスなど。
OBD_CAMPAIGN_パラム	ブロックエリア郵便番号	ブロックエリア郵便番号	bit (null ではない)	ブロックされている地域や郵便番号、連絡先はダイヤルできません。
OBD_CAMPAIGN_パラム	LowContactAler-tNotification	LowContactAler-tNotification	ビット (null)	管理者にアラート通知が送信された時点で、残る居住者と居住者の連絡先の下限がダイヤルされます。
OBD_CAMPAIGN_パラム	NotifyAdvanceinMinutes(通知アドバンスメント	NotifyAdvanceinMinutes(通知アドバンスメント	int(null)	事前に個別の折り返し連絡を取る時間。
OBD_CAMPAIGN_パラム	ミニマムコンタクト	ミニマムコンタクト	int(null)	カメラの人に配達するための最低限のコンタクト数。

OBD_ CAMPAIGN_ パラム	持続時間分単位	持続時間分単位	int(null)	キャンペーンの連絡期間。
OBD_	Pre-dictive 平均 ACWTime	Pre-dictive 平均 ACWTime	整数	平均

CAMPAIGN_ パラム			(null)	事前呼び出し(ACW)の時間は、事前指示電話にかかる。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	Pre-dictiveNoofCallstoSample	Pre-dictiveNoofCallstoSample	int(null)	この事前のカム・ペインのサンプル数。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	Pre-dictiveMaxAbandonRate	Pre-dictiveMaxAbandonRate	int(null)	最大放棄率は予測カメラを可能にしました。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	Pre-dictiveCallStatusCategory	Pre-dictiveCallStatusCategory	ンヴァルチャル (20) (null)	このカムの予測コールカテゴリー。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	事前指示放棄通話ステータス	事前指示放棄通話ステータス	ンヴァルチャル (100) (null)	事前の呼び出しが放棄されたかどうかを判断するためのフラグ。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	予測 AMDCallStatus	予測 AMDCallStatus	nvarchar (100) (null)	予測通話の留守番電話の判定状況。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	PredictiveAvgConnectTime	PredictiveAvgConnectTime	int(null)	事前の電話をエージェントにつなぐのにかかる平均時間。

OBD_ CAMPAIGN_ パラム	isAMD	isAMD	ビット (null)	このフラグは留守番電話検出が有効かどうかを判断します。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	Pre-dictiveMaxConcurrentCalls	Pre-dictiveMaxConcurrentCalls	整数 (null)	最大同時通話数

				予測ペーシングモードで調整可能です。
OBD_CAMPAIGN_パラム	Predictive MaxLinesPerAgent	Predictive MaxLinesPerAgent	int(null)	予測キャンペーンのために設定されたエージェントあたりの最大ライン数。 この値が 3 でエージェントが 3 つの場合、1 回のコンタクト数は 9 となります。
OBD_CAMPAIGN_パラム	タスクタイムアウト	タスクタイムアウト	int(null)	顧客がエージェントに連絡せずに通話が始まるまでの待ち時間。
OBD_CAMPAIGN_パラム	プレビュー AutoAcceptTime	プレビュー AutoAcceptTime	int(null)	プレビュー通話の自動受付時間が設定されています。
OBD_CAMPAIGN_パラム	予約タイムアウト	予約タイムアウト	int(null)	これは、エージェントが通話のために予約されている秒数です。 これはキャンペーンマネージャーで編集できま

				せん。
OBD_CAMPAIGN_パラム	オートラップアップタイム	オートラップアップタイム	int(null)	通話を終える時間があった。
OBD_CAMPAIGN_	EmailChainingInDays(メールチェインインデイズ)	EmailChainingInDays(メールチェインインデイズ)	整数	その後の日数

パラム			(nul l で は な い)	メール連絡先は別のカムアドレスに連結できます。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	EmailChainingInHours(メールチェッキングインアワーズ)	EmailChainingInHours(メールチェッキングインアワーズ)	整数 (nul l で は な い)	メールの連絡先が別のカメラに紐付けられるまでの時間数。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	必要処分	必要処分	ビッ ト (null)	このフィールドは、判定がコールの必須かどうかを判断します。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	DNCPeriodType	DNCPeriodType	ヴァルチャー (32) (null)	DNC タイプ – 永遠または有効な期間。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	DNCDurationInDays(DNCDurationInDays)	DNCDurationInDays(DNCDurationInDays)	int(n ull)	接触者が DNC としてマークされている日数です。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	DNCEOD	DNCEOD	ビッ ト (null)	EOD 作戦中に連絡が DNC としてマークされる必要があるかどうか。

OBD_ CAMPAIGN_ パラム	IsDNCCustTZEnabled	IsDNCCustTZEnabled	ビット (null)	このフラグは、連絡先がタイムゾーンに基づいて DNC としてマークできるかどうかを判断します。
OBD_ CAMPAIGN_	DNC タイプ	DNC タイプ	ヴァルチャー	DNC タイプ

パラム			(32) (null)	この連携のために。 選択肢はキャンペーン固有、カムペイン猫エゴリー、複数猫エゴリー、グローバルです。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	同意、連絡先、配布	同意、連絡先、配布	int(null)	同意通話に配分されるコンタクトの割合。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	非 Con-sentContactDistribution(非 Con-sentContactDistribution)	非 Con-sentContactDistribution(非 Con-sentContactDistribution)	int(null)	同意なし通話に配分されるコンタクトのセンテージ。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	非同意タスクタイムアウト	非同意タスクタイムアウト	int(null)	同意なしの通話がアバンドニングされるまでの待ち時間(秒単位)です。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	テナント ID	テナント ID	int(null)	新しいテナントが登録された際、申請書によってテナント ID##は自動的に生成されます。

OBD_ CAMPAIGN_ パラム	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	Sub Tenant ID は新しいテナントが作成される際にアプリケーションによって自動生成されます。
OBD_	ProgIVRMaxContacts	ProgIVRMaxContacts	整数	最大

CAMPAIGN_ パラム			(null)	設定されたイテレーション・インターヴァルでダイヤルするためにダイヤラーに送信できるコンタクトの数。
OBD_ CAMPAIGN_ パラム	ダイヤリテレーション間隔	ダイヤリテレーション間隔	int(null)	キャンペーンスレッドを実行して連絡先をダイヤラーに送るのに数秒の間隔を。
OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (64)(無効ではない)	キャンペーン ID はクリエーション時に自動生成されます。
OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	フィールドネーム	フィールドネーム	ンヴァルチャル (64)(無効ではない)	ビジネス分野の名前です。
OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	データ型	データ型	ンヴァルチャル (32)(null ではない)	この業務度フィールドのデータ型。 例えば、文字列、数値、dat-etime などです。

OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	フォーマット	フォーマット	ンヴァルチャル (32)(null ではない)	ビジネスフィールドデートの形式です。 これはビジネスフィールドのデータ型が日付である場合にのみ有効です。
OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	ビジネスフィールド	ビジネスフィールド	ンヴァルチャル (32)(null ではない)	ビジネスネス場の位置、その中で

				25 人で許された。
OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	SQLEXPRESSION	SQLEXPRESSION	ンヴァルチャル (64)(無効ではない)	ビジネスパラメータの論理的エクスプシオン値。これはコンタクトを回収するために使われます。 報告目的でも使用されます。
OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	IsEMailMapped	IsEMailMapped	ビット (null)	このフラグは、このビジネスフィールドがメールキャンペーンを通じて送信されるメールの内容にマッピングされているかどうかを示します。
OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	IsSMSMapped	IsSMSMapped	ビット (null)	このフラグは、このビジネスフィールドが SMS カムページを通じて送信されている SMS の内容にマッピングされているかどうかを示します。

OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	IsDNCMapped	IsDNCMapped	ビット (null)	このフラグは、このビジネスフィールドが DNC の連絡先をマークするためにマッピングされているかどうかを示します。
OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	ビジネスタイプ ID	ビジネスタイプ ID	int(null)	ビジネスタイプ ID。 ユーザ作成の場合は 0;1 つは Cisco ビジネス分野です。
OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	編集可能	編集可能	bit (null)	このフラグは、そのビジネスがその企業を決定するものです

				フィールドはエージェント編集可能です。
OBD_CAMPAIGN_ビジネス分野	シーケンス ID	シーケンス ID	int(null)	順序付けのための忙しさパラメータメーターのシーケンス ID。
OBD_CAMPAIGN_ビジネス分野	IsMax	IsMax	bit (null ではない)	このフラグは、ビジネスフィールドが大きなデータ長を受け入れるよう設定されているかどうかを判断します。
OBD_CAMPAIGN_ビジネス分野	閲覧可能	閲覧可能	bit (null ではない)	このフラグは、ビジネスフィールドがエージェントが閲覧可能かどうかを判断します。
OBD_CAMPAIGN_ビジネス分野	IsIVRMapped	IsIVRMapped	bit (null ではない)	このフィールドは、ビジネスフィールドが IVR の構成にマッピングされているかどうかを決定します。

OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	IsSNSMapped	IsSNSMapped	ビット (null)	このフィールドは、ビジネスフィールドが SNS にマッピングされているかどうかを判断します (SendGrid)設定。
OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	キャラクターレングス	キャラクターレングス	ンヴァルチャル (3)(null)	このビシネス場に許容される最大長さ。
OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	カスタマーマスター	カスタマーマスター	nvarchar (250) (null)	デフォルトの顧客データはビジネスパラメータメーターに渡されます。

OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	テナント ID	テナント ID	int(null)	新しいテナントが登録されると、申請書によってテナント ID##が自動的に生成されます。
OBD_ CAMPAIGN_ ビジネス分野	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	Sub Tenant ID は新しいテナントが作成された際に申請によって自動生成されます。
AE_BSFTA-gentMapping	ID	ID	整数 (null ではない)	識別カラムは、Campaigns を Teams にマッピングする際に埋める予定です。
AE_BSFTA-gentMapping	テナント ID	テナント ID	nvarchar (50) (null)	新しいテナントが登録された際、申請書によってテナント ID 自動的に生成されます。
AE_BSFTA-gentMapping	エントリーポイント	エントリーポイント	ンヴァルチャー(マックス) (null)	エントリーポイントは、プレビューキャンペーンがマッピングされているキャンペーングループで

				す。
AE_BSFTA-gentMapping	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (マックス) (null)	キャンペーンの名称
AE_BSFTA-gentMapping	AgentID	AgentID	ンヴァルチャル (64) (null)	使用されていません。
AE_BSFTA-gentMapping	エージェント名	エージェント名	ンヴァルチャル	使用されていません。

			(マックス) (null)	
AE_BSFTA-gentMapping	ユーザ ID	ユーザ ID	ンヴァルチャー(マックス) (null)	管理者の独りアカウントでプレビューキャンペーンを登録したユーザの ID。
AE_BSFTA-gentMapping	TeamID	TeamID	ンヴァルチャル (64) (null)	チームのユニークな ID はキャンペーンにマッピングされました。
AE_BSFTA-gentMapping	チーム名	チーム名	ンヴァルチャル (マックス) (null)	チーム名。
AE_BSFTA-gentMapping	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	Sub Tenant の ID は新しいテナントが作成された際にアプリケーションによって自動生成されます。

*OBD_CampaignBusinessFields テーブルのすべてのフィールドは 1 つの列に XML 値で入力されています – Cam-paignBusinessParameter。 これはすべてのダイヤル担当者向けです。

キャンペーングループ

出典表	列名	表示名	データ	説明

			タタイプ	
OBD_CAMPAIGN_グループ	キャンペーングループ ID	キャンペーングループ ID	整数 (null ではない)	キャンペーングループ ID はクリエーション時に自動生成されました。
OBD_CAMPAIGN_グループ	キャンペーングループ	キャンペーングループ	ンヴァルチャル (64)(null)	キャンペーングループ名。
OBD_CAMPAIGN_	説明	説明	ンヴァルチャル	キャンペーングループは descrip-

グループ			(256) (null)	ティオン。
OBD_ CAMPAIGN _グループ	CISCOUPLOADFILEPATH	CISCOUPLOADFILEPATH	ンヴァルチャル (250) (null)	ファイルアップロードパスを送り、連絡先をアップロードします。
OBD_ CAMPAIGN _グループ	シスコアラームタイム	シスコアラームタイム	ンヴァルチャル (16)(null)	使用されていません。
OBD_ CAMPAIGN _グループ	CISCOINITIALNOOFCONTACT-S	CISCOINITIALNOOFCONTACT-S	Biint (null)	ダイヤラーに届ける最初の連絡先番号。
OBD_ CAMPAIGN _グループ	CISCOREDUCEFACTOR	CISCOREDUCEFACTOR	Biint (null)	ダイヤル時にコンタクトの配信が短縮される要因は、予想されるペースと一致しません。
OBD_ CAMPAIGN _グループ	CISCOUPLOADFILEFORMAT	CISCOUPLOADFILEFORMAT	nvarchar (512) (null)	連絡先ファイルのアップロード形式はテキストや JSON などです。
OBD_ CAMPAIGN _グループ	CISCO インクリメントパーセント	CISCO インクリメントパーセント	Biint (null)	ダイヤルが予想より速い場合、連絡先アップロードのパーセントが増加します。

OBD_ CAMPAIGN _グループ	CISCO 減衰率	CISCO 減衰率	Biint (null)	ダイヤルが予想より速い場合、連絡先アップロードのパーセンテージが減少します。
OBD_ CAMPAIGN _グループ	ISCISCOGROUP	ISCISCOGROUP	整数 (null)	これが Cisco のカムペイン (グループ)かどうかを指定します。
OBD_	ゾーン名	ゾーン名	ンヴァルチャル	タイムゾーン

CAMPAIGN_グループ			(128)(null)	このカム・ペイン・グループのために。
OBD_CAMPAIGN_グループ	CISCOALTERNATEVDN	CISCOALTERNATEVDN	ンヴァルチャル (32)(無効)	連絡伝達のための代替 Cisco キャンペーン ID。
OBD_CAMPAIGN_グループ	シスコープリフェラリッド	シスコープリフェラリッド	整数 (null)	Cisco のポート番号はスイッチの番号です。
OBD_CAMPAIGN_グループ	レデュース閾値	レデュース閾値	int(null)	ダイヤル速度に応じて、最初の配送時から減少する連絡先数。
OBD_CAMPAIGN_グループ	CISCO 増加閾値	CISCO 増加閾値	int(null)	ダイヤル速度に応じて、初期のデリブエリアから増加する連絡先数。
OBD_CAMPAIGN_グループ	CONFIGDATA	CONFIGDATA	nvarchar (4000)(null)	これは、グループおよびそのパラメータ計に関する詳細な構成データが存在するかどうかを示します。
OBD_CAMPAIGN_グループ	削除されました	削除されました	ンヴァルチャル (2)(null)	キャンペーングループが削除された場合を指定します。

OBD_ CAMPAIGN _グループ	ISENABLED	ISENABLED	ンヴァルチャル (2)(null)	キャンペーングループが活動中かどうかを指定します。
OBD_ CAMPAIGN _グループ	テナント ID	テナント ID	整数 (null)	テナント ID 自動発電機-

				新しい入居者が契約された際に申請書で削除されます。
OBD_CAMPAIGN_グループ	IsULGroup	IsULGroup	bit (null ではない)	これが共有リストキャンペーンかどうかを指定します。
OBD_CAMPAIGN_グループ	IsULGroupMapped	IsULGroupMapped	bit (null ではない)	このキャンペーングループが共有リストにマッピングされているかどうかを指定します。
OBD_CAMPAIGN_グループ	イテレーションインターバル	イテレーションインターバル	整数 (null ではない)	2 つの接触・誘導反復間の反復間隔。
OBD_CAMPAIGN_グループ	CreatedDateTime	CreatedDateTime	datetime(null)	このカムペイングループが結成された日付と時間。
OBD_CAMPAIGN_グループ	修正 DateTime	修正 DateTime	datetime(null)	このカム訪問グループの最後の更新日時。
OBD_CAMPAIGN_グループ	APIGenerated	APIGenerated	char (1)(null)	API を使って作成されたキャンペーングループかどうかを明記します。

OBD_CAMPAIGN_グループ	isThrottlingEnable	isThrottlingEnable	ビット (null)	このキャンペーングループで IVR スロットリングが有効かどうかを明記しています。
OBD_CAMPAIGN_グループ	キャンペーン目的タイプ	キャンペーン目的タイプ	int(null)	キャンペーン目的タイプ。 1 は API ボイス・カム・ペインを示します。2 は を指示します

				キャンペーン・マンエイジャー・グループ。
OBD_CAMPAIGN_グループ	予約タイムアウト	予約タイムアウト	整数 (null)	使用されていません。
OBD_CAMPAIGN_グループ	WxCCReferenceId	WxCCReferenceId	ンヴァルチャル (64)(null)	Webex Contact Center エントリポイントのユニークな ID で、キャンペーンマネージャーにカムページグループとして同期されています
OBD_CAMPAIGN_グループ	IsWxCCGroup	IsWxCCGroup	ビット (null)	このキャンペーングループが Cisco Webex Contact Center ダイヤラーに属しているかどうかを指定します。
OBD_CAMPAIGN_グループ	PlatformProviderID	PlatformProviderID	int(null)	ID はキャンペーンマネージャーで作成したプロバイダープラットフォームの自動生成です。例えば、CCaaS プロバイダープラットフォームが作成され、キャンペーン

				がそのプロバイダーにマッピングされている場合、このフィールドが使われます。

キャンペーンフィルターグループ

出典表	列名	表示名	データ：	説明

			タイプ	
OBD_CAMPAIGN_ カスタムフィルター	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (64)(無効ではない)	これがカム・ペインの名前です。例えば、コレクションです。
OBD_CAMPAIGN_ カスタムフィルター	曜日	曜日	整数 (null ではない)	この値は、カスタムフィルターグループを適用するために設定された曜日を示します。
OBD_CAMPAIGN_ カスタムフィルター	時間からの	時間からの	ンヴァルチャル (64)(無効ではない)	アップロードされた通信を絞り込みの開始時間に絞り込みます。デフォルト値は 00:00 時間です。
OBD_CAMPAIGN_ カスタムフィルター	ハウルト	ハウルト	ンヴァルチャル (8)(null ではない)	アップロードされたコンテンツのフィルタリングの終わり時間。デフォルト値は 23:59 時間です。
OBD_CAMPAIGN_ カスタムフィルター	CUSTOMFILTERGROUP	CUSTOMFILTERGROUP	ンヴァルチャル (32)(null ではない)	カスタムフィルターグループの名前は、接触被害キャンペーンに使われました。
OBD_CAMPAIGN_ カスタムフィルター	ID	ID	整数 (null では	各レコードごとに固有の識別カラム。

			ない)	
OBD_CAMPAIGN_ カスタムフィルター	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナント ID 新しいテナントが作成される際にアプリケーションによって自動的に生成されます。

OBD_CAMPAIGN_ カスタムフィルター	サブテナント ID	サブテナント ID	int(nul l)	サブテナント ID 新しいテナントが登録されるとアプリケーションによって自動生成されます。
OBD_CUSTOMFILTERS	CustomFilterGroupID	CustomFilterGroupID	整数 (null ではない)	カスタムフィルターグループ ID 新しいフィルターグループが生成されると自動生成されます。
OBD_CUSTOMFILTERS	CustomFilterGroup	CustomFilterGroup	ンヴァルチャル (32)(null ではない)	カスタムフィルターグループの名前が名付けられました。
OBD_CUSTOMFILTERS	説明	説明	ンヴァルチャル (32)(無効)	カスタムフィルターグループの説明です。
OBD_CUSTOMFILTERS	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (64)(無効ではない)	これがこのカスタムフィルターグループが属する cam-paign 名です。 例えば、コレクション(大合唱)です。
OBD_CUSTOMFILTERS	IsDefault(デフォルト)	IsDefault(デフォルト)	ビット (null)	キャンペーンのデフォルトカスタムフィルターグループかどうかを指定します。

OBD_CUSTOMFILTERS	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナント ID 新しいテナントが作成された際に適用によって自動的に生成されます。
OBD_CUSTOMFILTERS	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID は新しいアプリケーションが入ったときに自動的に生成されます。

				借主は信用されています。
OBD_CUSTOMFILTERGROUP	CustomFilterGroup	CustomFilterGroup	ンヴァルチャル (32)(null ではない)	カスタムフィルターグループの名前です。
OBD_CUSTOMFILTERGROUP	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (64)(無効ではない)	これがこのカスタムフィルターグループが属する cam-paign 名です。 例えば、コレクション(大合唱)です。
OBD_CUSTOMFILTER	ConditionID	ConditionID	整数 (null ではない)	条件 ID は、コンディションが作成される際にアプリケーションによって自動的に生成されます。
OBD_CUSTOMFILTER	コンディションネーム	コンディションネーム	ンヴァルチャル (64)(null)	このフィルターグループの条件部分の条件名。
OBD_CUSTOMFILTER	コンディション STR	コンディション STR	ンヴァルチャル (マックス) (null)	条件の一部である文字列です。
OBD_CUSTOMFILTER	条件 QRY	条件 QRY	ンヴァルチャル (マックス) (null)	条件の一部であるクエリ。

OBD_CUSTOMFILTER	Enabled	Enabled	整数 (null)	この条件が有効かどうかを指定します。
OBD_CUSTOMFILTER	コンテッドパーセント	コンテッドパーセント	数値 (5, 2) (null)	各条件ごとに処理されるコンタクトのパーセント数を定義します。
OBD_CUSTOMFILTER	シーケンス ID	シーケンス ID	整数 (null)	このコンセントのために生成されたシーケンス ID

				ディション。
OBD_CUSTOMFILTER	システムコンディション	システムコンディション	ンヴァルチャル (64)(null)	システムの条件は接点をフィルタリングするものです。
OBD_CUSTOMFILTER	OrderBy	OrderBy	nvarchar (2048) (null)	条件を満たすデータがどの順序で満たされるかを示すべきです。
OBD_CUSTOMFILTER	ターゲットグループネーム	ターゲットグループネーム	ンヴァルチャル (64)(null)	使用されていません。
OBD_CUSTOMFILTER	IsDeleted(削除されました)	IsDeleted(削除されました)	ビット (null)	この条件が削除され、使用できないかどうかを指定します。
OBD_CUSTOMFILTER	コンディションタイプ	コンディションタイプ	整数 (null)	使用されていません。
OBD_CUSTOMFILTER	ゾーンネームマップド	ゾーンネームマップド	ンヴァルチャル (マックス) (null)	ゾーン名はこの条件に対応しました。
OBD_CUSTOMFILTER	ExportedConditionID	ExportedConditionID	整数 (null)	使用されていません。
OBD_CUSTOMFILTER	コンディショナルストリフォ	コンディショナルストリフォ	ンヴァルチャル (マックス) (null)	どの接点がフィルタリングされるかに基づく条件です。

OBD_CUSTOMFILTERGROUP	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナント ID 新しいテナントが作成された際に適用によって自動的に生成されます。
OBD_CUSTOMFILTERGROUP	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID 新しいテナントが入居した際にアプリケーションによって自動的に生成されます。

				年齢を失った。

*OBD_CustomFilters テーブルのすべてのフィールドは、 **Cus-tomFilterGroup**という 1 つの列に XML 値として入力されています。 これはすべてのダイヤル担当者向けです。
OBD_CustomFilterGroup テーブルのすべてのフィールドは、 **Cam-paignCustomFiltersという 1 つの列に XML 値として入力されています。 これはすべてのダイヤル担当者向けです。

カテゴリ

出典表	列名	表示名	データタイプ	説明
OBD_CAMPAIGN_カテゴリー	キャンペーンカテゴリ ID	キャンペーンカテゴリ ID	整数 (null ではない)	作成時に自動生成されたカムページカテゴリーの ID。
OBD_CAMPAIGN_カテゴリー	キャンペーンカテゴリ名	キャンペーンカテゴリ名	ンヴァルチャル (64)(無効ではない)	キャンペーンカテゴリ名が割り当てられています。
OBD_CAMPAIGN_カテゴリー	Cam-paign カテゴリ説明	Cam-paign カテゴリ説明	ンヴァルチャル (255) (null)	キャンペーンの猫のエゴリーの説明。
OBD_CAMPAIGN_カテゴリー	グループ ID	グループ ID	整数 (null ではない)	このグループが属するキャンペーンカテゴリグループです。
OBD_CAMPAIGN_カテゴリー	CreatedDateTime	CreatedDateTime	datetime(null ではな	カムペインカテゴリーが作成された日付と時間。

			い)	
OBD_CAMPAIGN_カテゴリー	修正 DateTime	修正 DateTime	datetime(nullではない)	カムペインカテゴリーが最後に更新された日時。
OBD_CAMPAIGN_カテゴリー	ExportedCategoryID	ExportedCategoryID	int(null)	これはスペクトのアンサブスクライブグループ ID を示しています。

				市民カテゴリー。
OBD_ CAMPAIGN_カテゴリー	テナント ID	テナント ID	int(null)	新しいテナントが登録された際、申請書によってテナント ID 自動的に生成されます。
OBD_ CAMPAIGN_カテゴリー	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	Sub Ten-ant ID は新しい入居者が登録されるとアプリケーションによって自動生成されます。

チャネル

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
OBD_ チャンネルタイプ	チャンネル	チャンネル	整数 (null ではない)	作成時の自動生成チャンネル ID。
OBD_ チャンネルタイプ	チャンネル説明	チャンネル説明	ンヴァルチャル (32)(無効)	チャンネルの説明です。
OBD_ チャンネルタイプ	IsCustomMode	IsCustomMode	ビット (null)	このチャンネルのために作られたモードかどうかを指定します。

OBD_ チャンネルタイプ	ダイヤラーネーム	ダイヤラーネーム	ンヴァルチャル (80)(null)	ダイヤラーの名前です。これは、アプリケーションが連絡先を届けるダイヤラーです。
OBD_ チャンネルタイプ	テナント ID	テナント ID	int(nul l)	テナント ID 新しいテナントが作成された際に適用によって自動的に生成されます。

OBD_ チャンネルタイプ	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID 新しいテンアントが作成されるとアプリケーションによって自動生成されます。
OBD_ チャンネルタイプ	サブダイヤラーネーム	サブダイヤラーネーム	ンヴァルチャル (64)(null)	サブダイヤラーの名前です。

連絡先ステータス

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
OBD_Contact_Status_Mapping	ステータス ID	ステータス ID	ンヴァルチャル (3)(null ではない)	これはユーザの自動生成される一意識別子です。
OBD_Contact_Status_Mapping	状況説明	状況説明	ンヴァルチャル (256)(無効)	キャンペーンのためにビジネスフィールドが設定されました。 すべての業務性フィールドが一覧化されています。
OBD_Contact_Status_Mapping	テナント ID	テナント ID	整数 (null)	ビジネスフィールドのデータ型は、Number、Float、または DateTime です。
OBD_Contact_Status_Mapping	サブテナント ID	サブテナント ID	整数 (null)	ビジネスフィールドのデータ型が field の場合、日付のフォーマットを示します。
OBD_Contact_Status_Mapping	ステータスタイプ	ステータスタイプ	ヴァルチャー (32)(無効)	ステータスの種類やカテゴリー。

ダイヤルプランの詳細

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
OBD_DPDe-尾	ダイヤルプランネーム	ダイヤルプランネーム	ンヴァルチャル (64)(無効ではない)	ダイヤルプランの名前です。
OBD_DPDe-尾	説明	説明	ンヴァルチャル (128)(無効ではない)	ダイヤルプランの説明。
OBD_DPDe-尾	開始時間	開始時間	デートタイム (null ではない)	このダイヤルプランが有効な日時

				出発点。
OBD_DPDe-尾	終焉	終焉	デートタイム (null ではない)	このダイヤルプランの期限は日付と時間です。
OBD_DPDe-尾	削除済み	削除済み	整数 (null ではない)	これはダイヤルプランが削除されているか、それとも Act-Ive かを示します。
OBD_DPDe-尾	モード番号	モード番号	整数 (null ではない)	このモードのモード番号(プライオリティ)はダイヤルプランの中にあります。
OBD_DPDe-尾	重み付け	重み付け	整数 (null ではない)	ダイヤルアウト時にこのモードに与えられた重み。
OBD_DPDe-尾	チャンネルタイプ	チャンネルタイプ	整数 (null ではない)	チャンネルの種類。例えば、Voice、SMS、Email などです。 SMS 用 1、ボイス用 2、 メールは 3 点、CPAAS は 4 点、IVR は 0 点です。
OBD_DPDe-尾	マックスレトリー	マックスレトリー	整数 (null ではない)	このダイヤルプランで許可される最大リトライ数。
OBD_DPDe-尾	PEWC	PEWC	bit (null ではない)	これが PEWC かどうかを示します。PEWC は事前の明行書面による送付です。
OBD_DPDe-尾	ウィンドウリトライ	ウィンドウリトライ	bit (null)	このダイヤルプランで設定された再試行ウィンドウの数。

OBD_DPDe-尾	ウィンドウ試行	ウィンドウ試行	int(null)	このダイヤルプランで設定された各ウィンダウの試行回数。
OBD_DPDe-尾	ウィンドウ持続時間	ウィンドウ持続時間	整数 (null)	ダイヤルプランによるウィンダウの持続時間。
OBD_DPDe-尾	コールバックキャリーリトライ	コールバックキャリーリトライ	bit (null)	コールバック試行が再試回数を増やす必要があるかどうか。
OBD_DPDe-尾	テナント ID	テナント ID	整数 (null)	テナント ID 新しい場合に適用によって自動生成されます

				テナントが作成されます。
OBD_DPDe-尾	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID 新しいテナントが作成される際にアプリケーションによって自動生成されます。
OBD_DPDe-尾	Is オーバーライド	Is オーバーライド	bit (null ではない)	デフォルトの動作やセットが上書きされているかどうかを示します。

Users

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
OBD_Users	UID	UID	整数 (null ではない)	これはユーザのための自動生成されたユニークな識別子です。
OBD_Users	ユーザ ID	ユーザ ID	ンヴァルチャル (100)(null)	ログインユーザ ID です。
OBD_Users	名称	名称	ンヴァルチャル (100)(null)	ユーザ名。
OBD_Users	パスワード	パスワード	ンヴァルチャル (1024)(無効)	ユーザがアプリケーションにログインするためのパスワードです。
OBD_Users	ADDRESS1	ADDRESS1	ンヴァルチャル (32)(無効)	ユーザの郵便住所の最初の行。
OBD_Users	ADDRESS2	ADDRESS2	ンヴァルチャル (32)(無効)	利用可能な場合は、ユーザの郵便住所の 2 行目です。
OBD_Users	都市	都市	ンヴァルチャル	ユーザが属する都市。

			(16)(null)	
OBD_Users	州	州	ンヴァルチャル (16)(null)	上記の市・州・住所の郵便番号です。
OBD_Users	PIN	PIN	ンヴァルチャル (8)(null)	上記の市・州・住所の郵便番号です。

OBD_Users	HOME_PHONE	HOME_PHONE	ンヴァルチャル (16)(null)	ユーザの Home 電話番号です。
OBD_Users	MOBILE_PHONE	MOBILE_PHONE	ンヴァルチャル (16)(null)	ユーザの携帯電話番号。
OBD_Users	EMAIL_ID	EMAIL_ID	ンヴァルチャル (64)(null)	ユーザのメールアドレス。
OBD_Users	コメント	コメント	ンヴァルチャル (128)(無効)	ユーザに関する追加の情報は入力されていますか?
OBD_Users	CREATETIME	CREATETIME	datetime(null)	ユーザが申請時にクレジットされた日付と時間。
OBD_Users	CREATEUSER	CREATEUSER	ンヴァルチャル (16)(null)	このユーザを作成した本人(ユーザ)です。
OBD_Users	認証タイプ	認証タイプ	int(null)	このユーザに有効になっている認証タイプ。 選択肢は Windows 認証、データベース認証、SSO 認証です。
OBD_Users	ユーザタイプ	ユーザタイプ	int(null)	これは、ユーザが管理者ユーザか、指定された権限を持つロールベースのユーザかを示します。
OBD_Users	IsUserMapped	IsUserMapped	bit (null)	

OBD_Users	IsSalesforce	IsSalesforce	ビット (null)	もしこれが Service Cloud Voice 対応ユーザであれば、この値は 1 として指定されます。そうでなければ 0 です。
OBD_Users	IsConcurrentLogin	IsConcurrentLogin	ビット (null)	これはユーザが他者から同時にログインできるかどうかを示します

				装置。 可能な評価 – 許可されなければ 0;許可されれば 1 人。
OBD_Users	期限切れがない	期限切れがない	bit (null ではない)	これはパスワードが失効しない設定です。 パスワードが失効しなければセット 1;パスワードが期限切れでリセットが必要な場合は 0 です。
OBD_Users	NextLogonPassword	NextLogonPassword	bit (null ではない)	これは次のログイン時にパスワードを強制的に変更させる設定です。 パスワード変更を強制するために設定 1;0 は古いパスワードでのログインを許可します。
OBD_Users	CreateUserInDomain	CreateUserInDomain	bit (null ではない)	これにより、ユーザがここで作成されたドメインで作成されたかどうかが判定されます。 1 はドメイン上で作成されたユーザの場合、ドメイン上で作成されていなければ 0 です。
OBD_Users	IsDeleted(削除されました)	IsDeleted(削除されました)	ビット (null)	これは削除されたユーザを示しています。 ユーザが削除された場合は 1 です。 削除されていないユーザでなければ 0 です。

OBD_Users	修正者	修正者	ンヴァルチャル (10)(null)	これはユーザ情報改正ルート(アプリケーションまたは API メソッドを経由)を示します。
OBD_Users	テナント ID	テナント ID	int(nul l)	テナント ID は、新しいテナントが契約したときにアプリケーションによって自動的に生成されます。

				年齢を失った。
OBD_Users	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID 新しいテナントが作成されるとアプリケーションによって自動的に生成されます。

プロフィール

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
OBD_AutoUp-loadParam	ID	ID	整数 (null ではない)	プロフィールの自動生成 ID。
OBD_AutoUp-loadParam	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (64)(null)	プロファイルが連絡先をアップロードするためのキャンペーン ID。
OBD_AutoUp-loadParam	プロフィール名	プロフィール名	ンヴァルチャル (512) (null)	プロフィール名。
OBD_AutoUp-loadParam	ファイルヘッダー	ファイルヘッダー	ンヴァルチャル (4000) (null)	連絡先アップロードファイルのヘッダー詳細。
OBD_AutoUp-loadParam	詳細	詳細	ヴァルチャー (512) (null)	コンタクトをまとめたアップロードファイルの名前です。
OBD_AutoUp-loadParam	優先順位（Priority）	優先順位（Priority）	ヴァルチャー (8)(null)	このプロフィールを通じてアップロードされた連絡先

				の優先度。
OBD_AutoUp-loadParam	コンタクトモーメント	コンタクトモーメント	ヴァルチャー (26)(null)	通話をダイヤルする具体的な日時。
OBD_AutoUp-loadParam	AgentID	AgentID	ヴァルチャー (8)(null)	この連絡を取り扱うエージェントの ID です。

OBD_AutoUp-loadParam	タイムゾーン	タイムゾーン	ンヴァルチャル (128)(null)	このプロフィールを通じてアップロードされる連絡先のタイムゾーンです。
OBD_AutoUp-loadParam	モード	モード	nvarch ar (512)(null)	このプロフィールを通じて連絡先をアップロードできるモード。
OBD_AutoUp-loadParam	ビジネス FLDS	ビジネス FLDS	nvarch ar (2000)(null)	連絡先のビジネス欄は、連絡先アップロードファイルと同じです。
OBD_AutoUp-loadParam	郵便番号	郵便番号	整数 (null)	連絡先の郵便番号
OBD_AutoUp-loadParam	アップロードタイプ	アップロードタイプ	ンチャル (1)(null)	アップロードタイプは JSON、API などです。
OBD_AutoUp-loadParam	SrcType	SrcType	ヴァルチャー (8)(null)	これは連絡先アップロードファイルのソースタイプであり、データベースのテーブルやビュー、Ser-vice Cloud Voice ファイル、テキストファイル、JSON などが含まれます。

OBD_AutoUp-loadParam	SMS データ	SMS データ	ヴァルチャー (20)(null)	このプロファイルを通じてマッピングされたメッセージテキスト。
OBD_AutoUp-loadParam	DNC に応募してください	DNC に応募してください	ビット (null)	これはプロファイルで DNC 評価が有効かどうかを示します。有効化すると 1 になります。有効化されていない場合は 0 です。
OBD_AutoUp-	ユーザ ID	ユーザ ID	ヴァルチャー	ユーザ ID

loadParam			(50)(null)	このプロファイルを作成しているユーザ。
OBD_AutoUp-loadParam	日付	日付	デートタイム (null)	プロフィールが作成される日時。
OBD_AutoUp-loadParam	重複フィルター	重複フィルター	ビット (null)	アップロード時に連絡先の重複を確認すべきかどうか。
OBD_AutoUp-loadParam	DuplicateFilterKeyID	DuplicateFilterKeyID	ヴァルチャー (50)(null)	アップロード前に重複がないか確認する鍵です。
OBD_AutoUp-loadParam	連絡先詳細	連絡先詳細	ンヴァルチャル (マックス) (null)	これはプロファイルフィールドマッピングの情報です。
OBD_AutoUp-loadParam	メール件名	メール件名	ヴァルチャー (8)(null)	メールの件名です。
OBD_AutoUp-loadParam	メールメッセージ	メールメッセージ	ヴァルチャー (8)(null)	メールの本文です。
OBD_AutoUp-loadParam	MailAttach(メールアタッチ)	MailAttach(メールアタッチ)	ヴァルチャー (8)(null)	添付ファイルがメールの一部かどうか。
OBD_AutoUp-loadParam	SMS テキスト	SMS テキスト	ヴァルチャー (8)(null)	SMS mes-sage のテキスト。
OBD_AutoUp-loadParam	区切り記号	区切り記号	char (1)(null)	アップロードファイルで使われて

				いる区切り符です。
OBD_AutoUp-loadParam	AreaCodeDelimiter	AreaCodeDelimiter	char (1)(null)	区切り文字は市外局番を電話番号から分離するために使われていました。

OBD_AutoUp-loadParam	ContactNext アップロード時間	ContactNext アップロード時間	datetime(null)	コンタクトファイルをアップロードするために取得する日時。 これは Service Cloud の音声およびデータベースプロファイルのアップロードに適用されます。
OBD_AutoUp-loadParam	ScrubNext アップロード時間	ScrubNext アップロード時間	datetime(null)	スククラブファイルへの連絡日時はアップロードされます。 これは Service Cloud の音声およびデータベースプロファイルのアップロードに適用されます。
OBD_AutoUp-loadParam	自動アップロード時間	自動アップロード時間	ンヴァルチャル(16)(null)	ファイルが自動アップロードされた日時。
OBD_AutoUp-loadParam	ラストアップロード	ラストアップロード	ンヴァルチャル(16)(null)	このプロフィールからの最後のアップロード日時。
OBD_AutoUp-loadParam	アップデート BussFld	アップデート BussFld	ビット(null)	このプロフィールを通じてアップロードされた連絡先の忙しさフィールドを更新するかどうか。

OBD_AutoUp-loadParam	ListIdToUpdate	ListIdToUpdate	nvarch ar (1024) (null)	プロファイルを通じて新しいアップロードが行われたときにリスト ID を更新するかどうか。
OBD_AutoUp-loadParam	状態	状態	整数 (null)	コンタクトが属する州。

OBD_AutoUp-loadParam	DNCBusinessFields(国家不動の場)	DNCBusinessFields(国家不動の場)	ンヴァルチャル (128) (null)	DNC を示すとみなされるフィールド。
OBD_AutoUp-loadParam	アップロードレベル	アップロードレベル	char (1)(null)	このファイルのコンタクトのアップロードレベルは、グローバルアップロードまたはカメラ専用アップロードです。
OBD_AutoUp-loadParam	IsAppend(付録	IsAppend(付録	ビット (null)	連絡先をアップロード時に追加するかどうか。
OBD_AutoUp-loadParam	IsUpdate	IsUpdate	ビット (null)	連絡先をアップロード中に更新するかどうか。
OBD_AutoUp-loadParam	IsOverwrite(上書き)	IsOverwrite(上書き)	ビット (null)	アップロード過程で連絡先が上書きされるかどうか。
OBD_AutoUp-loadParam	DNCCampaignID	DNCCampaignID	ンヴァルチャー(マックス) (null)	特定のキャンペーンで DNC とマークされている場合、そのキャンペーンの ID が DNC となります。
OBD_AutoUp-loadParam	DNCCountryCode	DNCCountryCode	整数 (null)	DNC の連絡先の国コード。

OBD_AutoUp-loadParam	DNCAreaCode	DNCAreaCode	整数 (null)	DNC の市外局番だ。
OBD_AutoUp-loadParam	DNCCValue	DNCCValue	int(null)	ファイルヘッダーのインデックスを DNCC 値としてマッピングします。

				プロファイル内の DNC フィルターです。
OBD_AutoUp-loadParam	DNCImportMode	DNCImportMode	ンチャル (1)(null)	DNC インポートモード – 自動または手動アップロード。
OBD_AutoUp-loadParam	DNCType	DNCType	char (1)(null)	DNC タイプ—キャンペーン、猫のエゴリー、あるいはグローバル。
OBD_AutoUp-loadParam	永遠に	永遠に	ビット (null)	連絡先が DNC Forever とマークされているかどうか。
OBD_AutoUp-loadParam	NDNC BusinessFields(NDNC 商業施設)フィールド	NDNC BusinessFields(NDNC 商業施設)フィールド	int(null)	連絡先が NDNC とマークされているビジネスフィールド。
OBD_AutoUp-loadParam	プロファイル実行時間	プロファイル実行時間	ンヴァルチャル (60)(null)	プロフィールがコンタクトをアップロードするために実行された日付と時間。
OBD_AutoUp-loadParam	プロファイルパス	プロファイルパス	nvarchar (256)(null)	このプロファイルを通じて連絡先ファイルをアップロードするために配置されるパスです。

OBD_AutoUp-loadParam	ZipCode_Optional	ZipCode_Optional	ンヴァルチャル (64)(null)	このプロフィールのオプションの追加郵便番号。
OBD_AutoUp-loadParam	Modes_ZipCodes	Modes_ZipCodes	ンヴァルチャル (100) (null)	郵便番号はプロファイル内のモードに対応していました。
OBD_AutoUp-loadParam	コンディション STR	コンディション STR	nvarchar (2048) (null)	これは、マッチングのコン-

				このプロフィールを通じたタクト。
OBD_AutoUp-loadParam	MailCC	MailCC	ンヴァルチャー(マックス)(null)	キャンペーンメールを送信する際にコピーされるメールアドレス。
OBD_AutoUp-loadParam	MailBCC	MailBCC	ンヴァルチャー(マックス)(null)	カムペインメールが送られた際にブラインドカーボンコピーを受け取るメールアドレス。
OBD_AutoUp-loadParam	プロフィールステータス	プロフィールステータス	bit (null)	プロファイルの状態 – アクティブか非アクティブか。
OBD_AutoUp-loadParam	リードスコア	リードスコア	整数 (null)	接触のリードスコア。
OBD_AutoUp-loadParam	ファイルタイプ	ファイルタイプ	ンヴァルチャル (10)(null)	プロファイルアップロードファイル形式。 例えば、JSON やテキストなどです。
OBD_AutoUp-loadParam	ファイルタイプフォーマット	ファイルタイプフォーマット	ンヴァルチャル (10)(null)	これはプロファイルで選択した拡張子です。
OBD_AutoUp-loadParam	DNCStartDate	DNCStartDate	ヴァルチャー (16)(null)	DNC の状況を発表するための合図の日時。

OBD_AutoUp-loadParam	DNCEnd 日付	DNCEnd 日付	ヴァルチャー (16)(null)	連絡が DNC の連絡先でなくなる終了日と時刻。
OBD_AutoUp-loadParam	DNCDate フォーマット	DNCDate フォーマット	ヴァルチャー (32)(無効)	DNC の日付形式。

OBD_AutoUp-loadParam	DeviceID	DeviceID	nvarch ar (255) (null)	識別認証通知が送信されるデバイスのID。
OBD_AutoUp-loadParam	FixedWidthData	FixedWidthData	ンヴァルチャー(マックス) (null)	アップロードされるデータが固定幅ファイルからのものかどうか。
OBD_AutoUp-loadParam	市外局域番号	市外局域番号	整数 (null ではない)	連絡先の市外局番。
OBD_AutoUp-loadParam	City	City	整数 (null ではない)	連絡先の都市だ。
OBD_AutoUp-loadParam	ゾーンネーム	ゾーンネーム	整数 (null ではない)	そのゾーン名は、そのコンタクトが属しています。
OBD_AutoUp-loadParam	DNCCampaign カテゴリ ID	DNCCampaign カテゴリ ID	ンヴァルチャル (マックス) (null)	キャンペーンカテゴリーは、DNC を継続してマークするためのものだ。
OBD_AutoUp-loadParam	コンディショナルストリフォ	コンディショナルストリフォ	ンヴァルチャー(マックス) (null)	このフィールドは接点を擦り込むためのプロファイルの条件を格納します。
OBD_AutoUp-loadParam	IsBusinessFieldDNC	IsBusinessFieldDNC	ビット (null)	ビジネスフィールドがコンタクトを DNC としてマークするフ

				ィルターとして使われているかどうか。
OBD_AutoUp-loadParam	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナント ID 新しいテナントが作成された際に適用によって自動的に生成されます。
OBD_AutoUp-loadParam	サブテナント ID	サブテナント ID	整数 (null)	サブテナント ID 自動生成

				新しい入居者が登録された際の申請。
OBD_AutoUp-loadParam	同意タイプ	同意タイプ	ンヴァルチャル (16)(null ではない)	同意の種類 — 連絡が PEWC か非 PEWC か。
OBD_AutoUp-loadParam	CPTTimeZoneType	CPTTimeZoneType	ヴァルチャー (8)(null)	通話する Cus-tomer 事前時間(CPT)のタイムゾーンタイプ。例えば、キャンペーンタイムゾーン、州タイムゾーンなどです。
OBD_AutoUp-loadParam	CPTTimeZone	CPTTimeZone	ヴァルチャー (8)(null)	カス・トメール事前指定時刻(CPT)のタイムゾーンを呼びます。例えば、キャンペーンタイムゾーン、州タイムゾーンなどです。
OBD_AutoUp-loadParam	CPTDayofWeek(今週のCPT)です	CPTDayofWeek(今週のCPT)です	ヴァルチャー (8)(null)	CPT の曜日。
OBD_AutoUp-loadParam	CPTTime フォーマット	CPTTime フォーマット	ンヴァルチャル (16)(null)	CPT の時間フォーマット。
OBD_AutoUp-loadParam	スロットスタートタイム	スロットスタートタイム	ヴァルチャー (8)(null)	顧客が希望する最初のスロットの開始時間。

OBD_AutoUp-loadParam	スロットエンドタイム	スロットエンドタイム	ヴァルチャー (8)(null)	顧客が希望する最初のスロットの終了時間。

OBD_AutoUp-loadParam	スロット BStartTime(スロット BStartTime)	スロット BStartTime(スロット BStartTime)	ヴァルチャー (8)(null)	顧客が好む 2 番手 1 位の開始時間。
OBD_AutoUp-loadParam	スロット BEnd タイム	スロット BEnd タイム	ヴァルチャー (8)(null)	顧客が好む 2 番目のスロットの終了時間。
OBD_AutoUp-loadParam	スロット CStartTime	スロット CStartTime	ヴァルチャー (8)(null)	顧客が希望する 3 番目のスロットの開始時間。
OBD_AutoUp-loadParam	スロットセールタイム	スロットセールタイム	ヴァルチャー (8)(null)	顧客が好む 3 番目のスロットの終了時間。
OBD_AutoUp-loadParam	AreaCodeEnabled	AreaCodeEnabled	bit (null ではない)	市外局番が有効かどうかは、電話番号から分離するためです。
OBD_AutoUp-loadParam	エリアコードサブストリング	エリアコードサブストリング	ンヴァルチャル (10)(null)	電話番号と市外局番を区別する市外局番の部分文字列です。

モード

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
OBD_MODES	最小長さ	最小長さ	int(null)	このモードの連絡先電話番号の最小長さ。
OBD_MODES	最大長さ	最大長さ	int(null)	連絡先電話番号の最大長さはこれにあたります

				モード。
OBD_MODES	チャンネル ID	チャンネル ID	整数 (null ではない)	チャンネル ID、つまりモードはマッピングされています。
OBD_MODES	CreatedDateTime	CreatedDateTime	デートタイム (null)	このモードが作られた日付と時間。
OBD_MODES	修正 DateTime	修正 DateTime	datetime(null)	このモードが最後に更新された日付と時間。
OBD_MODES	ExportedModeID	ExportedModeID	整数 (null)	モード ID は異なるソースからのものです。
OBD_MODES	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナント ID 新しいテナントが作成される際にアプリケーションによって自動的に生成されます。
OBD_MODES	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID 新しいテンアントが作成されるとアプリケーションによって自動生成されます。
OBD_MODES	モード番号	モード番号	整数 (null ではない)	モードの数値識別子。
OBD_MODES	モードネーム	モードネーム	ンヴァルチャル (50)(null ではない)	モードの名前です。

OBD_MODES	モードの説明	モードの説明	ンヴァルチャル (128)(無効)	モードの説明文。

結果

出典表	列名	表示名	データ タイプ	説明
OBD_Outcome	アウトカムグループ	アウトカムグループ	ンヴァルチャル	結果グループは以下の通りです。

			(32)(無効)	ここに属する。
OBD_Outcome	アウトコム	アウトコム	整数 (null ではない)	作成時に自動生成される結果 ID。
OBD_Outcome	説明	説明	ンヴァルチャル (128)(無効)	結果の説明。
OBD_Outcome	ディスプレイネーム	ディスプレイネーム	ンヴァルチャル (128)(無効)	結果の説明。
OBD_Outcome	事業成果	事業成果	整数 (null ではない)	これは結果タイプを示します。 電話結果は 0、ビジネス結果は 1 です。
OBD_Outcome	チャンネルタイプ	チャンネルタイプ	整数 (null ではない)	チャンネルタイプ。 SMS が 1 つ、VOICE が 2 つ、3 つメールは 4、CPAAS は 4、IVR は 0 です。
OBD_Outcome	設定可能	設定可能	int(nul l)	これは、この結果の算出された prop-ertis を変更できるかどうかを示します。0 は変化を許しません。1 は変化を許します。
OBD_Outcome	削除済み	削除済み	整数 (null ではない)	これは、特定のアウトカムがアウトカムテーブルからソフト削除されているかどうかを示しま

				す。 0 は削除されます。1 は削除されていません。
OBD_Outcome	RPCType	RPCType	ンヴァルチャル (8)(null)	これは RPC の結果のタイプを RPC または非 RPC として示します。

OBD_Outcome	BOParentId	BOParentId	整数 (null)	親の成果グループの ID。
OBD_Outcome	インクリメントリトライ	インクリメントリトライ	ビット (null)	これは、特定の挑戦ごとにリタイア数を増やす必要があるかどうかを示します。
OBD_Outcome	グローバルリトライ	グローバルリトライ	bit (null)	この結果にはグローバルリトライカウントが適用されます。
OBD_Outcome	デイリーリトライ	デイリーリトライ	bit (null)	この結果には日々の再挑戦数がカウントされます。
OBD_Outcome	モードリトライ	モードリトライ	bit (null)	この結果にはモードレベルの再試行カウントが適用されます。
OBD_Outcome	結果再挑戦	結果再挑戦	ビット (null)	この結果が設定された場合、接触を閉じる必要があるかどうか。0 は接触を閉じるため、1 は連絡を保つためです。
OBD_Outcome	ウィンドウリトライ	ウィンドウリトライ	ビット (null)	これはウィンドウリトライが有効かどうかを示します。 0 は障害者です。1 は有効です。

OBD_Outcome	エージェントビュー	エージェントビュー	ビット (null)	これは、結果がエージェント閲覧可能とマークされているかどうかを示します。
OBD_Outcome	デフォルトオフセット	デフォルトオフセット	int(null)	この結果で再試行可能なデフォルトの日数を示します。
OBD_Outcome	デフォルトクローズコンタクト	デフォルトクローズコンタクト	bit (null)	これは、

				この結果は閉じることができます。
OBD_Outcome	デフォルト MaxRetry	デフォルト MaxRetry	int(null)	この結果を許容する最大リトライ回数。
OBD_Outcome	IsLiveCallOutcome(イスライブコール)結果	IsLiveCallOutcome(イスライブコール)結果	int(null)	これがライブコールの結果かマッピングされた結果かを示します。
OBD_Outcome	ExportedOutcomeID	ExportedOutcomeID	int(null)	結果の ID は、別のプラットフォームやダイヤラーからエクスポートされます。
OBD_Outcome	ExternalOutcomeID	ExternalOutcomeID	ンヴァルチャル(68)(null)	使用されていません。
OBD_Outcome	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナント ID 新しいテナントが作成された際に適用によって自動的に生成されます。
OBD_Outcome	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナント ID 新しいテンアリが作成されるとアプリケーションによって自動生成されます。

選挙戦のビジネスフィールド

出典表	列名	表示名	データ タイ	説明

			プ	
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	キャンペーン ID	キャンペーン ID	ンヴァルチャル (64)(無効ではない)	これはユーザの自動生成された一意識別子です。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	フィールドネーム	フィールドネーム	ンヴァルチャル (64)(ない)	カムのためにビジネスフィールドが設定されました—

			null)	ペイン。 すべてのビジネス分野が一覧化されています。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	DataType	DataType	ンヴァルチャル (32)(null ではない)	ビジネスフィールドのデータ型は、Number、Float、または DateTime です。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	形式	形式	ンヴァルチャル (32)(null ではない)	ビジネスフィールドのデータ型が field の場合、日付のフォーマットを示します。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	ビジネスフィールド	ビジネスフィールド	ンヴァルチャル (32)(null ではない)	ビジネス分野 ID 応用によって生成されます。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	SQLExpression	SQLExpression	ンヴァルチャル (64)(無効ではない)	文字列以外のデータ型を持つビジネスフィールドは、この列の CAST で、ビジネスネスフィールドは ID です。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	IsEMailMapped	IsEMailMapped	bit (null)	ビジネスフィールドがメール機能にマッピングされているかどうかを示します。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	IsSMSMapped	IsSMSMapped	bit (null)	ビジネスフィールドが SMS 機能にマッピングされているかどうかを示します。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	IsDNCMapped	IsDNCMapped	ビット (null)	ビジネス分野が「電話禁止(DNC)」リストにマッピングされているかどうかを示します。

OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	ビジネスタイプ ID	ビジネスタイプ ID	int(null)	カム・ペインに関連するビジネスの種類を示す識別子を表します。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	編集可能	編集可能	bit (null)	ビジネスフィールドが編集可能かどうかを示します。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	シーケンス ID	シーケンス ID	ビット (null)	ビジネスフィールドに注文用の特殊シフィックシーケンス ID があるかどうかを示します。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	IsMax	IsMax	int(null)	該当する場合は、ビジネス分野の最大値または上限を示します。

OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	閲覧可能	閲覧可能	bit (null ではない)	申請書内でビジネスフィールドが表示可能かどうかを示します。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	IsIVRMapped	IsIVRMapped	bit (null ではない)	ビジネスフィールドが IVR システムにマッピングされているかどうかを示します。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	IsSNSMapped	IsSNSMapped	bit (null)	ビジネスフィールドが SNS 機能にマッピングされているかどうかを示します。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	キャラクターレングス	キャラクターレングス	ンヴァルチャル (3)(null)	最大許容長さを表すは business フィールドの文字列値として表示されます。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	カスタマーマスター	カスタマーマスター	ンヴァルチャル (250)(null)	キャンペーンに関連する顧客関連データを含み、最大 250 文字までです。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	テナント ID	テナント ID	int(null)	テナントの一意識別子で、適用によって自動生成されます。
OBD_Campaign_ ビジネスフィールド	サブテナント ID	サブテナント ID	int(null)	サブテナントの一意識別子で、適用によって自動生成されます。

パフォーマンス指標

リアルタイムコンソールは、継続的なカメラ撮影時に 15 秒のリフレッシュレートで継続的に更新されたデータを提供します。 試行率、RPC(Right Party Connect)パーソナルパーソナリティ率、包括的なキャンペーンのコンタクト統計などの重要な指標が含まれています。

パフォーマンス指標ページを開くには **Reports > Performance** に移動します。 パフォーマンスメトリクスページにはキャンペーンサマリーのリアルタイムデータが表示されます。

作戦概要

キャンペーン概要はキャンペーンレベルのパフォーマンスを示します。 キャンペーンレベルの予測パラメータと現在のダイヤラーのペースデータの両方を表示します。

キャンペーン概要には以下のパラメータが含まれています:

フィールド	説明
作戦の詳細	
キャンペーン	キャンペーンの名前。
キャンペーンのステータス	キャンペーンの現状。
最終連絡処理(最小)	最後に連絡が選ばれてキャンペーンの配信テーブルに置かれてから経過した時間が表示されます。 セルは次のケースをハイライトします。 時間は 5 分以上です。
システムレベルの状況	
利用可能な総接触数	その日のオープン状態の連絡先の総数。
ダイヤル総通話数	その日の合計挑戦回数。
応答した通話数	その日の接続された連絡先の総数(接続されたエージェントと留守番電話を含む)。
進行中の通話総数	ダイヤラーによって現在ダイヤルされているライブ通話数。
平均処理時間（Average Handle Time）	通話時間と通話時間の合計を合計したものを *応答総通話数で割ったもの*。
完成率	コンタクトテーブル内のすべてのレコードを考慮すると、クローズされたコンタクト数をコンタクト総数で割ります。
接続率	発信された合計一意連絡先数(試み・応答済み)を、その日のダイヤル数で割ったものです。
試み率	発信総通話数を、その日の試みた合計ユニークな連絡先数で割ったものです。
接続試行率	総応答数を、その日の発信数で割ります。
成功率	ビジネス結果成功または電話偽の結果がライブコール選択で成功とマークされた総通話数を、その日の総通話数で割ります。
RPC %	発信総通話数は、RPC 型の結果をその日の発信総通話数で割ったものです。
オープン%	Contact Table 内のすべてのレコード、開封状態の Total Contacts with Contacts を総コンタクト数で割ったものを考慮します。

新鮮度%	Contact Table 内のすべてのレコードを考慮し、新規(開いて試みなし)ステータスの総コンタクト数を合計連絡先数で割ります。
再スケジュールの割合	連絡先表のすべての記録を考慮し、再スケジュール(開かれ、少なくとも 1 回試み)状態の総接触数を総接触数で割ったものです。

クローズド%	コンタクトテーブル内の全記録、クローズ済みの総コンタクト数を総コンタクト数で割ったものを考慮します。
現在の統計	
オープン%	現在オープン状態の連絡先数を、本日アップロードされた総連絡先数と本日の開始時点のオープン状態の連絡先数の合計で割ったものです。 開いた連絡先はダイヤルできるレコードです。
新鮮度%	新規(未開き)ステータスの現在の連絡先数を、本日アップロードされた総連絡先数とその日の初めに開いている状態の連絡先数の合計で割ったものです。 フレッシュコンタクトは、これまで試みられたことのない記録です。
再スケジュールの割合	再スケジュールされた現在の連絡先(オープンかつ少なくとも 1 回の試み)ステータスを、本日アップロードされた総連絡先数とその日の初めのオープン状態の連絡先数の合計で割ったものです。 再スケジュールされた連絡先とは、少なくとも一度試され、再ダイヤルを待っているレコードのことです。
クローズド%	今日アップロードされた合計連絡先と、その日の初めに「オープン状態の連絡先」数の合計で割った現在の「閉じた状態の連絡件数」です。 閉じた連絡先とは、ダイヤルできず、システムやユーザによって閉鎖されたレコードのことです。
合格レベル統計	
合格率 1%	今日 1 回の試みのみの連絡先数を、今日アップロードされた総接触数とその日の初めの開封状態の連絡先数の合計で割ったものです。
合格率 2%	今日 2 回しか試みない連絡先数を、今日アップロードした総接触数と、その日の初めに開いている状態の連絡先数の合計で割ったものです。
合格率 3%	今日 3 回しか試みない連絡先数を、今日アップロードした総接触数と本日の開始時点の開封状態の連絡先数の合計で割ったものです。
パス 4%	今日 4 件しか試みなかった連絡先数を、今日アップロードした総接触数と本日の開封状態の連絡先数の合計で割ったものです。
合格率 5%	今日の 5 回の試みだけの連絡先数を、今日アップロードした総接触数とその日の初めに開いている状態の連絡先数の合計で割ったものです。

> 合格 5%(合格 -	現在の>5 回以上の試みを持つ接触数は分割されています

erThanFivePercentage)	本日アップロードされた総連絡先数と、本日の初めにオープン状態の連絡先数の合計で計算されます。

レポートフィルター基準

報告モジュールには強力なフィルターが搭載されており、ユーザはコンタクトセンターのマクロビューを確認でき、連絡先や通話、またはエージェントのミクロレベルまで掘り下げることができます。 以下のパラメータでレポートを絞り込むことができます:

タイムゾーン

特定のタイムゾーンごとに過去のレポートを作成できます。 他のフィルター条件を選択する前に、TimeZone ドロップダウンからタイムゾーンを選択してください。

注:これはオプションの設定です。 タイムゾーン別レポートを取得するには、LCMService の web.config ファイルで IsTimeZoneRequiredForFilter プロパティを true に設定する必要があります。

レポートデータは選択した周期性に基づいて入力されます:

- **Today** filter は、選択したタイムゾーンにおける現在の日付に関するレポートデータを表示します。
- **Yesday** filter は、選択したタイムゾーンで前日の深夜までのレポートを表示します。
- **This Week** filter は、月曜日から今日までのレポートデータを選択したタイムゾーンで表示します。
- **この月** フィルターは、選択したタイムゾーンでカレンダー月の初めから現在の日までのレポートデータを表示します。
- **カスタム** フィルターは、選択したタイムゾーンで開始日と終了日を選択した日付範囲のレポートデータを表示します。

グローバルリスト

すべてのグローバルリストが選択用に表示されます。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのグローバルリストを選択するには **すべて選択**をクリックします。

キャンペーングループ

選択したグローバルリストの連絡先を含むすべてのキャンペーングループが入力されています。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのキャンペーングループを選択するには **すべて選**

択をクリックしてください。

キャンペーン

選択したキャンペーングループの連絡先を含むすべてのキャンペーンは入力されています。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのキャンペーンを選択するには **すべて選択**をクリックしてください。

注:単一のキャンペーン選択で次のレベルへのフィルターが可能です。 複数のキャンペーンを選択すると、次のレベルへのフィルタリングは無効になります。 このレベルでレポートをご覧いただけます。

リスト

このキャンペーンにアップロードされたすべての連絡先リストは入力済みです。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべてのリストを選択するには **すべて選択**をクリックしてください。

注:リストは日付パネルのデフォルト日付、つまり現在の日付で入力されます。 さらにリストを選択するには、日付パネルから日付を選択し、OK をクリックしてください。 入力済みリストからレポートに必要なリストを選択します。

CSS グループ

選ばれたリストに適用されるすべてのコンタクト選択戦略(CSS)が選択可能です。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべての CSS グループを選択するには **すべて選択**をクリックします。

CSS グループ条件

上記の CSS グループの条件は入力されており、選択可能です。 単一選択と複数選択の両方が可能です。 すべての条件を選択するには **すべて選択**をクリックしてください。

上記のフィルター選択の任意の段階で、 **Search** をクリックして特定の文字列の項目を入力できます。

フィルター選択の任意の段階で **レコード表示** をクリックして、その選択レベルまでの記録をレポートに入力してください。 フィルターを選択するどこからでも、直接キャンペーンレベルに戻すことができます。 ただし、キャンペーングループに戻すにはキャンペーンを選択し外す必要があり、グローバルリストレベルに戻すにはキャンペーングループの選択を外す必要があります。

注:選択されたフィルター条件によって、各レポートに異なる列を持つ可能性があります。 スクリーンショットについては、最も広範なフィルター基準、すなわちすべてのキャンペーンを選択する報告を受け取りました。 したがって、これらはあくまで例示的なものに過ぎません。